

## ソーシャルワークセンター 2022年度 事業報告

### ○事業所基本情報

サービスの種類：法人独自の要援護者への相談支援活動の拠点

生活困窮者・児童・ひとり親世帯・女性・成年後見等の相談業務

開設日：平成22年9月ソーシャルワークセンター、親子安心ネットワーク・みさわ、成年後見センターを立ち上げ／令和2年11月三沢こども宅食おすそわけ便開始／令和3年4月三沢市（子育て支援課）と「三沢市対象児童等見守り強化事業」契約／令和4年9月三沢市（広報広聴課）と「三沢市地域女性活躍推進事業」契約 ウィメンズライツみさわ活動開始

住所：三沢市桜町3丁目1-2

連絡先：0176-53-2231

ソーシャルワークセンター拠点長：中川れい子

事業報告主担当：中川れい子

### 1 【基本方針】

- ・こどもが安心・安全な環境で成長できるよう支援する。
- ・女性の地位や権利を守れるよう支援する。
- ・生活困窮者や生きづらさを抱えた人々の支援を行う。
- ・ソーシャルワークを実践する

### 2 【重点目標の結果】

- ・親子安心ネットワーク・みさわの業務⇒親子安心ネットワーク・みさわ事業報告参照
- ・ウィメンズライツみさわの業務⇒ウィメンズライツみさわ事業報告参照
- ・成年後見・任意後見の業務⇒成年後見2名、任意後見4名内2名死亡)
- ・生活に問題を抱えた人の支援、生活困窮者支援⇒（23名）

### 3 【本施設（ソーシャルワークセンター）の概要】

(1)事業所種別：「社会貢献事業」ソーシャルワークセンター

(2)職員種別及び職員数：総数3名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)利用対象者：三沢市内在住の生活困窮者、女性、こども、子育て世帯等

(4)稼働時間：月～金（楽晴会休日表に準ずる。）営業時間 8:30～17:30

(5)施設環境：女性・子どもの居場所8畳、相談室5畳、キッチン6畳、物置8畳、トイレ2か所、事務所1カ所

(6)業務車輛：1台

## 5 【主なサービスの結果】

### (1)相談支援

- ・生活困窮者、女性、こども、子育て世帯等の相談支援
- ・要保護児童対策地域協議会(子育て支援課主催)で要支援、要保護児童に関する情報交換、支援内容に関する協議を行う。必要に応じて家庭訪問等を行い、家庭状況を確認したりイベントの参加を促した。その他、登校支援、食糧支援、通院支援等を行った。
- ・貧困やDV等、女性の問題に関する相談支援を行った。
- ・女性が生活しやすい環境を整備するための活動を行った。
- ・外国人女性への相談支援を行った。
- ・女性用品の配布を行った。
- ・R4年5月30日成年後見委員会を開催した。被成年後見人1件、任意後見人4件内2件死亡 参加者 委員5名 オブザーバー1名 職員9名
- ・相談件数

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活困窮	6	5	8	1	1	2	7	5	6	1	2	3	47
制服教材支援	1										1	3	5
入居債務保証		2			2	1							5
DV				1	1			1	1			1	5
ホームレス				1			1	1	1		1		5
触法者				1		2							3

※要保護児童対策地域協議会とは

虐待を受けている子どもを始めとする要保護児童に関する情報共有や支援を行うために協議を行う場として、児童福祉法改正法にて設置努力義務に位置づけられた。適切な連携の下で対応していくことが重要であるが、こうした多数の関係機関の円滑な連携・協力を確保するためには、

### (2)会議

開催日	開催場所	参加者
ケース毎不定期	桜町拠点ケース会議	SW 職員 3名 24件
毎日	桜町拠点ミーティング。	SW 職員 3名

## 6 【地域貢献活動の結果】

- ・ソーシャルワークセンターすべてが地域貢献であることを職員は自覚し関係機関、市民に理解してもらうよう努力する。

## 7 【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日末現在

- ・配置人員：管理者(ソーシャルワーカー兼務) 1名、ソーシャルワーカー 1名  
相談員 1名、事務員 1名
- ・保有資格：社会福祉士 1名、社会福祉主事 1名

(2)有休の取得計：186時間取得 3日連続取得 1名

(3)職場環境保持のための施策(人権の尊重)

- ・ハラスメント防止研修 楽晴会で行うハラスメント研修に参加。
- ・人権研修 ソーシャルワークセンターで開催するDV研修を企画しながら学んでいく。

※DV(ドメスティックバイオレンス)とは…家庭内(またはパートナー間)での暴力、攻撃的行動、経済的暴力、社会的隔離、身体的虐待、心理的虐待、性的虐待をいう。

## 8 【研修・人材育成の結果】

(1)内部研修

『生活困窮者への対応、DV被害やDV法・ロールモデル等、親子安心ネットワーク・みさわ、ウィメンズライツみさわの職員の専門性を高める』

- ・毎月第2水曜日 親子安心ネットワーク・みさわ主体の内部勉強会を開催  
その他外部研修参加時は翌日に拠点内で随時伝達開催
- ・毎月第3水曜日 ウィメンズライツみさわ主体の内部勉強会を開催  
その他外部研修参加時は翌日に拠点内で随時伝達開催

(2)外部研修

- (9/9・11/21)ゲートキーパー養成研修(2回)(附田・豊川)
- (10/3)こども・家庭福祉担当職員セミナー(中川・附田)
- (10/23)青森県こどもの貧困対策ネットワーク会議(中川・附田)
- (11/22)子供の居場所ネットミーティング(中川・附田)
- (12/20)県社協しあわせネットワーク講座(附田・豊川)
- (R5.1/23)女性の自立を支える支援について(豊川)
- (R5.2/3)県社協食でつながるフェスタ(附田・豊川)
- (R5.2/9)県社協コミュニティソーシャルワーカー養成講座(全員)

# 親子安心ネットワーク・みさわ 2022年度 事業報告

ソーシャルワークセンター拠点長：中川 れい子

報告主担当:中川 れい子

## 1 【重点目標の結果】

- ・要保護児童対策地域協議会への参加回数 12回（子育て支援課主催）
- ・子ども宅食おすそわけ便を年6回行った。

## 2 【年度報告および決算報告表】

月 日	活動と各予算	参加人数
5月28日(土)	三沢子ども宅食おすそわけ便	配達 87 世帯,事業所受取 59 世帯 パントリー140 世帯
6月25日(土)	人生食堂	86 世帯 313 名
7月30日(土)	三沢子ども宅食おすそわけ便	配達 76 世帯、事業所受取 60 世帯 パントリー103 世帯
8月8.9日(金.土)	SW 窓口おすそわけ便	100 世帯
9月2.3日(金土)	SW 窓口おすそわけ便	126 世帯
10月1日(土)	三沢子ども宅食おすそわけ便	配達 89 世帯、事業所受取 74 世帯 パントリー136 世帯
10月29日(土)	中高生イベント	137 名
11月26日(土)	三沢子ども宅食おすそわけ便	配達 89 世帯、事業所受取 84 世帯 パントリー105 世帯
12月16.17(金土)	SW 窓口おすそわけ便	93 世帯
1月28日(土)	三沢子ども宅食おすそわけ便	配達 88 世帯、事業所受取 83 世帯 パントリー92 世帯
3月25日(土)	三沢子ども宅食おすそわけ便	配達 80 世帯、事業所受取 93 世帯 パントリー80 世帯
3月27日(土)	中高生イベント	87 名
	合計	2023 世帯、中高生 224 人

※楽晴会の「パントリー」とは、申込なく食や物資の支援が受けられる場所(活動)のこと。

※三沢子ども宅食おすそわけ便…社会的に孤立しがちな子育て世帯に定期的に食品等(企業や個人からの寄付)を届ける活動。配達、指定場所、パントリーと受取にも配慮して活動。

※人生食堂…様々な企業より寄付のあった食材を活用してお弁当を作り、ひとり親家庭・子育て家庭・生活困窮家庭に配布する活動。

※中高生イベント…不安や困難を抱える女子生徒へ生理用品を配布する支援と、男子生徒にはアンケートを取り、女性の生理に対する認知度を把握する活動。

### 3 支援事例の報告（まとめ）

- ① 「子ども宅食おすそわけ便」を年6回開催した。
- ② 要保護児童対策地域協議会に参加⇒（12回）保健指導を除く対象児童13名
- ③ 不登校児の登校・受診支援を行った。⇒（5名）学校への送迎 病院への送迎
- ④ 要保護児童を含む対象児童の家庭訪問を定期的に行った。⇒（不定期）不登校児及び虐待を受けていると思われる児童37名対象。
- ⑤ 中高生限定イベントを年2回行った。⇒中高生の女子には女性用品と文房具を、男子には文房具を用意し、時期に応じてファミチキバンズ、肉まんと一緒に配布した。目的は女性用品が買えない生徒のため。また、男子には女性の生理について少しでも理解を深めるために開催した。
- ⑥ SW 窓口おすそわけ便を開催した。⇒スターゼン（株）様より冷凍豚レバーと豚肉の寄贈品と日用品等を一緒に配布した。2日間に渡り開催し、親たちが受け取りやすく設定した。

#### ※以下の項目は主たる事業所の「ソーシャルワークセンター」に基づく

- ・事業基本情報、1 基本方針、4 事業所の概要、5 主なサービス計画の結果
- 6 地域貢献活動計画の結果、7 職場の環境、8 研修計画・人材育成計画の結果

# ウィメンズライツみさわ 2022年度 事業報告

ソーシャルワークセンター拠点長：中川 れい子

報告主担当：豊川江梨子

## 1 【重点目標の結果】

- ① 女性の問題に関する相談支援を行った。
- ② 女性の地位や権利を守っていけるよう支援した。
- ③ 女性が安心して働けるよう男性の家事育児参加を促進するための講座を開催した。

## 2 【ウィメンズライツみさわ イベント活動年間表】

月 日	イベント名	活動	準備数	配布数
9月23日(金土)	SW 窓口おすそわけ便	女性用品配布	200	182
10月29日(土)	中高生イベント	女性用品配布	200	102
11月26日(土)	三沢こども宅食おすそわけ便	女性用品配布	200	176
12月16,17(金土)	SW 窓口おすそわけ便	女性用品配布	200	196
12月17日(土)	外国人サポート	女性用品配布	5	5
3月8日(土)	PC 教室	女性用品配布	10	10
3月25日(土)	ウィメンズライツみさわ相談室	女性用品配布	200	164
3月27日(土)	中高生イベント	女性用品配布	70	64
			1,085	899

※事情によりイベントに来られなかった方や直接相談された方にも必要時応じ配布を行っております。

## 3 支援事例の報告（まとめ）

- ① ・DV被害の相談6件（離婚成立1件、離婚手続き調停中1件、自宅へ戻った3件、入院中1件）
  - ・住居支援5件（他市町村へ2件、市内1件、不明2件）
  - ・就労支援3件（市内2件、他市町村にて1件）
  - ・訪問3件（定期的な訪問を継続中）
  - ・生活困窮相談4件（しあわせネットにつないだ2件）
- ② については管理職ロールモデルの講演会を開催した。（年1回）
- ③ については男性を対象にした料理教室を開催した。（年1回）

以下の項目は主たる事業所の「ソーシャルワークセンター」に基づく

- ・事業基本情報、1 基本方針、4 事業所の概要、5 主なサービス
- 6 地域貢献活動、7 職場の環境、8 研修・人材育成

**「暮らしサポートセンター・三沢」 無料低額宿泊所  
2022年度 事業報告**

○事業所基本情報

施設の種類： 無料低額宿泊所

開設日：令和4年6月 無料低額宿泊所開設

住 所：青森県三沢市東町 4-4-7

電 話：0176-51-0585

ソーシャルワークセンター拠点長 中川 れい子

無料低額宿泊所施設長：佐々木 百子（事業報告主担当）

**1 【基本方針】**

- ・入居者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう必要な支援を行う。

**2 【重点目標】**

- ・アセスメントを行い、個別支援計画を作成し、本人の自立に向けた支援及び、関係機関との連携・調整を行う。

結果（3/31、延べ入居者 13名、入居中含む、）

- ・居住支援とソーシャル（ウィメンズライツみさわ・親子安心ネットワーク）との連携 5件
- ・就労支援・関係市町村との連携・調整 2件
- ・居住支援・関係市町村・包括、社協との連携・調整 3件
- ・就労・居住・関係機関・関係市町村との連携・調整 2件
- ・その他 1件

**3 【本事業所の経営の目標値】**

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高		3,394,169	2,883,991
経費合計		6,252,898	6,210,151
差引収益		-2,858,729	-3,326,160
総時間		3,061.66	2,454.13
時間当り		-933.70	-1,355.30

#### 4【本施設（事業所）の概要】

##### (1)事業所サービス種別

- ・社会福祉法第 68 条の 2 の規定に基づく
- ・社会福祉法第 2 条第 3 項第 8 号に規定する生計困難な方に無料又は低額な料金で一時的な居住の場の提供を行い自立した日常生活を営むことができるように支援を行う事業所。

##### (2)職員種別と職員数 職員総数 3 名（兼務含む）

職員種別詳細については『8【職場の環境】』をご参照ください。

##### (3)定員：7 名

##### (4)利用対象者：生活困窮者等・居住要困難者・生活保護受給者・DV 被害者

##### (5)稼働時間

- ・無低：年中無休、24 時間 365 日 営業日・時間：月～金 AM8：00～19：00
- ・居住：土日休み 営業日・時間：月～金 AM10：00～17：00

##### (6)サービス提供地域・三沢市近郊

##### (7)施設環境

一階：居室 1、2 7.93 m<sup>3</sup> 居室 3 8.69 m<sup>3</sup> 食堂・ホール 13.24 m<sup>3</sup>

二階：居室 1、2 7.45 m<sup>3</sup> 3 12.42 m<sup>3</sup> 4 8.97 m<sup>3</sup> 食堂・ホール 25.80 m<sup>3</sup>

##### (8)車両：乗用車 1 台

#### 5【お客様の現況】（令和 5 年 3 月 31 日未現在）※開設令和 4 年 6 月

##### (1)利用年齢：40 代～70 代 平均 55.2 才

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 以上
計	1	2	4	3	1	1	0

##### (2)利用者居住地：三沢市近

	三沢市	六戸町	おいらせ町	田子町	黒石市
計	8	2	1	1	1

##### (3) 月別利用者数 2022 年 7 月～3 月 延べ 45 名

月	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	2	4	3	6	7	7	5	5	6

##### (4)月別新規入居者数

月	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計	2	2	0	3	2	2	0	1	1

##### (5) 宿泊利用状況 滞在日数：最短／1 日、最大／223 日、平均／86.7 日

年代	30	30	20	50	40	70	40	40	70	50	50	40	60
入居日数	1	4	11	27	30	34	45	93	146	148	178	188	223



(6)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

居室利用費 30,000 円、食費 6,000 円、水道光熱費・日用品費・共益費・暖房費 27,500 円

※生活保護受給者等の場合は住宅扶助、生活扶助、医療扶助あり

(7)退所先 3/31 までの退所者数と退所先

貸家	社員寮	自宅	友人宅	親戚
2	2	2	1	1

## 6 【主なサービスメニュー】

(1)相談支援サービス

自立するために必要な（生活・居住・就労）計画の作成を行い、行政・他職種との連携を図り、支援又は助言の実施。

(2) 計画書作成件数

計画書作成件数	ケース内容・他職種との連携・調整
7月：2件	【DV 被害者】ウイメンズライツ介入し、ご家族様との面談：7/11、7/21、 【家族間の問題】六戸社協、保護司、上北地方福祉事務所との連携・調整・面談：7/15、7/28、8/26、9/30、10/24、11/10、11/21 居住支援と連携
8月：2件	【居住要困難者】行政・ウイメンズライツとの連携・調整・面談：9/26。10/12 【DV 被害者】行政・ウイメンズライツ・三沢警察署・弁護士事務所との連携・調整・面談：8/20、8/22、9/13、9/20、10/26、居住支援 1/10
10月：3件	【触法者】保護観察官、行政との連携・調整・：10/6 【居住要困難者】田子包括支援センター・行政との連携・調整・面談：10/5、10/19、10/25、居住支援と連携 【触法者】福祉事務所、行政、ボイス、関係医療機関との連携・調整面談：10/20、11/1、12/20、1/24、3/15
11月：2件 (内1件、介護サービス利用者)	【DV 被害者】ウイメンズライツ介入し身内等と連絡・調整・面談。11/2 【居住要困難者】介護度2 地域包括・担当 CM 連携・調整・面談：11/7、11/17、11/22 (担会)、1/11、1/18 (担会)、2/16、3/23 (担会)
12月：2件	【居住要困難者】行政・弁護士事務所と連携、調整・面談：1/5、1/10、2/6、2/8、2/27 【DV 被害者】ソーシャル、ウイメンズライツ、ボイスと連携、調整・面談：

	12/15、12/26（会議）
2月：1件	【居住要困難者】行政・ウイメンズライツ・就労支援、居住支援連携・調整・面談：2/8、3/16
3月：1件	【DV 被害者】六戸町包括支援センターとの会議、3/21、社協・ウイメンズライツとの連携・調整・面談 3/31、

(3)食事サービス計画の結果：給食会議を月に1回開きサービスに反映致します。

(4)その他運営管理：会議

開催日	月日	構成
職員会議	月1回	拠点長・全職員
給食会議	月1回	拠点長・全職員
カンファレンス	月1回	拠点長・SW

## 7 【職場の環境】

(1)職員状況（令和5年3月31日状況）

- ・配置人員：管理者1名 相談支援員1名（9月より相談支援員 1名配属）
- ・保有資格：社会福祉主事任用資格 3名（兼務含む）

(2)有休の取得（常勤2人）：96時間取得 うち連続有給3日以上取得者 1名

(3) 職場環境保持：人権の尊重

- ・職業倫理・就業規則・4月実施 2名
- ・ハラスメント防止研修・4月実施 2名

## 8 【研修・人材育成】

(1) 人材育成の取り組み

キャリアラダー、内部研修、外部研修を用いて職員のキャリアアップを計る。

(2) 《研修表》

内部研修	外部研修
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業倫理・就業規則／4/13 2名</li> <li>・ハラスメント防止研修／4/25 2名</li> <li>・接遇、マナー研修／8/9 2名</li> <li>・生活保護に関する研修／8/28 2名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住支援協議会主催の研修、 （国交省・厚労省含む）</li> <li>3/2：居住支援 wb セミナー 1名</li> <li>6/25：居住支援2022シンポジウム 1名</li> <li>9/26~10/21：4回、居住支援研修 1名</li> <li>12/17、1/19：残置物の処理の解説セミナー 1名</li> </ul>

# 暮らしサポートセンター・三沢 居住支援法人

## 2022年度 事業報告

### ○事業所基本情報

施設の種類： 無料低額宿泊所 居住支援法人 社会福祉法人 楽晴会

※居住支援法人とは住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進し実施する事業であり、通称「住宅セーフティネット法」に基づき、居住支援を行う法人として都道府県が指定するものです。

令和4年1月31日に認可。令和4年4月1日事業開始

住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進し実施する事業。

住所：青森県三沢市東町 4-4-7

電話：0176-51-0585

ソーシャルワークセンター拠点長 中川 れい子

居住支援法人 相談支援員：小原 康明（事業報告主担当）

### 1 【基本方針】

- ・住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅へ円滑な入居を促進する為の取り組みを実施致します。
- ・行政・法人・民間賃貸不動産の資源を活かし、要配慮者等の生活の対応支援。
- ・法人の資源を活かし、本人の属性に対応した、自立支援援助。

### 2 【重点目標】

- ・三沢市近郊の不動産会社等への居住支援法人周知の為のセミナーの開催を行い関係構築に努める。

『結果』

- ・あんしん賃貸住宅登録不動産会社等への挨拶を実施。
- ・三沢市全体の不動産会社挨拶回りはコロナウィルスの為延期となる。
- ・居住支援事業開設説明・懇親会実施（5/20につたや会館にて開催）

### 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高		2,900,000	4,016,556
経費合計		1,441,266	1,337,328
差引収益		1,463,714	2,189,228
総時間		2,110,12	1,967,89
時間当り		693.70	1,112.50

#### 4 【お客様の現況】（2023年3月31日現在）

##### (1) 2022年度 相談件数 44件

※1(住宅確保要配慮者)

	生困窮者	障がい者	DV被害者	触法者	ホームレス※1	高齢者
人数	18	1	5	3	10	7

##### (2) 2022年度相談者地域別詳細（県・市区町村）

三沢	おいらせ	十和田	六戸	東北	黒石	青森	八戸	三戸	福島
27	4	1	3	1	1	1	2	3	1

##### (3) 2022年度相談者一時保護からの入所実績

性別（属性）	人数	性別（属性）	人数
男性（触法者）	2	女性（DV）	5
女性（触法者）	1	女性（生活困窮者）	1
男性（ホームレス）	3	女性（住宅確保要配慮者）	1

#### 5 【主なサービスメニュー】

##### (1) 相談支援サービス

自立するために必要な（生活・居住・就労）計画の作成を行い、行政・他職種との連携を図り、支援又は助言の実施。

##### (2) 2022年度相談者就労支援実績

40代男性 建築・土木業2名、40代女性 宿泊業1名

##### (3) 2022年度入居相談解決件数 7件

入居先種類	人数	入居先種類	人数	入居先種類	人数
介護保険施設	1	有料高齢者住宅	1	社員寮	2
民間賃貸住宅	5	自宅	2		

##### (4) 他事業所との連携

三沢市生活福祉課	25件	六戸町社協	3件
六戸町包括支援センター	7件	三戸町包括支援センター	3件
青森県保護観察所	3件	障がい者相談支援センター	2件
その他	4件		

#### 6 【職場の環境】

##### (1) 職員状況（令和5年3月31日状況）

- ・ 配置人員：管理者1名 相談支援員1名（9月より相談支援員 1名配属）
- ・ 保有資格：社会福祉主事任用資格 3名（兼務含む）

##### (2) 有休の取得：（常勤2人）96時間取得 うち連続有給3日以上取得者 1名

##### (3) 職場環境保持：人権の尊重

- ・職業倫理・就業規則・・・4月実施 2名
- ・ハラスメント防止研修・・・4月実施 2名

## 7 【研修・人材育成】

### (1) 人材育成の取り組み

内部研修、外部研修を用いて職員のスキルアップを計る。

<外部研修参加表> 居住支援協議会主催の研修（国交省・厚労省含む）

6/15 全国居住支援サミット	9/26 刑務所出所者の居住について
10/3 保証の先進取り組み事例について	10/17 障がい者総合支援法の見直し
10/21 残置物処理に関する契約条項	12/16 死後事務委任処理に関する条項
1/19 残置物処理モデル契約条項	

# 晴ヶ丘老人ホーム 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設サービス種別：(一般型特定施設入居者生活介護) 養護老人ホーム

創設：昭和43年4月 晴ヶ丘ホーム創設(楽晴会が創立し最初に創設された施設)

平成29年6月1日に介護保険法の指定(介護予防)特定施設入居者生活介護の取得により介護認定を受けた入居者へ介護サービス提供が可能となった。

住所：青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字堀切沢 59 番地 54

連絡先：0176-53-2481

晴ヶ丘拠点長：吉田 幸恵

施設長：吉田 幸恵(事業報告主担当)

## 1【基本方針】

処遇計画に基づき入居者の社会復帰の促進、自立のための指導及び訓練、援助を通じご本人の有する能力に応じて、意思決定及び人格を尊重し、自立した生活を営むことができるように支援します。また地域や家庭との結び付きを重視する運営をし、保健・医療・福祉サービスとの連携を図ることで、お客様が安心して生活できる環境を整えます。

人権擁護、虐待防止のための体制整備及び研修の実施により職員の資質向上を図ります。

## 2【重点目標】

(1) 経営基盤の安定した施設づくり

入所者数65名稼働目標⇒通期平均62.7人.経営状況は【3】に記載。

(2) 入居者主体の施設づくり

自治会(山鳩の会)の意見、顧客満足度調査結果に基づく改善活動実施。

(3) 地域に開かれた施設づくり

機関誌定期発行、小学校との交流、各自治体との連携強化の実施。

(4) 職員が幸福を感じる施設づくり

従業員満足度調査結果に基づく改善活動実施。福利厚生満足度向上。

## 3【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	214,153,909	221,088,392	217,761,691
経費合計	72,174,353	75,990,598	74,475,544
差引収益	141,979,556	145,097,794	143,286,147
総時間	60,373.74	66,668.23	64,714.86
時間当たり	2,351.67	2,176.40	2,214.10

#### 4【本施設（晴ヶ丘老人ホーム）の概要】

##### (1)施設（事業所）サービス種別

〈一般型特定施設入居者生活介護〉養護老人ホーム（措置施設）

- ・介護保険法：指定（介護予防）特定施設入居者生活介護事業所
- ・老人福祉法：養護老人ホーム 第十七条第一項に基づく

##### (2)職員種別及び職員数：職員総数 38 人

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

##### (3)定員：70 名

##### (4)入居対象者：

環境上の理由や経済的理由により、在宅で生活していくことが困難な 65 歳 以上の方  
（入居は自治体の決定による。社会復帰を目指す入居施設）

##### (5)入居可能地域： 限定無し

##### (6)営業日：年中無休 24 時間（生活活動時間 6:00～21:00）

##### (7)施設環境

種別	室数	総面積(目安)	一人当たり面積
2 人部屋	23	340.48 m <sup>2</sup>	7.40 m <sup>2</sup>
4 人部屋	6	110.00 m <sup>2</sup>	4.58 m <sup>2</sup>

静養室 21.69 m<sup>2</sup>、食堂 178.20 m<sup>2</sup>、浴室 25.92 m<sup>2</sup>、医務室 12.96 m<sup>2</sup>、  
娯楽室 33.84 m<sup>2</sup>(1 階)、20.88 m<sup>2</sup>(2 階)、面談室 23.40 m<sup>2</sup>、寮母室 24.48 m<sup>2</sup>

##### (8)送迎・病院受診用車両：3 台

#### 5【お客様の現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

##### (1)入居者年齢：60 代～90 代 平均 82.7 才

##### (2)入居者居住地：青森県南地域、岩手県

##### (3)要介護区分

一般 養護	障害者等	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
3 人	28 人	1 人	4 人	9 人	9 人	2 人	3.28

##### (4)費用徴収基準月額

0～8,000	～10,000	～30,000	～50,000	～70,000	～90,000
15	6	16	13	5	1

##### (5)年度の終結 終結総人数 12 人

内訳：転居（他施設入居） 3 人、死亡 8 人、3 ヶ月入院 1 人

##### (6)入所状況／人 営業日数 365 日

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
措置入所	62	61	60	60	59	59	57	56	56	58	60	60	59
契約入所	2	2	4	4	4	3	3	4	3	4	5	6	3.7

##### (7)新規利用者 11 人

## 6 【主なサービスメニュー】

### (1)施設介護サービス

- ・お客様の自主性・主体性を尊重した生活支援を実施。
- ・安心・安全・快適な生活環境の提供のため、各担当者の連携により実施。
- ・個別ニーズを反映した支援及び介護の提供のため処遇計画に多職種の視点で計画・実施・評価を行っている。

### (2)医療・看護サービス

#### ・医療サービス

配置医師の斉藤聡医師（三沢市立三沢病院）が第2・4水曜日 12：15～13：30 に往診。

入居者 43 名の健康管理、療養上の指導及び施設の保健衛生の管理指導を実施

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日	13	11	8	13	10	14	12	9	7	11	8	8
	27	25	22	27	24	28	26	30	21	25	22	22

#### ・看護サービス

#### ≪入所者の疾患の状況≫

既往症	人数	既往症	人数	既往症	人数
高血圧	30人	うつ病	4人	心筋梗塞	2人
認知症	23人	慢性心不全	3人	脳動脈瘤	2人
糖尿病	10人	乳癌術後	3人	甲状腺機能低下症	2人
不整脈	16人	大腸癌術後	2人	閉塞性動脈硬化	1人
脳梗塞後遺症	9人	関節リウマチ	1人	パーキンソン病	1人
脳出血後遺症	2人	慢性閉塞性肺疾患	2人	非定型抗酸菌症	1人
てんかん	2人	大動脈弁狭窄症	1人	視覚障害	2人
一過性脳虚血発作	1人	肝臓癌	1人	知的障害	2人
狭心症	2人	胃癌	1人	尿閉(尿バルーン)	2人

#### ≪上記に必要な処置等の状況≫

バイタルチェック	内服投与	軟膏塗布、褥瘡処置	浣腸、排便
疼痛管理(頓服・湿布)	劇薬(抗精神病薬)管理	点滴管理	採血
バルーンカテーテル管理	軟膏塗布、褥瘡処置	在宅酸素療法管理	点眼

#### ≪受診状況≫

往診(三沢病院内科)	43人	高松病院	10人	あいざわクリニック	1人
三沢病院(泌尿器)	2人	おおぞらクリニック	11人	岡三沢診療所	1人
〃(循環器)	3人	十和田中央メンタル	2人	鳴海外科	1人
〃(整形)	2人	福田眼科	7人	得居泌尿器科	2人
〃(皮膚科)	2人	むつみ眼科	4人		
サイトウ整形外科	2人	平山皮膚科	10人		



・看取り；4名のお看取りを実施。精神面ケアを中心に、指示点滴、麻薬管理等の実施。

### (3)機能訓練サービス

・特定施設生活介護25名の個別機能訓練計画書を作成し3カ月に1回の見直しを行いケアプラン等に反映し実践している。

#### 《主なリハビリ実施内容》

歩行練習	12人	関節可動域練習	5人	座位保持練習	15人
筋力強化・維持練習	21人	リラクゼーション・ストレッチ	6人	棒体操等集団体操参加促し	9人
立位保持・バランス練習	15人	車椅子自操練習	4人	移乗練習	15人

歩行状態や移乗動作など日常生活の中で関わりながら評価している。生活リハビリとして取り組めるように関わっている。

・フレイル、サルコペニア対策として二階のお客様を対象に6カ月に1回の頻度で筋力(握力)、身体機能を歩行速度、立ち上がりテスト、Timed up and go testの4項目で評価を実施。

#### 《1月評価(R5.1/23~1/27の期間実施)時点の結果》 対象者26名

サルコペニア該当なし4人	予備軍12人	該当者(転倒リスク↑)10人
--------------	--------	----------------

サルコペニアに該当するお客様10名という結果になった。2階のお客様の約半数が今後フレイルに繋がる恐れがある。週1回の集団体操を実施し予防を図っている。

#### ※サルコペニアとは

高齢になるに伴い、筋肉の量が減少していく老化現象。25~30歳頃から進行が始まり生涯を通して進行します。筋線維数と筋横断面積の減少が同時に進んでいきます。

#### ※フレイルとは

病気ではないけれど、年齢とともに、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態のことです。

### (4)相談支援サービス

日常生活上の困りごとやご家族の心配等含め、生活相談員が必要な相談やその他の援助を行っている。

### (5)食事サービス

・栄養管理の状況(年間平均)

	リスク割合(%)	主なリスク要因
低リスク者	62.6%	
中リスク者	37.4%	BMI18.5未満、体重減少率、血清アルブミン値、食事摂取量75%以下、HbA1c6.5以上、在宅酸素等
高リスク者	0%	褥瘡、経管栄養等

・給食管理の状況（年間平均）

食 種	常 食	きざみ食	ムース食
食種割合（％）	68%	18%	14%

・行事食の状況

月 日	行事食名	献立内容
4/20	お弁当の日 (お花見弁当)	たけのご飯、味噌汁、エビフライ、一口フライ、卵焼き 菜の花の辛し和え、かぼちゃサラダ、漬物
5/5	端午の節句	えびピラフ、味噌汁、デミグラスソースハンバーグ、 マッシュポテト、人参グラッセ、スパゲッティサラダ
5/23	お弁当の日	山菜ご飯、味噌汁、チーズチキン大葉巻き、シュウマイ、カニカマ、 かぼちゃ含め煮、キャベツの味噌マヨ和え、漬物
6/21	お弁当の日	わかめご飯、味噌汁、焼魚（鮭みりん漬）、卵焼き、一口昆布巻、 ほうれん草白和え、里芋と鶏の煮ころがし、漬物
7/7	七夕	七夕そうめん、揚げなすの味噌炒め、すいかゼリー
7/23	土用の丑 (選択メニュー)	うな丼／天井、 味噌汁、きゅうりとカニの酢の物、漬物
8/26	お弁当の日	ゆかりご飯、味噌汁、メンチカツ、カニ風卵巻き、 ほうれん草としらすの和え物、ひじき炒め煮、漬物
9/13	敬老会	赤飯、すまし汁、祝膳、茶碗蒸し
10/19	お弁当の日	わかめご飯、味噌汁、エビフライ、メンチカツ、ブロッコリー、 卵焼き、マセドアンサラダ、漬物
11/25	お弁当の日	きのご飯、味噌汁、子持ちししゃもフライ、卵焼き、 ジャーマンポテト、ひじき炒め煮、漬物
12/25	クリスマス	ご飯、コーンスープ、グリルチキン、スパゲッティソテー、 ブロッコリー、きゅうりとカニの酢の物
1/1	元旦	ご飯、雑煮、栗きんとん、ほうれん草胡麻和え、あじの和風マリネ、みかん
1/7	七草	七草粥、味噌汁、焼魚（ほっけ）、ほうれん草お浸し、豆乳がんも 含め煮、里芋と鶏の煮ころがし
1/18	新年会	赤飯、すまし汁、祝膳、茶碗蒸し
2/14	バレンタイン	ご飯、味噌汁、チーズチキン大葉巻き、トマト、キャベツ胡麻和え、 切干炒め、チョコプリン
3/3	ひなまつり	五目散らし寿司、すまし汁、菜の花と菊の和え物、三色花ゼリー

(6)年間行事

月日	主な行事	月日	施設行事（行事以外）
4/27	桜を楽しむ会	4/20	山鳩の会役員会・総会
5		5/18	夜間想定総合訓練（防災）

6/18	花植え		
7		7/5・12・19	お客様健康診断
8/17	技能実習生歓迎会/納涼祭	8/31	山鳩の会役員会・懇談会
9/13	敬老会/秋彼岸お墓参り	9/1 9/26	緊急連絡網訓練 夜間想定総合訓練（防災）
10/19	作品展示会		
12/21	忘年会	12/23・24	職員福利厚生
1/18	新年会		
2/2、2/14	節分行事/バレンタイン企画	2/8 2/3	お客様健康診断 職員福利厚生
3/3	桃の節句/春彼岸お墓参り	3/1 3/16	山鳩の会役員会・懇談会 夜間想定防災図上訓練

(7)その他運営管理：会議

名称／構成	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
拠点会議	6	7	3	20	5	5	21	9	7	6	3	8	
構成メンバー	施設長、各部門責任者、主任												
職員会議(安全衛生含む)	20	30	22	20	31	21	26	21	28	25	22	29	
構成メンバー	施設長、施設長補佐、部門責任者、主任、参加可能な範囲												
介護・看護会議	13	11	8	13	15	7	12	16	—	11	8	15	
構成メンバー	施設長、施設長補佐、主任、計画作成担当者、各リーダー、介護職員												
グループ会議	1G	12	9	4	18	30	10	—	14	17	24	18	21
	2G	6	12	11	9	25	24	—	18	26	12	15	23
	2F	11	10	8	6	18	28	—	10	1	—	4	27
構成メンバー	グループリーダー、グループ担当介護職員												
給食会議	14	10	22	16	9	9	14	17	15	12	16	16	
構成メンバー	施設長、給食部門責任者（栄養士）、調理員												
事故防止委員会	18	17	13	14	12	27	17	8	—	16	6	23	
構成メンバー	委員会組織図メンバー												
身体拘束適正化委員会	/	/	10	/	/	9	/	/	9	/	/	31	
構成メンバー	委員会組織図メンバー												

(※上記記載、/は定期開催なし・—はコロナ関連にて中止)

7【地域貢献活動】

- ・大曲小学校雑巾寄贈 10月17日（雑巾作り5名参加）
- ・子ども宅食事業参加 5月、7月、9月、11月、1月、3月（各回2名参加）

## 8 【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

・配置人員

管理者1名、主任生活相談員1名、生活相談員兼支援員2名、計画作成担当兼看護職員1名、看護職員（機能訓練兼務）2名、理学療法士1名、主任支援員1名、支援員兼介護職員13名、管理栄養士1名、調理員7名、ケアアシスタント1名、ハウスキーパー2名、事務職員2名、技能実習生2名、用務員1名

・保有資格

介護福祉士8名、主事3名、社会福祉士1名、介護支援専門員1人、看護師1名、准看護師1名、理学療法士1名、管理栄養士1名、調理師5名

(2)有休の取得(常勤29人,非常勤9人)：4,314時間取得うち連続有休3日以上取得者12人

(3)職場環境保持：人権の尊重

- ・ハラスメント防止研修実施（10/4：R3・4職員受講，10/11：R1-3・R2職員受講）
- ・ハラスメント防止啓発活動の実施（12月、3月）
- ・倫理・法令遵守に係る研修実施（7/6全職員対象）

## 9 【研修・人材育成】

(1)法定の研修

- ・虐待予防、身体拘束、災害予防、事故予防、感染症・食中毒、緊急時の対応の研修は(3)研修に記載

(2)人材育成の取り組み

・キャリアラダーを用いた職員スキルアップに向けた指導担当の配置と各種研修参加支援  
※キャリアラダーとは…楽晴会は等級の基準となり専門性を高めるための指標となる専門職別キャリアラダーを作成。そのキャリアラダーを用い、中期（9月）期末（2月）に自己評価と評価者との面談を行い等級レベルが確定する。（R1-1～R6）

- ・技能実習生2人・・・介護初級試験
- ・介護福祉士取得促進対象2人・・・対策講座等サポート、実務者研修受講促進
- ・介護支援専門員取得目標3人・・・1名合格
- ・日本語N3合格への学習サポート実施

※外国人（特定）技能実習生…2022年4月のインドネシア実習生2名を迎えてから、バングラデシュ、ネパール、ミャンマー、フランスから実習生の受け入れを行っている。

介護技術を学びながら日本語のレベルアップ（日本語試験の合格）を目標に就業している。

(3)年間研修

内部研修	実施月日	人数	外部研修	実施月日
非常災害時の対応	4/26、5/25	調理7人	介護支援専門員スキルアップセミナー（中平）	6/8
身体拘束等の適正化	9/28	介・看全職員	介護支援専門員更新研修（富田）	9/20
感染症蔓延防止	3/31	介・看全職員	認知症実践者研修（米内山）	7/21 他

プライバシー保護	7/6	全職員	認知症基礎研修（長根、山内）	6/18
事故発生予防研修	5/25/11/9	全職員	青森県災害福祉チーム登録研修（中平）	7/28・29
安全衛生	9/5	全職員	介護施設における法律事務（中平）	9/23
ノーリフト研修	6/29	介護全員	福祉車両送迎運転者講習会（椋木）	10/26
高齢者虐待防止	3/31	介・看全職員	コーチング講座（横川）	10/31
ユマニチュード	2/28	介・看全職員	メンター養成研修（堰野端）	12/2
看取り	1/31	介・看全職員	リスクマネジメント研修（廣澤）	12/2
夏場の食中毒と衛生	7/28、29	調理7人	技能実習指導者研修（堰野端）,責任者研修(吉田)	2/14,1/19
疾病と治療食について	9/29、30	調理7人	アセッサー研修（中村直）	2/27
新調理機器を使った調理方法	2/13	調理7人	ハラスメント防止講習会（吉田）	10/11
冬場の食中毒と衛生	11/15、17、22	調理7人	経営塾研修（吉田）10/6・7、12/5・6	4日間

# はるが丘介護支援センター 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：指定居宅介護支援事業所  
 開設日：平成 12 年 11 月はるが丘介護支援センター開設  
 住所：青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字堀切沢 59 番地 54  
 連絡先：0 1 7 6 - 5 0 - 2 1 2 1  
 晴ヶ丘拠点長：吉田 幸恵  
 事業所長：鹿内 佳子（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

- (1)QOL の向上をベースに人が生活を営み、住み慣れた地域で暮らしていけるよう自己決定や尊厳が確保された生活ができるよう対応できるようにします。
- (2)地域関係機関、多職種と連携を図り、地域で支えるケアプランの質を高める。
- (3)給付管理件数を伸ばし、安定した運営が行われるようにする。

## 2 【重点目標】

### (1)検討事例研修会の企画開催参加

介護支援専門員、在宅介護支援センターの職員として、※「地域課題」を抽出、検討し新たな社会資源を発掘していくため、以下の研修会に参加。

ケーススタディネットワーク(三沢支援、はるが丘支援)、在介・支援・LSA 会議		
契約時のキーパーソンが後に亡くなった時の対応	11/21	鹿内、船水、齋藤
満足得られず複数回ケアマネを交換しているケース	1/10	鹿内、船水
ターミナル時の意向(エアマットレンタルについて)		
他法人との事例検討会研修		
入浴支援拒否があるケースへの声掛け方法について	7/7	鹿内、船水、齋藤
援助が必要になっても希望する地域で暮らしたい	9/8	鹿内、船水
家族関係の悪化や介護者のストレスについて苦慮しているケースへの対応方法について	11/10	鹿内、船水
世帯で生活サポートが必要なケース	1/12	鹿内、船水

※「地域課題」：8050問題、虐待、経済的困窮、孤立、さまざまな依存症、ひきこもり、多重介護、ヤングケアラー等

困難と思われた事例を多様な視点で振り返ることによって、地域理解が深まり問題解決する方法を探る力を養えた。コロナ禍で家族間の問題をとらえにくいこともあったが、事例を通じて様々な問題に触れ検討することで、対応策を考える力が付いた。

(2)訪問医療医と医療連携を強め、利用者の「人生を自分らしく生きること」「看取り」を支援。

ご利用者		状況
T.T 様(享年 88)	4/25	本人と家族の意向に添い、訪問診療、訪問看護等多職種と連携、ご自宅で逝去。
Y.S 様(享年 92)	8/31	
O.Y 様(享年 76)	12/4	

利用者とその家族の意向が一致しないことや、最期まで自宅での看取りを悩まれる家族など、様々な問題があったが、主治医や訪問看護等と医療連携を強め、チームで支え、最期に出来るだけ後悔が残らないように務めることができた。

### 3【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	15,092,962	16,943,843	14,309,346
経費合計	2,962,601	2,947,728	2,736,132
差引収益	12,130,361	13,996,115	11,573,214
総時間	4,781.00	5,440.00	4,277.00
時間当り	2,537.20	2,572.80	2,705.90

### 4【本施設（事業所）の概要】

#### (1)事業所サービス種別

- ・介護保険法：指定居宅介護支援事業所の青森県指定「0272502030」事業所
- ・老人福祉法：老人居宅生活支援事業（第五条の二）に基づいている

#### (2)職員種別及び職員数：管理者1名、介護支援専門員1名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

#### (3)目標件数70件（介護支援専門員1名35件×28人配置）

#### (4)稼働時間：月～土 午前8時30分～午後5時30分 二十四時間連絡体制を確保し、かつ、必要に応じて利用者等の相談に対応する体制を確保

#### (5)利用対象者：要介護1～5の認定を受けた高齢者

#### (6)サービス提供地域：三沢市、六戸町、おいらせ町、東北町（一部）、十和田市（一部）

#### (7)事業所設備：相談室 11.17 m<sup>2</sup>（基準第20条設備、相談室設置）、事務所 14.49 m<sup>2</sup>、展示室 12.42 m<sup>2</sup>

#### (8)訪問用車両：2台

**5 【お客様の現況】（令和5年3月31日現在） 担当顧客数 95名**

(1) 利用年齢(男女別) 平均 84.6歳

50代		60代		70代		80代		90代		100以上	
男1	女1	4	1	8	9	14	26	7	21	0	3

(2)利用者居住地：三沢市、六戸町、おいらせ町

(3)介護区分

総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2人	3人	8人	20人	29人	14人	14人	5人

(4)年度の終結 終結総人数 27人

内訳：施設入居 6人、 移行 6人、 死亡 14人、 改善 1人

(5)新規利用者 35人

(6)担当ケース(請求ケース) 営業日数 月21日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケース数	77	77	79	80	70	69	68	69	68	68	75	77
総合/予防	18	18	18	17	12	11	11	10	11	11	14	13
常勤換算	2.8	2.8	2.8	2.8	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

**6 【主なサービスメニュー】**

(1)居宅介護支援サービス

・介護保険法を遵守したケアマネジメントを実施。

※介護や支援を必要としている人に対して、ご本人の生活状況や心身状況を踏まえて希望に沿った生活を送れるよう多様な介護サービスを組み合わせるプランを提供することです。

・介護支援専門員が利用者の権利に基づいて居宅介護サービス計画を作成する。

・相談件数 39件／サービスにつながった件数 35件

内訳：六戸町包括 15件 三沢市包括 4件 おいらせ町包括 3件

三沢市立病院 3件 ノガワ家具センター 3件 はるが丘デイ職員 2件

直接家族から 5件

シニアライフ大津、栄町コラボ、岡三沢コラボ、三沢訪問看護から各 1件

・ケース会議

内訳：サービス担当者回会議 129件 施設ケース会議 25件 病院内会議 4件

地域包括会議 1件

※ケースカンファレンス、ケース会議とは…医師、ケアマネジャー（介護支援専門員）、看護師、サービス事業者、介護福祉士、ときには要介護者本人や家族などが集まり、要介護者の身体状況の確認や新たな課題の有無、サービス内容の検証などを行うための会議。



・緊急時対応

ご利用者		状況
K.W 様	4/5	脳障害の症状あり救急搬送に同行。家族に引き継ぐまで病院へ情報提供行う
K.M 様	5/15	夫から訪問看護に「動けなくなった」と緊急連絡あり。 脳梗塞再発か虐待か疑われた為救急搬送し搬送先へ駆けつけ対応する
	6/14 ~20	併設デイサービスにてコロナ感染あり、同日利用者とその家族の状態確認と感染対策行う。また訪問業務について感染拡大防止の為の対策をとる
H.A 様	6/27	家族より「もう面倒見たくない、家を出る」と相談あり、急遽訪問し対応
Y.M 様	6/29	状態悪化したため緊急ショート利用を急遽調整
T.T 様	7/5	独居で連絡つかなくなった為緊急対応。警察に通報すると自宅で亡くなっているのを発見され、聴取に応じる。
Y.T 様	8/29	高齢夫妻世帯。夫妻でコロナ感染となり外出制限。食材等お届けする。
Y.H 様	10/4	独居。認知症。通帳紛失して再発行が出来ないと包括、信金等へ相談に行くが、説明を受けても理解出来ず増々混乱していると包括から連絡あり。急遽訪問し必要書類等準備し一緒に対応し安心していただく。
T.T 様	12/28	本人から「すぐ施設を探してほしい」と差し迫った声で連絡あり、急遽訪問し家族間のトラブルを確認、対応。
H.K 様	2/24	床に寝て大声で叫んでおり、家族が介護限界を感じ緊急で保護入院となる。搬送の為訪問し対応。

・困難ケース

内訳：認知症独居 3 件 高齢者世帯(老々介護、8050 問題)4 件 虐待 1 件

経済的困窮 2 件 多重介護 2 件

依存症、引きこもり、ヤングケアラーは 0 件

地域包括、各サービス事業所と連携し対応

(2)その他運営管理：会議

名称	月日	構成
職員会議	月 1 回	事業所内職員全員参加
拠点会議：安全衛生会議	月 1 回	はるが丘拠点内責任者
支援：LSA:在介会議	年 2 回	各事業所職員

※LSA とは…三沢市委託業務、三沢市営住宅での相談、必要な入居者への声掛け（安否確認）等を行う事業所です。

**7【地域貢献活動】**

・六戸町地域ケア会議(推進会議) コロナ禍対応の為、文書にて 5/10 鹿内参加

・子ども宅食 7/3 船水参加、3/26 船水参加

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

・資格保有者：管理者1名、介護支援専門員1名（いずれも主任介護支援専門員）

※主任介護支援専門員とは…地域のケアマネの支援、指導、育成、相談対応を行うリーダー役を担います。また、介護サービス事業者との連携を構築、地域の介護における課題の発見し解決に導いたり、地域ケア会議の開催、支援困難事例への指導や助言なども行います。

(2)有休の取得(常勤2人)：276時間取得目標とした「年度内10日以上取得」を達成

(3)職場環境保持：人権の尊重

・人権やプライバシー保護、ハラスメント防止の研修(拠点内研修)に参加しました。

名称	月日	開催
プライバシー保護	7/6 鹿内、船水参加	拠点内研修
ハラスメント防止	6/10 鹿内、船水参加	上十三ケアマネ(Zoom)

## 9【研修・人材育成】

(1)法定内外の研修

権利擁護、虐待防止、事故対応、感染症の蔓延防止と対応(BCP)、非常災害時の対応(BDP)、安全衛生、ハラスメントの研修に参加

(2)人材育成の取り組み

・主任介護支援専門員研修 1名

・OJT,キャリアラダー、下記年間研修計画を用いて職員キャリアアップを図る

(3)《研修年間表》

内部研修
①人権擁護、虐待防止研修会(年1回)7/6 鹿内、船水参加
②感染症まん延防止研修(年1回)7/6 鹿内、船水参加
③介護支援専門員倫理研修(年1回)不参加(コロナ感染拡大防止の為)
④BCP:自然災害、感染症 研修(年2回)5/25、7/6 鹿内、船水参加
外部研修 (年4回以上)
①青森県介護支援専門員協会研修 11/2~12/7 主任ケアマネ 船水参加
②上十三介護支援専門員研修 6/10 鹿内、船水、齋藤参加
③六戸町地域包括支援センター10/14 鹿内、船水参加
④他法人会議 事例検討会 7/7、9/8、11/10、1/12 全回鹿内、船水参加
⑤地域事業所連携(事例検討含)研修会 6/13 鹿内、齋藤参加 9/12 鹿内、船水参加

※BCPとは…BCPとは、Business Continuity Planの頭文字を取ったもので、災害や感染症などの緊急事態が起こった際に企業が事業を継続していくための計画活動です。

# はるが丘デイサービスセンター 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：通常型通所介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業

開設日：平成12年11月はるが丘デイサービスセンター開設

住所：青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字堀切沢 59 番地 54

連絡先：0176-50-2122

晴ヶ丘拠点長：吉田 幸恵

事業所長：梅津 瑞恵（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

- (1)「自己選択」「自己決定」を重視したサービスで支援する。
- (2)働きやすい職場環境づくりに努める。
- (3)ご家族や地域とのかかわりを大切にする。

## 2 【重点目標】

- (1)お客様満足度の向上：顧客満足度調査2回実施

6月：満足 96.8% 満足していない 3.2% 12月：満足 91.6% 満足していない 8.4%

- (2)経営目標の達成：登録者数 45 名（3月時点） 差引収益 62.9% 時間当たり 1,510.6 円

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	45,155,419	37,639,632	32,437,015
経費合計	12,395,086	11,297,531	12,030,424
差引収益	32,760,333	26,342,101	20,406,591
総時間	13,740.00	13,820.78	13,508.00
時間当たり	2,384.20	1,906.00	1,510.60

#### 4 【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別

- ・介護保険法： 指定通所介護事業所、指定介護予防・日常生活支援総合事業
- ・老人福祉法：老人デイサービス事業

(2)職員種別及び職員数：職員総数 8 人

上記については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)利用定員：25 名

(4)利用対象者：要介護 1～5 の認定を受けた方（予防：要支援者と 65 歳以上の方）

(5)利用可能提供地域： 六戸町 三沢市 おいらせ町

(6)営業時間：月～土 午前 8 時 15 分～午後 5 時 15 分

(7)事業所設備

食堂 47.29 m<sup>2</sup>、機能訓練室 35.94 m<sup>2</sup>、静養室 6.21 m<sup>2</sup>、事務所(相談室)4.96 m<sup>2</sup>、浴室（特殊浴槽 1，リフト浴 1）

(8)送迎用車両

リフト付き福祉車両 2 台（9 人乗り・うち車椅子 2 台）

福祉車両 1 台（4 人乗り・車椅子乗車時 3 人乗り）

#### 5 【お客様の現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

(1)利用年齢：60 代～100 才代 平均 85.8 才

70 歳未満	70 歳～79 歳	80 歳～89 歳	90 歳～99 歳	100 歳以上
3 人	9 人	17 人	14 人	2 人

(2)利用者居住地：六戸町 18 人、三沢市 20 人、おいらせ町 7 人

(3)要介護区分（介護予防・総合事業含む）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
1 人	6 人	8 人	15 人	7 人	5 人	0 人	2.26

※介護予防とは…高齢者が要介護状態になることの予防、または要介護状態の悪化の防止、さらには軽減を目指すことを目的して行うものです。（対象者は要支援 1～2）

※総合事業とは…総合事業とは「介護予防・日常生活支援総合事業」とも呼ばれ、高齢者が住み慣れた地域で生活していくために介護保険一部改正により平成 27 年よりはじまったサービスで、国が支える介護保険制度による支援とは違い、自治体が主体となって住民参加を促しながら地域全体で高齢者を支えていく仕組みです。（対象者は 65 才以上）

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額 食費：520 円（昼食）

0～8,000	～10,000	～20,000	～30,000	～40,000	～50,000
20 人	6 人	11 人	3 人	2 人	0 人

(5)年度の終結 終結総人数 21 人

内訳：施設入居 12 人、他通所 2 人、死亡 6 人、その他 1 名

(6)利用状況／人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
営業日数	26日	26日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	26日	24日	24日	27日	
延べ利用者数	407	370	367	377	345	325	346	318	346	329	333	278	345
一日平均	15.7	14.2	14.1	14.5	12.8	12.5	13.3	12.2	13.3	13.7	13.9	10.3	13.4

(7)新規利用者 23人

## 6【主なサービスメニュー】

### (1)通所介護サービス

・1日の流れ

送迎⇒血圧・体温・体調チェック⇒余暇・趣味・機能訓練など⇒入浴⇒昼食⇒口腔ケア  
⇒静養・余暇⇒体操⇒機能訓練⇒レクリエーション⇒おやつ⇒送迎

・通所介護計画書をもとにサービスを展開（6ヶ月毎のモニタリング）

・疾患別ケア 車椅子13人 麻痺6人 認知症による行動障害2人 不安愁訴4人

・午後のアクティビティ

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
個別レク	塗り絵・手芸	塗り絵・トランプ	塗り絵・手芸・オセロ	塗り絵・手芸	塗り絵・トランプ・オセロ	塗り絵・手芸・オセロ
	脳トレ（毎日）お客様のご要望に合わせて提供（計算・間違い探し・クロスワード・知恵の輪など）					
団体レク	体操（毎日） 団体レク（輪投げ・パターゴルフ・ボール入れ・的当て・ベンチサッカー・物送り・魚釣り・DVD鑑賞など）週に2回程度実施					

※介護におけるアクティビティーとは…利用者の心身の活性化をもたらすための活動で、散歩や体操などの「運動」、カラオケや音楽鑑賞、料理や園芸などの「趣味」、手芸、囲碁、トランプなどの「ゲーム」があります。

### (2)看護サービス

・体調管理（バイタル測定）、服薬管理、医師の指示のもと患部処置

### (3)機能訓練サービス ※内部PT（4回／月）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
対象者	12人	9人	8人	12人	8人	14人
内容	ニューステップ・ホットパック・歩行訓練・下肢筋力運動・拘縮マッサージ・手指筋力運動・上下肢振り子運動					

### (4)相談支援サービス

担当者会議 年間56件（うち新型コロナ感染予防対策の為、18件は照会のみ）

### (5)食事サービス

・給食管理の状況（令和5年3月31日現在）

食種	常食	きざみ食	ムース食
食種割合 (%)	87.5%	10%	2.5%

・行事食の状況

月日	行事食名	献立内容
5/5	端午の節句	えびフライ 味噌汁 デミグラスソースハンバーグ マッシュポテト 人参グラッセ スパゲッティサラダ
7/7	七夕	七夕そうめん 揚げ茄子の味噌炒め すいかゼリー
7/23	土用の丑 (選択メニュー)	うな丼/天丼 味噌汁 きゅうりとカニの酢の物 漬物
9/15~17	敬老会	赤飯 すまし汁 祝膳
1/7	七草	七草粥 味噌汁 焼き魚(ほっけ) 報連相のお浸し 豆乳がんも含め煮 里芋と鶏の煮ころがし
2/14	バレンタイン	ご飯 味噌汁 チーズチキン大葉巻き トマト キャベツ胡麻和え 切干炒め チョコプリン
3/3	ひなまつり	五目ちらし寿司 すまし汁 菜の花と菊の和え物 三色花ゼリー

(6)年間行事

月	主な行事	施設(行事以外の事業所)
4月	花見散策 4/25~29 参加 26名	
5月	運動会 5/16~18 参加 36名	ボイラー保守点検 5/24
6月	買い物散策 6/15~17 参加 15名	
7月	バーベキュー 7/13~15 参加 40名	
8月	はるデイ café8/18・19 参加 29名	健康診断 8/1 腰痛検査 8/19~29 浴槽水水質検査 8/26
9月	敬老会 9/15~17 参加 40名	防災の日(拠点) 9/1
10月	ミニ運動会 10/19・21 参加 27名	
11月	紅葉散策 11/9・10 参加 13名	インフルエンザ予防接種 11/9~19 ボイラー保守点検 11/9
12月	クリスマス会 12/23・24 参加 30名	
1月	小正月 1/13 参加 15名	
2月	節分 2/3 参加 15名	
3月	ひな祭り 3/3 参加 15名	避難訓練 3/11 腰痛検査 3/5~22

(7)その他運営管理：会議

名称	月日	構成
拠点会議	毎月	施設長、各部門責任者、主任
職員会議	毎月	全職員
事故防止委員会	毎月	委員会組織メンバー
安全衛生委員会	毎月	施設長、各部門責任者、主任

7【地域貢献活動】

- ・通報訓練 9/1(拠点) 避難訓練 3/11(ご利用者様9名 職員4名)

- ・地域交流 新型コロナ感染予防の為中止

## 8【職場の環境】

(1)職員状況（令和5年3月31日状況）

- ・配置：管理者1名、生活相談員2名、介護職員5名、看護職員（機能訓練兼務）2名
- ・資格保有者：介護福祉士4名、主事1名、看護師2名、ヘルパー3名

(2)有休の取得：（常勤4人・非常勤4人）920.5時間取得 連続有給3日取得者1人

(3)職場環境保持（人権の尊重）

- ・プライバシー保護（7/6）
- ・ハラスメント防止研修（12/14 職員5名） ハラスメント防止啓発活動（12月ポスター掲示・会議にて周知）

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修：下記の(3)の研修年間計画に定めて実施

(2)人材育成の取り組み

- ・資格取得促進…介護支援専門員1名受験
- ・内部研修及び勉強会…PC業務、記録業務についての勉強会実施

(3)《研修年間表》

内部研修	外部研修
4/11 接遇・マナー研修（5名）	6/18 介護支援の為の糖尿病の基礎知識（伊藤高子）
5/25 非常災害時の対応・事故対応・リスク管理研修（拠点）（2名）	9/13 介護労務者雇用管理責任者講習（梅津瑞恵）
7/6 プライバシー保護について（拠点）（1名）	10/14 在宅医療・介護連携推進研修会（長根雄也）
9/5 安全衛生について（拠点）（1名）	
9/26 認知症ケア（ユマニチュード）（5名）	
9/28 身体拘束・虐待について（拠点）（1名）	
10/28 接遇・マナー研修（5名）	
11/9 事故防止（拠点）（1名）	
11/21 リスク管理（事故対策報告書の書き方）（4名）	
12/14 パワハラ防止（職場のパワーハラスメント予防）（5名）	
1/11 感染症対策（冬場に多い感染症について）（4名）	
2/6 認知症及び認知症ケア（ユマニチュード）（6名）	
※不参加者については、資料を回覧	

※ユマニチュードとは…フランスで生まれて39年の歴史を持つ認知症ケアのひとつです。日本の医療機関や介護施設でも普及しつつあります。知覚・感情・言語による包括的コミュニケーションに基づいたケア技法で、フランス語で「人間らしさ」を意味する「ユマニチュード」には、「人間らしさを取り戻す」ということも含まれています。

# グループホームはるが丘 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：(介護予防) 認知症対応型共同生活介護  
開設日：平成12年10月グループホームはるが丘開設  
住所：青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字堀切沢 59 番地 54  
連絡先：0176-50-2162  
晴ヶ丘拠点長：吉田 幸恵  
事業所長：小泉 久美子(事業報告主担当)

### 1 【基本方針】

お客様が共同生活において家庭的な環境のもとで日常生活上の必要な介護、機能訓練を行う事により、お客様がその有する能力に応じ自立した生活を営むことができるように支援します。

### 2 【重点目標】

- ・ GH はるが丘理念「お客様と共にゆったりと楽しく」を基にその人らしい生活ができる。  
結果>外出や面会が制限された1年だったが、季節感を取り入れた行事や個々のレベルに合わせた活動の提供を実施し、その人らしい生活ができています。
- ・ 顧客満足度を高める。顧客満足度調査2回実施(7月・2月)  
結果>9項目中8項目はほぼ満足。1項目(85%)本人が満足している行事が行われているか。次年度の課題とする。
- ・ リスクマネジメント  
結果>ヒヤリハット93件 リスク報告書4件 事故報告0件  
※ヒヤリハットとは…危ないことが起こったが、幸い災害には至らなかった事象のこと

### 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	37,373,612	37,436,654	38,354,238.00
経費合計	7,527,932	8,685,056	8,737,405.00
差引収益	29,845,680	28,751,598	29,616,833.00
総時間	13,397.00	13,448.00	14,067.00
時間当り	2,227.80	2,138.00	2,105.50



#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別

- ・介護保険法： 指定（介護予防）認知症対応型共同生活介護
- ・老人福祉法： 認知症対応型老人共同生活援助事業（第五条の二）に基づいております。

(2)職員種別及び職員数 職員総数 7 人

- ・上記については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)入居定員： 9 名

(4)入居対象者

- ・要支援 2 又は要介護 1 以上の認定を受けた方で医師に認知症の診断を受けた方
- ・事業者と同一の市町村に住んでいる方

(5)入居可能提供地域： 六戸町

(6)稼働時間：年中無休 24 時間 稼働時間：生活活動時間 6：00～21：00

(7)事業所設備

居室（全個室）13.66 m<sup>2</sup>（9 室）、食堂 29.81 m<sup>2</sup>、  
 集会コーナー①10.5 m<sup>2</sup> ②8.25 m<sup>2</sup> ③24.8 m<sup>2</sup> リビング 42.54 m<sup>2</sup>  
 事務所(相談室)12.24 m<sup>2</sup>、浴室 8.82 m<sup>2</sup> 調理室 9.94 m<sup>2</sup>

#### 5【お客様の現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

(1)利用年齢： 80 代～90 代

80～84 歳	85～89 歳	90～94 歳	95～100 歳	平均年齢
1 人	3 人	4 人	1 人	89.6 歳

(2)利用者居住地：六戸町

(3)要介護区分（介護予防・総合事業含む）

要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
人	人	2 人	4 人	2 人	1 人	3.22

(4)認知症の疾患名

アルツハイマー型認知症 9 名

(5)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

75,000～100,000	100,000～125,000	125,000～150,000	150,000～175,000
1 人	3 人	3 人	2 人

(6)年度の終結 終結総人数 2 人

内訳：死亡 1 人、 住み替え 1 人（常時医療ニーズが高い為、三沢老人ホームへ入居）

(7)入居状況／人 営業日日数 365 日

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
9	9	9	9	9	9	9	9	8.5	8.9	9	9	8.9

(8)新規利用者 2 人

## 6【主なサービスメニュー】

### (1)施設介護サービス

- ・介護サービス 6ヶ月毎に見直し/ケアカンファレンス：月1回
- ・改善テーマ「オムツからトイレで排泄を」対象者：90歳（要介護5）車椅子使用 1名  
選定理由：昨年の痙攣発作からレベル低下があるが発作が起きず安定し、尿意がある時も見られる為、機能訓練とトイレ誘導実施でトイレで排泄する事を目標とした。

期間：6月～10月間（5カ月間）

実施内容：座位→ベッドで掴まり立位→車椅子移乗→トイレで掴まり立位→トイレでの移乗→ トイレで排尿 ベッドでの排泄（尿取りパット交換）

リハビリ→立位保持（5秒×3回）、手摺りに掴まり立ち上がり練習（5回）

活動結果：トイレでの排尿 6月（29回） 7月（30回） 8月（26回） 9月（10回）  
10月（5回）

開始3ヶ月間はムラがあるも効果の確認ができた。9月頃眠状態が多くなり10月右手振戦や浮腫しんせん ふしゅが見られ立位・座位保持が難しくなり体調の良い時のみ実施した。

### (2)医療・看護サービス

- ・医療サービス

施設協力医師の阪中 淳也医師（鳴海外科医院）が毎月1回施設往診。

4/2・4/30	5/28	6/25	7/23	8/20	9/17
10/15	11/12	12/10	1/7	2/4	3/5

- ・看護サービス 三沢訪問看護ステーション（当会）との連携

1週間に1回程度の定期訪問（看護師よりお客様9名の健康管理と医療面の相談・助言）。

4/4・4/12	5/9・5/23・5/30	6/6・6/20・6/27	7/4・7/19・7/26
8/2・8/8・8/29	9/5・9/12・10/3	10/11・10/17・10/24・10/31	11/7・11/26
12/7・12/26	1/15・1/23・1/30	2/6・12/3・2/27	3/13・3/20・3/27

24時間連絡体制（必要時に看護師による訪問で主治医への連絡・連携が取れている。）

主治医の指示のもと特別指示により医療処置の為、訪問実施（5回）

4月1日～17日（1名） 5月12日～25日（1名） 10月26日～31日（1名）

11月1日～11月14日（1名） 2月14日～27日（1名）

- ・看取り総数：1名

### (3)機能訓練サービス

- ・三沢訪問看護ステーション（訪問リハビリ）が訪問リハビリを行う。

※集団リハ⇒円陣になり身体機能を維持するための手足の体操等

※個別リハ⇒ケアプランに基づいたリハビリ（関節可動域の維持や筋力保持等）

4/12	5/10	6/13	7/14	8/26	9/27
10/13	11/14	12/22	1/10	2/20	3/7

(4)相談支援サービス

- ・終末期を迎えるご家族様への相談支援 5 件
- ・コロナ過による面会制限下での面会について相談と実施（主に終末期のご家族様） 7 件

(5) 食事サービス

食事形態：咀嚼や嚥下状態に応じて食事形態を変えて提供

常食 5 名	刻み・ソフト食 2 名	ミキサー・ソフト食 2 名
--------	-------------	---------------

行事食：

4/20	お花見弁当
7/7	七夕(七夕そうめん・揚げなすの味噌炒め・スイカゼリー)
9/13	敬老会(赤飯・吸い物・茶碗蒸し・刺身・天ぷら・煮物・和え物・フルーツ)
12/31	大晦日(年越しそば・煮しめ・黒豆・かまぼこ)
1/1～3	正月メニュー(雑煮・栗きんとん他)
1/18	新年会(赤飯・吸い物・茶碗蒸し・刺身・天ぷら・焼魚・かまぼこ・なますお浸し・煮物)

(6)年間行事

月	主な行事（実施日・参加人数）	施設計画（行事以外の事業所の計画）
4	お花見会（4/20・9名）	
5	園芸活動（5/16,24・9名） ドライブ（下田公園 5/12・7名） お好み会（5/13・8名）	避難訓練（拠点合同 5/18） 避難訓練（GH5/19）
6	誕生会(6/15・9名) お楽しみ会(6/15・9名)	
7	七夕祭(7/7・9名) お楽しみ会（7/25・9名）	避難訓練（地震想定 7/29）
8	誕生会（8/8・9名） 歓迎会（8/12・8名） 納涼祭（8/25・8名）	
9	敬老会（9/13・9名） 誕生会（9/13・9名） ドライブ（いちょう公園 9/15・5名）	拠点防災訓練（通報訓練 9/1） 避難訓練（拠点合同 9/26）
10	誕生会（10/12・9名） ドライブ（三沢漁港 10/26・5名）	避難訓練（火災想定 10/31）
11	誕生会（11/10・9名） ドライブ散策六戸町内巡り（11/11・5名）	
12	クリスマス会（12/25・8名）	
1	新年会（1/18・9名）	避難訓練（火災想定 1/26）
2	節分（2/3・9名） ミニ運動会（2/27・9名）	
3	ひな祭 3/3・9名） 誕生会（3/9・9名）	避難訓練（通報訓練 3/23）

(7)その他運営管理：会議

名称	回数(月日)	構成
晴ヶ丘拠点会議	4/2・6/3・8/5・10/21・11/9・1/6 3/8	施設長、各部門責任者、主任
職員会議	4/28・5/13・6/15・7/29・9/16・ 10/18・12/27・1/24・2/13・3/23	所長、職員
運営推進会議	5/19・7/14・9/15(書面報告) 11/17・1/18・3/15	運営推進委員、地域包括担当 者、施設長、所長、職員
サービス担当者 会議	定例及び随時	所長、計画作成担当者、サー ビス担当者、職員
身体拘束適正化・虐 待防止委員会	6/10・9/9・3/31	委員会組織図メンバー(拠点)
感染予防委員会	職員会議時開催	担当者、職員会議メンバー
リスクマネジメント 委員会	職員会議時開催	担当者、職員会議メンバー

7【地域貢献活動】

- ・子ども宅食活動(5回参加)

5月29日	10月1日	11月26日	1月28日	3月24日
1人	1人	1人	1人	1人

8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員：管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員5名
- ・職員人数：常勤7人
- ・保有資格：介護福祉士6名、介護支援専門員1名

(2)有給の取得：有給取得時間794時間 うち連続有給3日以上取得者(6人)

(3)職場環境保持：人権の尊重

- ・接遇研修 (実施日6月15日 参加人数7名)
- ・プライバシー保護研修(実施日7月30日 参加人数7名)
- ・ハラスメント研修 (実施日2月15日 参加人数7名)

9【研修・人材育成】

(1)法定の研修

- ・虐待予防、身体拘束、感染症・食中毒、緊急時の対応等

※この研修は、年間教育訓練計画と拠点委員会に定め実施した。

(2)人材育成の取り組み

- ・喀痰吸引等研修（2名参加）
- ・法人階層別研修（R1-3研修へ1名参加）

(3)《研修年間表》

外部研修		
喀痰吸引等研修	6/22~7/1、8/20・21、9/25	2名
内部研修（拠点研修）		
事故対応・リスク管理研修	5/25、9/23	7名
非常災害時の対応	5/25	7名
接遇研修	6/15	7名
看取り研修	6/15、1/18	7名
プライバシー保護	7/30	7名
感染症及び食中毒の予防研修	7/29、12/4、12/27	7名
高齢者権利擁護（身体拘束・虐待防止）研修	9/28	7名
認知症研修	10/19、3/15	7名
事故対策書の作成研修	11/9	7名
ハラスメント研修	2/15	7名

# 三沢老人ホーム 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設の種類：指定介護老人福祉施設

開設日：昭和48年4月1日 当会2番目の施設として三沢市に創設

住所：青森県三沢市大字三沢字園沢156番地8号

連絡先：0176-54-2534

三沢拠点長：川村 夏子

施設長：川村 夏子

事業報告主担当：渡辺 和也、逸見 直希

### 1 【基本方針】

- ・ 改築に備えた人材教育と事業活動への参画
- ・ 地域の福祉避難所施設としての体制強化と被災時受け入れ等を担う基盤構築
- ・ 働きやすい職場環境作りの継続的探求

### 2 【重点目標】

- (1) 人材教育：資格取得支援
- (2) ノーリフトケア：入居者30%への実施。委員会活動見直し
- (3) 地域防災：自然災害BCPマニュアル浸透
- (4) 働きやすい職場環境：離職率10%以下 有給取得率60%以上

※ノーリフトケアとは…人力のみの移乗(抱える・持ち上げる等)を行わず、適切な福祉用具を使用する」といったケアメソッド

### 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	313,538,648	318,040,881	313,344,243.00
経費合計	82,061,150	84,236,552	91,633,408.00
差引収益	231,477,498	233,804,329	221,710,835.00
総時間	84,036.70	86,594.00	83,034.81
時間当り	2,754.8	2,700.0	2,670.10

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)施設（事業所）サービス種別

- ・介護保険法：介護老人福祉施設
- ・老人福祉法：特別養護老人ホーム（第五条の三、第二十条の五に基づく）

(2)職員種別及び職員数 職員総数 三沢老人ホーム：50名 介護タクシー：1名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】』をご参照ください。

(3)定員：長期 60名 短期 11名

(4)入居対象者：要介護度 3 以上で 65 歳以上の方、特定疾患が認められた要介護度 3 以上の 40~64 歳以上の方、要介護 1~2 の特例措置該当の方

(5)入居対象地域：地域指定なし

(6)営業日：年中無休 稼働時間： 0:00 ~ 24:00

(7)施設設備：居室一覧 法令基準は 1 人あたり居室面積 7.43 m<sup>2</sup>以上

種別	1 人部屋	2 人部屋	3 人部屋	4 人部屋
室数	1	4	5	1 1
総面積(目安)	14.13 m <sup>2</sup>	81 m <sup>2</sup>	204 m <sup>2</sup>	396 m <sup>2</sup>
一人当たり面積	14.13 m <sup>2</sup>	7.5~13 m <sup>2</sup>	8.0~12 m <sup>2</sup>	9.0 m <sup>2</sup>

食堂(ホール) 242.5 m<sup>2</sup>×2、機能訓練室 40 m<sup>2</sup>、浴室 64 m<sup>2</sup>、医務室 34 m<sup>2</sup>、介護課 20 m<sup>2</sup>、ロビー 20 m<sup>2</sup>、厨房 49 m<sup>2</sup>、事務所 32 m<sup>2</sup>、寮母室 80 m<sup>2</sup>×2、宿直室 20 m<sup>2</sup>、喫茶店 54 m<sup>2</sup>

(8)車輛台数：3 台（入退居送迎 病院受診 在宅訪問 等）

#### 5【お客様の現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

(1)入居者年齢：60 代~90 代 平均 88.4 才

(2)入居者居住地：三沢市、十和田市、おいらせ町、六戸町、東北町

(3)要介護区分・障害者認定区分など（介護予防・総合事業含む）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 人	0 人	0 人	1 人	7 人	28 人	24 人	4.25

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額（円） 請求額の相違は収入額による

未満	~10,000	~30,000	~50,000	~70,000	~90,000	~110,000
名	4	6	1	27	12	10

基準費用額【食 費】 1,445×30=43,350（1 か月）※食費 1 日あたり 1,445 円

【居室費】 855×30 =25,650（1 か月）※居室費 1 日あたり 855 円

(5)年度の終結 終結総人数 24 人 内訳：死亡 24 人

(6)入所状況/人 営業日数 31 日 上段：入所 下段：短期入所（30 日以内）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
入所	1788	1850	1792	1845	1819	1735	1814	1777	1796	1760	1670	1841	1791
短期	312	343	340	342	337	321	315	303	294	307	278	301	316

(7)新規利用者 25 人

## 6【主なサービスメニュー】

### (1)施設介護サービス

6カ月毎に更新。状態変化時は適宜カンファレンス実施。

ケアカンファレンス／長期入居者に対して年2回以上の実施

ノーリフト推進／研修参加と技術力の研鑽

三沢市介護予防事業三沢市地域ケア会議への職員派遣(三沢市からの派遣依頼)

### (2)医療・看護サービス

#### ・医療サービス

配置医師の阪中 淳也医師（鳴海外科医院）が毎水曜日の16:00～17:00に施設往診。お客様の健康管理、療養上の指導及び施設の保健衛生の管理指導に従事する。

往診以外は看護職員が電話で阪中医師の指示を受け。必要時には受診にて対応。

入所者60名健康管理

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日	6	11	1	6	6	7	5	2	7	4	1	1
	13	18	8	13	13	14	12	9	14	11	8	8
	20	25	15	20	20	21	19	30	21	18	15	15
	27		22	27	27	28	26		28	25	22	22
			29									29

#### ・看護サービス

状態変化時には昼夜問わず都度、医師に連絡し指示を受ける体制

(例：採血有無、酸素注入指示、DIV・抗生剤の判断、受診判断)

家族の希望を医療側に伝える事で必要に応じた処置検討を促す役割

各医院への紹介状依頼、緊急搬送後の情報提供。

末期や必要時は回診時に指示受ける。

#### ・入居者疾患

脳梗塞 19名 脳出血 10名 心疾患 10名 アルツハイマー型認知症 22名

レビー小体型認知症 1名 混合型認知症 2名 脳血管性認知症 1名

パーキンソン病 5名 悪性新生物 9名 その他（高血圧症、骨粗鬆症等）41名

#### ・囑託医指示の処置

投薬 59名 軟膏塗布 月平均5名（再発含む） 喀痰吸引 延べ22名

褥瘡処置 月平均4名（再発含む） 中心静脈栄養 0名

#### ・劇薬など薬の管理について

医務室管理庫で看護師が管理。

#### ・看取り

前年度複数名の看取りを実施。本年度も精神面のケアを中心にした看取りを実施する。

看取り総数 19名



### (3)機能訓練サービス

#### ① ADL 動作能力改善：5 名以上（バーセルインデックス指標）

※バーセルインデックス指標とは…食事や着替えなどの日常生活動作を評価する検査方法のこと。頭文字から「BI」と略されることもある

・長期入所者 数値上の改善は 0 名 短期入所者 5 名（改善項目：整容、移乗、トイレ動作）

#### ② 全対象者に対しての週 1 回以上の訓練の提供

・ROM訓練 46 名 ・その他リハビリ内容 端坐位練習、座位バランス練習、立ち上がり訓練、立位保持・バランス訓練、歩行練習、ベッド上のポジショニング、車いす座位時のシーティング、ADL 評価、介助方法の提案。

・外部 ST 評価 30 名

#### ③ デイサービス部門との兼務業務体制の構築

#### ④ 内部研修の立案（リハビリテーション）

### (4)相談支援サービス

お客様の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、入居者又はそのご家族様からの相談に応じるとともに、必要な助言その他の援助を行う。

#### ① 入所者との入所契約 25 名（うち家族との代理契約 23 名）

#### ② 入所希望者との面談、意思確認等のケースワーク 36 名

#### ③ 入所希望者家族との面談 34 名

#### ④ ケースカンファレンス 4 月～3 月 82 件

⑤ その他活動 居宅ケアマネからの相談、医療機関地域連携室からの相談（医療行為にどこまで対応できるか等）を受け、受け入れ可能であれば②③へ繋げていく。

・在宅復帰支援：医療機関退院後の在宅復帰困難に伴う施設短期入所者に対し、多職種連携によるアプローチにより在宅復帰へ繋げるサービスを展開。

今年度はロングショート利用者 3 名が在宅復帰

・緊急ショート対応：ネグレクトや虐待等による在宅生活困難者に対する緊急ショートでの受け入れ体制を整え退所後を想定し、医療機関・他施設・在宅等、退去調整のソーシャルワークを展開。実績として 5 名 17 日分の緊急受け入れ加算を算定。

### (5)食事サービス

#### ① ムース食導入の検討：誤嚥性肺炎リスク軽減を目的とし、刻み食の再考が必要

#### ② 残渣量の減少：年間 0.1%の減少（月平均 500 g 減）

#### ③ 備蓄品の管理方法の見直し：確実に必要量を担保する為の仕組み作り

※誤嚥（ごえん）とは…食べ物や唾液を飲み込むときに、食道ではなく気道に入り込んでしまうことです。誤嚥は嚥下障害と同じ意味ではなく、嚥下障害の症状の一つです。

・栄養管理の状況（年間平均）

	リスク割合 (%)	主なリスク要因
低リスク者	35.6%	

中リスク者	64.4%	BMI18.5 未満、体重減少率、食事摂取量 75%以下、経管栄養
高リスク者	0%	褥瘡、体重減少率

・給食管理の状況（年間平均）

食種	常食	一口大	極きざみ	ミキサー	経管栄養
食種割合 (%)	13.6%	22.0%	32.2%	13.6%	18.6%

(6)年間行事

月	主な行事	施設計画（行事以外の事業所の計画）
4	花見（施設敷地内散策）	緊急連絡網訓練 三老農園開き
5	郊外ドライブ散策	入居者健診
6	バイキング（cafe42）	総合訓練 入居者健診
7/15	ふれあい祭り（納涼祭）全員	農園収穫、提供
8	収穫祭（お盆精進料理提供）	
9/20	敬老会 全員	職員健診
10	紅葉ドライブ散策	
11	新嘗祭	消防立入検査 総合訓練
12	クリスマス会	
1/12	新年会	
2/3	節分	夜勤者健診
3	ひな祭り	

(7)その他運営管理：会議

名称	月日	構成
安全衛生委員会(法人)	6回	拠点長(以下：施設長)
安全衛生委員会(拠点)	12回	施設長 館長 相談員 介護支援専門員 ケアワーカー(UL) 看護師 DS 所長
サービス担当者会議	12回/月	介護支援専門員 相談員 部門担当職員
給食会議	毎月1回	施設長 館長 相談員 介護支援専門員 給食部門職員
医務会議	適宜	施設長 館長 相談員 介護支援専門員 医務部門職員
感染・褥瘡対策委員会	毎月1回	施設内担当職員
身体拘束・虐待防止委員会	毎月1回	施設内担当職員
事故防止・ノーリフト推進委員会	毎月1回	施設内担当職員
接遇マナー向上委員会	毎月1回	施設内担当職員

看取り委員会	毎月1回	施設内担当職員
自然災害・防災委員会	適宜	施設長 防火管理者 施設内担当職員
青森県老人福祉協会	開催時	施設長
三沢市ケアマネージャー協議会	開催時	施設長 介護支援専門員
三沢市地域ケア会議	依頼時	施設長 介護支援専門員 理学・作業療法士
三沢市介護予防教室	依頼時	理学・作業療法士
三沢市ボランティア協会	開催時	ボランティアコーディネーター
専門職能団体	開催時	各専門職

## 7【地域貢献活動】

- ・市内関連企業、地域住民から出る古新聞等を回収し施設にてリサイクル。
- ・子ども宅食の手伝い/三沢市ボランティア連絡協議会総会案内の郵送。
- ・ボランティアの受け入れ/ボランティアコーディネーター1名配置。3月登録者数36名  
三沢市ボランティア連絡協議会、第1・2回理事会出席、総会及び研修会出席  
毎月実施：散髪(三沢理容女性部) 7月、1月は新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止。  
随時実施：ボランティア活動相談、登録受付、保険加入手続き、活動日誌回収及び活動集計  
会員証明書発行  
施設地域との連携の会議等に参加

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員：管理者1名/生活相談員1名/介護支援専門員1名/機能訓練指導員2名  
歯科衛生士1名/介護職員23名(有資格者：16名 無資格者：7名)/看護職員4名  
管理栄養士2名/調理員6名/事務員1名/ハウスキーパー4名/技能実習生2名  
ボランティアコーディネーター1名/ケアアシスタント1名 嘱託医師1名
- ・保有資格：介護支援専門員：1名/社会福祉主事：1名/介護福祉士：16名/看護師：4名  
作業療法士：1名/理学療法士：1名/歯科衛生士：1名/管理栄養士：2名 調理師：4名

(2)有休の取得(常勤42人、パート12人)：4,980時間(取得率76.2%)うち連続有給3日以上取得者 6人

(3)職場環境保持(人権の尊重)

ハラスメント防止研修 年1回

人権研修 年1回

※ボランティアコーディネーターとは…ボランティアの受け入れ調整を行います。

## 9【研修・人材育成】

### (1)法定の研修

虐待防止/身体拘束研修：7月12日・12月20日、事故防止研修：7月12日・12月20日、  
感染症対策研修：4月20日・4月26日・11月22日

歯科医師(歯科衛生士)：1月14日、総合避難訓練：6月3日・11月29日

その他：BCP研修食中毒、リハビリテーション、認知症、ノーリフティング 他

### (2)人材育成の取り組み

- ・全体方針計画：教育訓練やチェックリスト、タブレットの活用を応用し、経験年数等に関係なく全職員が統一したケアを行える様、基本的介護知識や実践の徹底及び再習得を図る機会を設け、施設全体のケアの質向上に取り組む。

- ・キャリアアップ計画：キャリアラダーランク昇格

- ・中堅職員の教育支援

介護部門リーダー、サブリーダー新選任、委員会リーダー再考、技能実習生教育担当等、中堅職員のリーダーシップを促進する為の取り組みと配置転換(2023.02より順次展開)

- ・2023新プロジェクト参加候補職員3名への支援計画(2022ポストリーダー研修より)

- ・内部研修講師人選計画：2022年度からの継続計画

- ・研究発表計画：職員教育(人材育成)への取り組み

- ・資格取得支援

介護福祉士2名/喀痰吸引資格1名/ユニットリーダー研修2名/危険物丙種1名  
防災士1名/安全衛生管理者1名/防火管理者1名

- ・外国人実習生計画

N3日本語試験取得・技能実習生(2名)シフト業務実施(7.5時番 8.5時間 9.5時番)

### (3)《研修年間予定》

- ・外部研修

4月	喀痰吸引研修	1名
5月	喀痰吸引、経管栄養研修指導者講習	1名
6月	ノーリフティング研修	3名
7月	栄養マネジメント研修、コーチング研修	1名
8月	認知症ケアのための多職種連携研修	1名
10月	リスクマネジメント研修会	1名
11月	より良い組織を作る視点と行動	2名
12月	看取り研修	1名
1月	介護職種の技能実習指導者講習	1名
2月	食べる事は生きる事!健康応援セミナー	1名

・内部研修

内部研修※クリップラインを研修手段として一部取り入れ、デスクネット機能を活用しての研修感想等の展開。(食中毒、ハラスメント等)

4月20日	就業規則	50名
4月20日	感染対策(衛生管理)	50名
5月17日	ケアの在り方について	19名
6月27日	クリップラインの使用について	17名
7月12日	事故防止、虐待の指針	17名
10月18日	ノーリフトケア	20名
10月18日	食文化について	20名
10月27日	疾病と糖尿病について	6名
11月22日	感染対策(新型コロナ対策)	19名
12月20日	リスクマネジメント研修会	20名
12月20日	虐待防止法について	20名
1月14日	義歯と食事摂取について	19名
1月17日	ノロウイルス食中毒について	20名
2月14日	認知症への食支援	20名

※クリップラインとは…法人内のナレッジ(知識・ノウハウ)を積み上げるため活用している動画システム。基本的に短尺動画で構成するため隙間の時間に気軽に知識習得が可能となる。

※ユニットケアとは…自宅に近い環境の介護施設において、他の入居者や介護スタッフと共同生活をしながら、入居者一人ひとりの個性や生活リズムに応じて暮らしていけるようにサポートする介護手法のことを指します。

※ポストリーダーとは…次世代のリーダーで、ポストリーダー研修とは若手職員の中から次世代のリーダーとなり得る人材発掘と育成を目的として開催されました。

# 三沢介護支援センター 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：指定居宅介護支援事業所  
開設日：平成4年3月1日三沢支援センター開設  
住所：青森県三沢市大字三沢字園沢156-8  
連絡先：0176-54-3933  
三沢拠点長：川村 夏子  
事業所長：川村 夏子（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

- (1)QOL の向上をベースに人が生活を営み、住み慣れた地域で暮らしていけるよう自己決定や尊厳が確保された生活ができるよう対応できるようにします。
- (2)地域関係機関、多職種と連携を図り、地域で支えるケアプランの質を高める。
- (3)給付管理件数を伸ばし、安定した運営が行われるようにする。

## 2 【重点目標】

- ・検討事例研修会の企画開催（年4回）介護支援専門員、在宅介護支援センターの職員として、地域高齢者の健康状態社会資源等の把握、サービス化された支援だけではなく「8050問題、経済的困窮、孤立、さまざまな依存症、ひきこもり、多重介護、ヤングケアラー等支援者や家族も含めた課題についての検討を開催し、課題の抽出、新たな地域資源を発掘につなげる。
- ・地域医療（鳴海外科医院、相沢クリニック、岡三沢診療所、三沢市立病院等）在宅訪問診療所等医療連携、各関係機関との連携を図り、情報の相互理解ができ高齢者が継続的に住み慣れた地域で暮らすことを可能にする。

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	25,440,328	25,470,023	23,133,349.00
経費合計	5,679,467	5,942,606	5,503,336.00
差引収益	19,760,861	19,527,417	17,630,013.00
総時間	8,383.00	8,136.00	8,604.00
時間当り	2,357.30	2,412.00	2,025.70

#### 4【本施設（事業所）の概要】

##### (1)事業所サービス種別

- ・介護保険法：指定居宅介護支援事業所の青森県指定「0270700032」事業所。
- ・老人福祉法：老人居宅生活支援事業（第五条の二）に基づいている。

##### (2)職員種別及び職員数：管理者 1、介護支援専門員 3.8 名（常勤換算）

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

##### (3)稼働時間：月～土 午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分 24 時間連絡体制を確保し、かつ、必要に応じて利用者等の相談に対応する体制を確保しています。

##### (4)サービス提供地域：三沢市、上十三区域

##### (5)利用対象者：要介護 1～5 の認定を受けた高齢者

##### (6)事業所設備：相談室 15.75 m<sup>2</sup>（基準第 20 条設備、相談室設置）、事務所 10.27 m<sup>2</sup>、展示室 47.2 m<sup>2</sup>

##### (7)訪問用車両：三沢介護支援 3 台、在介宅介護支援センター 1 台

##### (8)目標件数 133 件（介護支援専門員 1 名 35 件×3.8 人配置）、

#### 5【お客様の現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

##### (1)利用年代：60 代～100 才代 平均 83.5 才（上殿、三瓶、川村、工藤の顧客 101 名の AV）

##### (2)利用者居住地：三沢市、六戸町、野辺地町、東北町、おいらせ町

##### (3)要介護区分・障害者認定区分など（介護予防・総合事業含む）

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
2 人	2 人	22 人	34 人	18 人	19 人	4 人	2.47

##### (4)年度の終結 終結総人数 43 人

内訳：施設入居 18 人、死亡 13 人、入院 5 人、居宅変更 3 人、引っ越し等 4 人

##### (5)新規利用者 57 人

#### 6【主なサービスメニュー】

##### (1)居宅介護支援サービス

- ・介護保険法を遵守したケアマネジメントを実施。
- ・介護支援専門員が利用者の権利に基づいて居宅介護サービス計画を作成する。

サービス担当者会議⇒各サービスの開始

実績：ケアマネジメント会議（週 1 回開催：年間 46 回開催）

施設内ケース会議（年間 3 回開催）

病院内ケース会議（コロナ感染対策の為、未実施）

地域包括とのケース会議（年間 4 回開催）

- ・困難ケースの連携プロセス：認知症等により在宅生活が困難な場合、DV（虐待）など⇒相談⇒地域包括、市区町村、ソーシャルワークセンターと連携し成年後見人制度利用等⇒

各サービスの紹介

困難ケースの内訳 認知症独居 4件 高齢者世帯 5件  
8050世帯 2件 虐待 0件

- ・相談経路：直接相談、地域包括、病院等、福祉事務所、高齢者事業所、等
- ・寺子屋、家族介護者教室の企画開催支援（三沢在宅介護支援センター委託事業）

(2)その他運営管理：会議

名称	月日	構成
特定事業所加算定例会議	週1回	事業所内職員全員参加（在介含む）
職員会議	月1回	事業所内職員全員参加（在介含む）
拠点会議：安全衛生会議	2ヵ月1回	三沢拠点内責任者
支援：LSA:在介会議	年2回	各事業所職員

## 7 【地域貢献活動】

- ・地域と取り組む防災訓練（拠点内事業所開催一年2回参加）
- ・子ども宅食等（年六回以上参加）
- ・地域高齢者の見守り、訪問支援（認知症一人暮らし5名）年間13回

## 8 【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・職員配置：管理者1名、介護支援専門員3.8名（常勤換算）
- ・保有資格：主任介護支援専門員1名、社会福祉主事1名

(2)有休の取得：424時間 連続有給3日以上取得 1名

(3)職場環境保持（人権の尊重）

- ・ハラスメント防止研修（クリップライン活用、拠点内研修合わせ年2回）
- ・人権研修（クリップライン活用、拠点内研修合わせ年2回）

## 9 【研修・人材育成】

(1)法定の研修 \*日にちは(3)にて記載

- ・虐待防止/身体拘束研修 年2回、感染症対策研修 年2回
- ・総合避難訓練 年2回（緊急時連絡対応訓練含）6月3日 11月29日実施

(2)人材育成の取り組み

- ・主任ケアマネ更新研修（1名）
- ・ケアマネ更新研修（2名）
- ・特定事業所加算Ⅱ：介護支援専門員実務研修生受け入れ



(3) 《研修年間表》

内部研修（拠点研修参加）	外部研修
4月8日 コロナの感染予防対策（6名）	青森県介護支援専門員協会研修（年1回）
5月6日 身体拘束と高齢者虐待（6名）	主任介護支援専門員更新研修（川村）
6月10日 在宅人工呼吸療法(HMV)使用時の注意点（6名）	介護支援専門員更新研修（三瓶、上殿）
7月20日 ケアマネジャーの倫理について（5名）	上十三介護支援専門員研修（年1回）
11月21日 専門職としての役割について（10名）	地域事業所連携：特定事業所加算（事例検討含む）研修会
1月14日 義歯と食事摂取について（歯科医師依頼）（15名）	6月22日 多様な住まいのあり方について（10名）
	1月16日末期がんの意思尊重について（14名）

## 三沢在宅介護支援センター （三沢市委託事業） 事業目標

報告主担当：川村 夏子（三沢拠点長、三沢老人ホーム園長、三沢支援センター所長）

	昨年度	目標	実績値
1、総サービス提供高	3,024,000	2,862,600	2,916,640
2、経費合計	454,788	427,267	539,505
3、差引収益	2,569,212	2,435,333	2,377,135
4、総時間	1,020.17	1128.50	920.00
5、時間当たり	2,518.40	2,158.00	2583.30

### 【重点目標】

地域包括センターの協力機関として、相談窓口として福祉や介護の専門知識を有する相談員が、支援を要する高齢者、障害者の実態把握、共有された地域課題の課題解決に必要な資源開発や地域作り社会基盤の整備、さらには介護保険事業計画への反映などの政策形成につなげる。

○三沢市からの在宅介護支援センターの年間の委託費 2,000,000 円

活動内容

ア) ソーシャルワークセンターとの調整ケース 2 件（住居不安、生活困窮）

イ) 介護予防活動寺子屋のレク支援活動レク支援等

前平地区 12回 桜町団地 (LSA) 地区 12回 南山地区 2回

泉町地区 1回

活動を通じ実態把握・ひとり暮らし調査前年度 742,600 円実績、今年度も同金額以上見込

令和 4 年 実績 383 件（男性 123 件 女性 260 件）

※予防活動寺子屋とは…小単位の地域住民のサロンの役割でアクティビティや趣味活動を行い介護予防につなげる活動

○家族介護者教室 昨年度と同様の年 4 回開催予定（一回 30,000 円）年間 120,000 円

第一回	7月14日（木）	『椅子でヨガ』	7名参加
第二回	8月30日（火）	『こぎん刺し』	7名参加
第三回	12月27日（火）	『フラワーアレンジメント』	12名参加
第四回	1月25日（水）	『そば打ち体験』	9名参加

※家族介護者教室とは介護を行っている（行っていた）ご家族を対象に年 4 回、手芸や体験などを通じ介護生活のリフレッシュ、他者との交流、介護の勉強を図る集いです。

# 三沢デイサービスセンター 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：通常型通所介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業

開設日：昭和58年1月三沢デイサービスセンター開設

住所：青森県三沢市大字三沢字園沢156-8

連絡先：0176-54-4423

三沢拠点長：川村 夏子

事業所長：袴田 晃多（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

三沢デイサービスセンターとして、①お客様満足、②職員の満足、③環境問題、④防災活動についての取り組みを方針とし、介護サービスとしての品質向上はもちろんとし、職員や地域からも魅力のある事業として評価して頂ける様に取り組んで参ります。

## 2 【重点目標】

- (1)お客様の満足⇒3月アンケート調査にて確認。以下アンケート結果一部抜粋
- ・お客様との関係⇒子17名、配偶者10名、嫁7名、兄弟1名、孫1名、親1名
  - ・ご本人は楽しく利用されていますか⇒はい25名、いいえ1名、わからない9名
  - ・職員に苦情・要望を気軽に言えますか⇒はい31名、いいえ2名、わからない2名
- ※その他のアンケート結果や自由記載につきましてもお客様との係わりに活かし、安心してご利用いただけるよう努めさせていただきます。
- (2)職員の満足⇒10月クリップラインについて研修し周知を図るも操作理解に至れず  
動画視聴数も向上できず。
- (3)環境問題⇒デスクネットの活用、インターネットFAXを用い2020年度と比較し  
事務書類の30%以上の減少
- (4)防災活動⇒新型コロナウイルスの影響により地域住民を交えての活動に至れず。  
BCP（案）を作成し今後のシミュレーションで精度を上げていく。

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	55,909,338	52,276,525	48,545,938
経費合計	16,050,450	16,266,102	16,537,281
差引収益	39,858,888	36,010,423	32,008,657
総時間	19,695.00	18,952.73	18,173.00
時間当り	2,023.90	1,900.00	1,761.30

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別

- ・介護保険法：指定通所介護事業所、指定介護予防・日常生活支援総合事業
- ・老人福祉法：老人デイサービス事業（第5条の2に基づく）

(2)職員種別及び職員数：職員総数 12 名

- ・上記については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)利用定員：30 名

(4)利用対象者：要介護 1～5 の認定を受けた方、（予防：要支援者と 65 歳以上の方）

(5)サービス提供地域：三沢市、おいらせ町、六戸町

(6)稼働時間：月～土 午前 8 時～午後 5 時

(7)施設環境：食堂兼ホール 82.6 m<sup>2</sup>、機能訓練室兼静養室 54.5 m<sup>2</sup>、相談室 2.53 m<sup>2</sup>、  
脱衣室 5.4 m<sup>2</sup>、浴室 16.2 m<sup>2</sup>

(8)送迎用車両：リフト付き福祉車両 3 台、軽自動車 1 台

#### 5【お客様の現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

(1)利用年齢：60 歳代～90 歳代 平均 84.2 才

(2)利用者居住地：三沢市、おいらせ町、六戸町

(3)要介護区分・障害者認定区分など（介護予防・総合事業含む）

事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4 人	0 人	0 人	12 人	14 人	9 人	4 人	0 人

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額 食費：520 円（昼食）

0～10,000	～30,000	～50,000	～70,000	～90,000	～100,000
15 人	23 人	4 人	1 人	人	人

(5)年度の終結 終結総人数 16 人

内訳：施設入居 9 人、死亡 3 人、住み替え 1 人、

(6)利用状況／人

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
営業日数（日）	23	26	26	24	24	26
延利用者数（人）	448	468	485	350	404	487
1 日当たり利用者数（人）	19.5	18.0	18.7	14.6	16.8	18.7
キャンセル数（人）	8	7	6	16	14	11
稼働率	65%	60%	62%	49%	56%	62%

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
営業日数(日)	27	26	26	24	24	27	
延利用者数(人)	469	446	413	371	391	428	430
1日当たり利用者数(人)	17.4	17.2	15.9	15.5	16.3	15.9	17.0
キャンセル数(人)	9	12	10	9	8	11	10.1
稼働率	58%	57%	53%	52%	54%	53%	57%

(7)新規利用者 9人

## 6【主なサービスメニュー】

### (1)介護サービス

- ・通所介護計画書をもとにサービスを展開  
居宅介護計画書に基づき入浴、食事、排泄、リハビリの計画、実施。
- ・居宅介護計画書による短期目標期間の期間を以ってモニタリング

### (2)看護サービス

- ・体調管理(バイタル測定)、服薬管理、簡易な患部処置等を実施。

### (3)機能訓練サービス

- ・機能訓練指導員(看護師兼務)とPTの時間移動により評価、計画、実施。

### (4)相談支援サービス

- ・お客様やご家族の介護・生活上の悩み等の相談に生活相談員や職員が応じる。

### (5)食事サービス

- ・拠点内給食部門による委託提供。
- ・行事イベントとして外部発注によるバイキングや希望食の提供。

### (6)アクティビティ、レクリエーション

定期のラジオ体操他、身体機能、認知症予防を目的とした体操、レクリエーションの計画、実施(毎月)。

### (6)年間行事

月	主な行事	施設計画(行事以外の事業所)
4/25,26,27	花見散策 参加者:31名	
5/10,11,12	園芸 参加者:28名	
6	買物散策 コロナ流行にて中止	総合避難訓練
7/15	ふれあい祭り 参加者:19名	ボイラー点検
8	買い物散策 コロナ流行にて中止	
9/14,15	敬老会 参加者:40名	総合避難訓練 消防設備点検
10	もみじ狩り コロナ流行にて中止	
11/26,27,28	買い物散策 参加者:25名	

12/23	クリスマス 参加者：22名	貯水槽清掃 水質検査
1/22	小正月 参加者：21名	消防設備点検
2/3	節分 参加者：19名	
3/1	ひな祭り 参加者：18名	

(7)その他運営管理：会議

名称	月日	構成
部門会議	毎月	4/11、6/29、10/17、11/18、12/15、1/23 2/15、3/15※コロナ流行により未実施月あり。
災害対策委員会会議	偶数月1回	園長、委員
安全衛生委員会会議	奇数月1回	園長、委員
感染対策委員会会議	偶数月1回	園長、委員

## 7【地域貢献活動】

- ・地域運営推進委員活動 新型コロナウイルスの流行により未実施

## 8【職場の環境】

(1)職員状況（3月31日現在）

- ・職員人数：
- ・配置：管理者1名、生活相談員3名（内1名管理者兼務）、介護職員4名、看護師2名（内1名機能訓練指導員兼務）
- ・資格保有者：介護福祉士4名、主事3名、看護師1名、准看護師1名、ケアアシスタント1名、運転2名

(2)有休の取得（常勤6人 パート6人）：1,294.7時間取得 3日以上の有給取得者：5人

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修

- ・身体抑制廃止 年2回
- ・虐待防止 年2回

(2)人材育成の取り組み

- ・アセッサー取得

(3)《研修年間》

内部研修	外部研修
4/11 共生型サービスについて	アセッサー研修
11/18 クリップライン	安全運転講習

# 松園ケアラウンジ・スカイ 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：(介護予防) 特定施設入居者生活介護

開設日：平成 15 年 6 月 松園ケアラウンジ・スカイ開設

住所：青森県三沢市松園町二丁目 7 番 7 号

連絡先：0176-57-5751

松園拠点長：月舘 健司

施設長：月舘 健司（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

保険内収入 450 万、保険外収入 253 万以上を目標に計画。要介護度平均は 3.72 以上を根拠とし待機者管理を行います。経費の長年の課題である、給食業務委託費と光熱水費が収益比率を下げているため、経営改善に踏み込みたい。他、介護用品備品入替や設備投資を順次実施し、お客様への快適な環境を提供し、経営目標を達成する。

## 2 【重点目標】

- (1) 【顧客満足】・事業所独自でアンケート実施（年 1 回）→3 月実施
- (2) 【職員満足】・拠点安全衛生委員会活動でアンケート年 1 回実施。→未実施
- (3) 【人材育成】・内部研修～12 回計画→5 回実施 ・外部研修～10 件→1 件  
・資格取得～4 人以上→1 人（喀痰吸引）  
・キャリアアップ R2 等級へのステップアップ目標 2 名→0 名
- (4) 【リスクマネジメント】・ヒヤリ気づき 100 件以上→144 件  
・リスク対策 5 件以上。→4 件
- (5) 【諸活動】・介護・看護採用のため 1 回以上、市内及び近隣に広報活動実施。→未実施

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	84,023,525	84,067,737	82,339,418.00
経費合計	31,635,894	32,418,438	34,928,395.00
差引収益	52,387,631	51,649,299	47,411,023.00
総時間	24,425.02	24,595.00	22,847.00
時間当り	2,144.80	2,100.00	2,075.20

#### 4【本施設の概要】

(1)施設（事業所）サービス種別

- ・介護保険法：特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護
- ・老人福祉法：有料老人ホーム（第29条に基づく）

(2)職員種別及び職員数 職員総数 15名

職員種別詳細については『 8【働きやすい職場環境】 』をご参照ください。

(3)入居定員：18名

(4)入居対象者：要介護度3以上で65歳以上の方、特定疾患が認められた要介護度3以上の40～64歳以上の方、要介護1～2の特例措置該当の方

(5)入居対象地域：定めなし

(6)営業日；年中無休 24時間

(7)施設設備

居室（全 18 個室）13.64㎡～13.72㎡ 全室トイレ・洗面台付

食堂・機能訓練室 81.81㎡／事務所・休憩室 10.9㎡／健康管理室 12.7㎡

(8)車輛：リフト付き1台（病院受診等）

#### 5【お客様のご利用現況】（令和5年3月31日現在）

(1)入居者年齢

70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	平均
1名	3名	14名	0名	91.4歳

(2)入居者居住地：三沢市、六戸町、平内町

(3)要介護区分

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
3名	3名	1名	3名	8名	3.56

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額（平均）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均利用料
166,683円	169,661円	174,978円	177,027円	193,156円	176,301円

最小月額

(5)2022年度の終結 終結総人数 8人（内訳：施設入居 2人、死亡 5人、入院 1人）

(6)入居状況／人 4・6・9・11月は30日 5・7・8・10・12・1・3月は31日 2月は28日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	540名	558名	520名	537名	535名	510名
入居率	100%	100%	96.3%	96.2%	95.9%	94.4%
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用延べ人数	551名	526名	538名	543名	504名	558名
入居率	98.7%	97.4%	96.4%	97.3%	100%	100%

平均利用者数：535名 平均入居率：97.7%

(7)新規利用者 8名



## 6 【主なサービスメニュー】

### (1)介護サービス

- ・施設サービス計画書の個の活動に着目（参加と活動の提供追求）→実施
- ・行事毎月開催→9回実施 8月・10月・1月入居者新型コロナウイルス感染により中止。
- ・クラブ リラクゼーション、カラオケ、各月1回開催→リラクゼーション4回 カラオケ1回  
施設内新型コロナウイルス蔓延により予定通り実施できず。

### (2)医療・看護サービス

#### ・医療サービス

○入居者の主治医、協力医の三沢市立三沢病院、第二黒田歯科、みさわクリニック、岡三沢診療所、あいざわクリニック等と医療連携。

医療機関	往診者数
三沢市立三沢病院	3名
岡三沢診療所	5名
あいざわクリニック	2名

サービスの提供中にお客様の病状等が急変、またはその他緊急事態が生じた時は、速やかに主治医又は協力医療機関に連絡、搬送する等の必要な措置を講じ、状況をご家族へご連絡する。

#### ・看護サービス

脳梗塞 2名	パーキンソン病 2名	軟膏塗布 2名（水虫）	痰吸引 1名
--------	------------	-------------	--------

#### ・看取り

2022年度看取り者数→4名

### (3)機能訓練サービス

外部PTによる機能訓練計画の策定・実施・評価、機能訓練計画をもとに訓練を実施

歩行練習	3人	筋力・移乗能力の維持	3人	座位保持練習	1人
筋力強化・維持練習	2人	骨盤の後傾位改善	1人	生活習慣の改善	2人
角度維持・バランス練習	1人	車いす自操、上肢機能維持	1人	歩行器練習	2人

(4)相談支援サービス：入居者又はそのご家族様からの必要な相談に応じる。

### (5)食事サービス 3食

- ・日清医療食品の栄養士による栄養管理された食事の提供→実施
- ・毎月ワクワクメニューの提供。→12回実施

月/日	メニュー
4/26	ナポリタン・エビフライ・サラダ・フルーツポンチコンソメスープ
5/25	鶏飯・せんべい汁・茶碗蒸し・かぼちゃのいところ煮バナナ・野菜ジュース
6/24	ちらし寿司・クリームコロッケ・胡麻和え・フルーツあんみつ・すまし汁
7/20	うなぎちらし・エビとそら豆のかき揚げ・焼きナス・すまし汁・メロンゼリー
8/4	夏野菜カレー・中華スープ・ポテトサラダ・杏仁豆腐・野菜ジュース
10/18	クロワッサン・あんぱん・かぼちゃシチュー・エビフライ・ブロッコリーサラダ・モンブラン

11/18	炊き込みご飯・せんべい汁・鮭のチャンチャン焼き・茶碗蒸し・シフォンケーキ
12/27	ふわとろオムライス・エビフライ・サラダ・オニオンスープ・クレープ
1/13	赤飯・鶏肉のピカタ・紅白なます・煮物・抹茶ババロア・すまし汁
2/22	クロワッサン・あんぱん・クリームシチュー・ポテトサラダ・リンゴと桃のケーキ・ジュース
3/23	塩ラーメン・チャーハン・餃子・デザート

・行事食の提供→実施

月/日	行事名	メニュー
4/20	お彼岸	タケノコご飯・メバルの照り焼き・切り干し大根の炒め煮 ホタテと菜の花の和え物・イチゴゼリー・すまし汁
5/5	GW	茶そば・天ぷら・酢の物・デザート・おにぎり
6/1	開設記念日	赤飯・天ぷら・大根なます・デザート・すまし汁
6/14	バーベキュー	焼きそば・ウィナー・サンマ・おにぎり・漬物・卵スープ・ふかし芋・焼きナス・焼き鳥・牛肉・さいころステーキ・つくね・アイス
7/7	七夕	七夕そうめん・肉シュウマイ・いんげんの胡麻和え・おにぎり・デザート
8/13	お盆	赤飯・煮しめ・精進揚げ・大根なます・水ようかん・すまし汁
9/13	敬老の日	五目炊き込みご飯・天ぷら・茶碗蒸し・煮物・紅白なます・デザート・すまし汁
11/29		稲庭うどん・酢の物・天ぷら・おにぎり・ゼリー
12/24	クリスマス	エビピラフ・ハンバーグ・サラダ・スープ・デザート
1/3	正月	ご飯・刺身盛り合わせ・里芋の煮物・酢の物・漬物・すまし汁
2/3	節分	太巻き・いなり寿司・五目豆腐と大根の煮物・茶碗蒸し・甘納豆・すまし汁
3/3	ひな祭り	ちらし寿司・天ぷら・茶碗蒸し・菜の花の酢味噌掛け・桜餅・すまし汁

(6)年間行事

月/日	主な行事	参加者数	月/日	主な行事	参加者数
4/28	お花見お茶会	15名	11/1・2	ドライブ散策	10名
5/13	地域交流グリーンデイ	7名	12/26	忘年会	15名
6/14	ファーストサマーガーデン	12名	2/3	節分	16名
			2/21・22	買い物ドライブ	9名
7/14	紅白玉入れ In アップレ大会	12名	3/17	ホットケーキ作り	10名
9/13	敬老会	18名			

施設計画（行事以外の事業所の計画）			
4/27・10/26	グリストラップ清掃	9/29・1/20	消防設備点検
5/18	ボイラー保守点検	12/13	貯水槽清掃
5/20・10/25	総合避難訓練		

(7)その他運営管理：会議

委員会等	開催日											
職員会議	4/11	5/9	6/14	7/4	8/4	9/27	10/12	11/22	12/9	1/6	2/3	3/10
構成	全職員											
居担会議	4/11	5/9	6/14	7/4	8/4	9/27	10/12	11/22	12/9	1/6	2/3	3/10
構成	施設長・ケアマネ・相談員・居室担当職員・看護職員											
災害対策	4/18		6/16				10/20					3/8
構成	施設長・相談員・委員会担当者											
安全衛生		5/12			8/4			11/10		1/12		3/16
構成	施設長・相談員・委員会担当者											
感染対策	4/1		6/9		8/4		10/27	11/17		1/6		3/11
構成	施設長・相談員・委員会担当者											
給食サー ビス会議	4/6	5/11	6/1	7/6	8/3	9/7	10/5	11/2	12/7	1/11	2/1	3/1
構成	施設長・相談員・委員会担当者・日清栄養士											

## 7【地域貢献活動】

- ・地域交流グリーンデイ 開催時期：5月→5/13実施
- ・地域交流炊き出し 開催時期：9月→10/25防災訓練のみ実施、炊き出し未実施

## 8【職場の環境】

### (1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員：管理者兼介護支援専門員1名、生活相談員1名、看護職員（機能訓練兼務）2名  
介護職員9名（うち特定技能1号2名）、ハウスキーパー2名
- ・保有資格：介護福祉士8名、正看護師1名、准看護師1名、介護支援専門員1名、無資格4名

### (2)有休の取得（常勤12名・非常勤3名）：2,045.5時間取得 うち連続有給3日取得10名

### (3)職場環境保持（人権の尊重）

- ・ハラスメント防止研修・・・5/9実施
- ・倫理及び法令遵守・・・5/9実施

## 9【研修・人材育成】

### (1)法定の研修

- ・虐待予防・身体拘束・・・7/4実施

### (2)人材育成の取り組み

- ・喀痰吸引等研修・・・1名取得
- ・介護技術（ノーリフティングケア研修）・・・6/17実施

(3) 《研修年間表》

内部研修	実施日	参加者	外部研修	参加者
倫理及び法令遵守	5/9	9名	喀痰吸引等研修	1名
身体拘束廃止	7/4	9名		
介護技術	6/17	7名		
介護技術	6/17	7名		
PTによる介護技術	11/24	5名		

# 松園デイサービス・スカイ 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：地域密着型通所介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業

開設日：平成 15 年 6 月松園デイサービス・スカイ開設

住所：青森県三沢市松園町二丁目 7 番 7 号

連絡先：0 1 7 6 - 5 7 - 5 7 5 2

松園拠点長：月舘 健司

所長：笹倉 悠史（事業報告主担当）

### 1 【基本方針】

1 日平均 16.0 人、稼働率 88.9%以上を目標値として計画。全体の 6 割が事業対象者・要介護 1 の方であり、平均介護度は 1.81 となっているため、登録者数の増加（45 名）と重度の方の受け入れを営業活動を通して獲得していく。

### 2 【重点目標】

- (1) 【顧客満足】・事業所独自でアンケートを実施（年 1 回）→2 月実施
- (2) 【職員満足】・拠点安全衛生委員会でアンケート年 1 回実施→未実施
- (3) 【人材育成】・内部研修 10 回計画→5 回実施 ・外部研修 5 件計画→1 件
- (4) 【リスクマネジメント】・ヒヤリ気づき 70 件以上→62 件  
・事故報告書目標 0 件→3 件（車両 2 件・転倒 1 件）
- (3) 【諸活動】 ・人材採用活動→未実施 ・こども宅食→1 回  
・地域交流→1 回（5 月ガーデニング交流会）

### 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	40,372,754	36,372,888	33,376,812.00
経費合計	15,070,771	15,072,381	15,340,784.00
差引収益	25,659,761	21,300,507	18,306,028.00
総時間	12,053.00	11,222.51	10,842.00
時間当り	2,128.90	1,898.00	1,688.50

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別

- ・介護保険法：指定地域密着型通所介護事業所、指定介護予防・日常生活支援総合事業
- ・老人福祉法：第5条2項に基づく老人デイサービス事業

(2)職員種別及び職員数 職員総数 8人

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)利用定員：18名

(4)利用対象者：要介護1～5の認定を受けた方（予防：要支援者）

(5)利用可能地域：三沢市

(6)営業日：月～金 午前8時15分～午後5時15分

(7)施設環境

食堂兼機能訓練室 85 m<sup>2</sup>、静養室 8.1 m<sup>2</sup>、相談室 5.7 m<sup>2</sup>、脱衣室 16.4 m<sup>2</sup>、浴室 23.6 m<sup>2</sup>

(8)送迎用車両

リフト付き福祉車両1台（9人乗り・うち車椅子2台）

福祉車両2台（4人乗り・8人乗り）

#### 5【お客様のご利用現況】（令和5年3月31日現在）

(1)利用者年齢：60代～90代

60代	70代	80代	90代	平均
2人	4人	19人	13人	85.3才

(2)利用者居住地：三沢市

(3)要介護区分・障害者認定区分など（介護予防・総合事業含む）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
2人	9人	9人	9人	7人	1人	1人	2.10

(4)お客様の利用料徴収区分 月額総請求額 （食費：520円（昼食））

0～8,000	～10,000	～20,000
11人	6人	23人

(5)年度の終結 終結総人数 12人

内訳：施設入居9人、死亡1人、住み替え1人、入院1人

(6)利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用数	326	328	351	293	253	335	343	322	300	299	317	365	290.0
稼働日	26日	26日	26日	26日	27日	26日	26日	26日	26日	24日	24日	27日	
日平均	12.5	12.6	13.5	11.2	9.3	12.8	13.1	12.3	11.5	12.4	13.2	13.5	

(7)新規利用者 11人

## 6 【主なサービスメニュー】

### (1)通所介護サービス

- ・一日の流れ

送迎⇒血圧・体温・体調チェック⇒水分提供⇒入浴⇒余暇活動⇒昼食⇒口腔ケア  
⇒静養⇒体操⇒機能訓練・レクリエーション⇒おやつ⇒送迎

- ・通所介護計画書をもとにサービスを展開（6ヵ月毎のモニタリング）
- ・疾患別ケア 車椅子7人 認知症による行動障害5名
- ・午後のアクティビティ

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
個別レク	塗り絵・ 手芸	塗り絵・ トランプ	塗り絵・ 手芸・オセロ	塗り絵・ 手芸	塗り絵・ トランプ・ オセロ	塗り絵・ 手芸・ オセロ
	脳トレ（毎日）お客様のご要望に合わせて提供（計算・間違い探し・クロスワード・知恵の輪など）					
団体レク	体操（毎日） 団体レク（輪投げ・パターゴルフ・ボール入れ・的当て・ベンチサッカー・物送り・魚釣り・DVD鑑賞など）週に2回程度実施					

※その他に制作活動として季節の装飾品、ちぎり絵、スクラッチアート等

### (2)看護サービス

体調管理（バイタル測定）、服薬管理、医師の指示のもと患部処置（褥瘡等）

### (3)機能訓練サービス

外部 PT による機能訓練の指導のもと計画、実施、評価

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
対象者	3人	4人	2人	3人	4人	3人
内容	平行棒歩行訓練、バイク、ホットパック、手指筋力運動					

※内部 PT（4回/月）

### (4)相談支援サービス

- ・お客様やご家族の介護・生活上の悩み等の相談に生活相談員や職員が応じます。
- ・看護職員が病気や健康上の悩み等、相談に応じます。
- ・担当者会議 年間38件（うち11件は照会のみ）

### (5)食事サービス

- ・日清医療食品の栄養士による栄養管理された食事の提供

食種	常食	きざみ食	ムース食
食種割合（%）	87.5%	10%	2.5%

- ・毎月の行事食とワクワクメニューの提供 行事食7回

## (6)年間行事

月	主な行事	施設計画（行事以外の事業所の計画）
4	花見散策→3日間 30名	グリストラップ清掃
5	地域交流会→中止	ボイラー年次点検
6	開設記念日 BBQ→2日間 32名	総合避難訓練
7	夏祭り→15名	
8	買い物散策→中止	
9	敬老会→2日間 28名	総合避難訓練 消防設備点検
10	買い物散策→15名	館内清掃 グリストラップ清掃
11	紅葉散策→中止	
12	忘年会→2日間 28名	貯水槽清掃 水質検査
1	小正月→15名	消防設備点検
2	節分→14名	
3	ひな祭り→14名	

## (7)その他運営管理：会議

名称	頻度(月日)	構成
職員会議	毎月	全職員
拠点会議	年2回	拠点職員
災害対策委員会会議	偶数月1回	施設長、所長、相談員、委員
安全衛生委員会会議	奇数月1回	施設長、所長、相談員、委員
感染対策委員会会議	偶数月1回	施設長、所長、相談員、委員
給食サービス会議	毎月	施設長、所長、相談員、委員、日清栄養士

## 7【地域貢献活動】

- ・地域交流グリーンデイ 開催時期：5月実施
- ・地域交流炊き出し →防災訓練のみ実施

## 8【職場の環境】

### (1)職員状況（令和5年3月31日状況）

配置：管理者1名、生活相談員1名、介護職員3名、看護職員（機能訓練兼務）2名

- ・資格保有者：介護福祉士3名、主事1名、看護師1名、准看護師1名、無資格1名

### (2)有休の取得：（常勤4人・非常勤4人）683時間取得 連続有給3日取得者1人

### (3)職場環境保持（人権の尊重）

- ・職業倫理・就業規則・・・5月実施
- ・ハラスメント防止研修・・・7月実施



## 9 【研修・人材育成】

### (1)法定の研修

- ・虐待防止、身体拘束・・・高齢者虐待防止マニュアルを活用
- ・災害予防・・・防災マニュアル、福祉避難所開設運営マニュアルを活用
- ・事故防止・・・KYT 実施。
- ・感染症、食中毒・・・季節によって流行する感染症に関する対策。

### (2)人材育成の取り組み

- ・無資格者認知症研修・・・1名
- ・接遇、マナー研修・・・1名

### (3)《研修年間》

内部研修	外部研修
4月 職業倫理・就業規則→5月実施（5名）	なし
5月 介護技術 →未実施	
6月 ハラスメント防止→7月実施	
7月 感染対策・食中毒予防→10月実施	
8月 高齢者虐待防止→12月実施	
9月 認知症ケア →未実施	
10月 緊急時の対応→未実施	
11月 事故防止・KYT→未実施	
1月 職場の安全衛生について→未実施	
3月 災害対策について→3月実施	

# 松園グループホーム・スカイ 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：指定（介護予防）認知症対応型共同生活介護

開設日：平成 15 年 6 月松園グループホーム・スカイ開設

住所：青森県三沢市松園町二丁目 7 番 7 号

連絡先：0 1 7 6 - 5 7 - 5 7 5 3

松園拠点長：月舘 健司

事業所長：千葉 愛子（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

「お客様満足」「職員の満足」「地球温暖化対策」「地域防災についての取り組み」を重点的に行い、人と環境、地球に優しい事業所として発展していけるように 2023 年度は取り組んでいきます。

## 2 【重点目標】

### (1)お客様満足

- ・お客様満足度調査実施（年 1 回）→11 月実施
- ・給食サービス わくわくメニュー月 1 回→12 回実施
- ・お客様日常の様子写真で報告→年 4 回（4 月・7 月・10 月・1 月）

### (2)職員の満足

- ・3 日間連続有給取得 →6 名取得

### (3)人材育成

- ・内部研修 12 回 →12 回実施、外部研修 2 件 →未実施

### (4)リスクマネジメント

- ・ヒヤリハット 70 件以上→66 件、リスク対策 3 件以上→4 件、事故報告→2 件

### (5)地域防災

- ・年 2 回の防災訓練と炊き出し訓練を地域協力員等と一緒に行う。

## 3 【本事業所の経営の目標値】

総サービス提供高	41,514,203	41,046,690	41,108,945.00
経費合計	14,941,582	15,167,521	14,968,556.00
差引収益	26,572,621	25,879,169	26,140,389.00
総時間	14,127.00	13,981.50	13,747.00
時間当り	1,881.00	1,851.00	1,901.60

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別

- ・介護保険法：指定（介護予防）認知症対応型共同生活介護
- ・老人福祉法：認知症対応型老人共同生活援助事業（第5条6に基づく）

(2)職員種別及び職員数 職員総数7人

- ・上記については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)利用定員：9名

(4)利用対象者：65歳以上、要支援2または要介護1以上の認知症患者の方

(5)利用可能提供地域：三沢市

(6)営業日：年中無休 24時間

(7)事業所設備

居室 全室個室 10,9㎡ 9室（内トイレ付き 2室）、食堂・居間・オープンキッチン 47,3㎡、浴室 4,0㎡、脱衣室 4,2㎡ 事務所(休憩室)8,2㎡、

#### 5【お客様のご利用現況】（令和5年3月31日現在）

(1)利用年齢： 平均 89.3歳

80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～100歳	平均年齢
2人	2人	3人	2人	89.3

(2)利用者居住地：三沢市

(3)要介護区分（介護予防・総合事業含む）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
0人	0人	0人	5人	2人	1人	1人	2,77

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額（30日の場合）

	①	②	居室料	食事代	光熱費	合計
要介護2	24,000	6,139	20,000	46,800	10,500	107,439
要介護3	24,690	6,252	20,000	46,800	10,500	111,242
要介護4	25,200	6,337	20,000	46,800	10,500	108,837
要介護5	25,740	6,426	25,000	46,800	10,500	114,466

#### 保険内内訳

①介護保険(1日)：要介護2 800、要介護3 823、要介護4 840、要介護5 858

②算定加算：医療連携体制加算Ⅰ、サービス提供体制加算Ⅰ、科学的介護推進体制加算  
処遇改善加算Ⅰ、特定処遇改善加算Ⅰ、ベースアップ等支援加算

#### 保険外内訳

食費：1,560円（一日）居室：20,000円（一ヶ月）、25,000円トイレ付（一ヶ月）

光熱水費：350円（一日）、金銭管理費：3,000円（一ヶ月）→5名、外出支援サービス費

(5)年度の終結 終結総人数 6 人

内訳：死亡 4人 (8/7, 9/3, 2/4, 2/22)

住み替え 1人(6/10 松園ケアラウンジ・スカイへ)、

入院 1人 (退院後 三沢老人ホームへ入所)、

(6)入居状況／人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
9	9	9	9	8.4	8.8	9	9	9	9	8.5	9	8.89

(7)新規利用者 6 人

## 6【主なサービスメニュー】

(1)介護サービス

- ・施設サービス計画書を6ヶ月毎に見直し・更新予定
- ・ケアカンファレンスを12回
- ・3ヶ月毎のモニタリング

アクティビティ計画 (いずれかをから毎日実施)

- ・機能維持⇒ラジオ体操、口腔体操、ストレッチ、合唱、トランプ、塗り絵、ちぎり絵、輪投げ、風船バレー
- ・生活リハビリ⇒茶碗拭き、縫物、洗濯干し、洗濯たたみ

(2)看護サービス、

- ・三沢訪問看護ステーションと医療連携、24時間電話での相談業務、
- ・看取り総数 3名 老衰、慢性腎不全、老衰(ご家族夜間付き添い)
- ・三沢訪問看護医療連携による定期訪問、それ以外の緊急訪問

月	看護定期訪問	緊急訪問
4月	3回 (7,14,28)	
5月	3回 (12,18,26)	
6月	4回 (2,9,16,30)	緊急訪問 6/6 特指示訪問 22日間
7月	3回 (7,14,28)	特指示訪問 29日間
8月	3回 (4,11,25)	緊急訪問 8/7、救急搬送、特指示訪問、28日間
9月	3回 (1,8,12)	特指示訪問 3日間
10月	3回 (6,11,27)	
11月	3回 (1,10,17)	
12月	2回 (8,22,)	特指示訪問 7日間
1月	2回 (14,27)	特指示訪問 22日間
2月	1回 (9,)	緊急訪問 2/20 特指示訪問 4日間
3月	4回 (2,9,16,21)	特指示訪問 11日間

(3)機能訓練サービス

・PT (月 1 回))、機能訓練計画・実施・評価

月訪問リハビリ (短期目標の計画・評価)			
4月19日	集団体操 4名	10月17日	集団体操 6名参加、個別 1名
5月17日	集団体操 6名	11月24日	集団体操 6名参加、個別 1名
6月24日	新規お客様の評価 1名 集団体操 6名	12月13日	集団体操 5名、個別 1名
7月22日	集団体操 7名	1月16日	集団体操 6名
8月19日	新規お客様の評価 1名 集団体操 5名	2月17日	集団体操 9名参加
9月20日	新規お客様の評価 1名 集団体操 6名	3月27日	新規お客様の評価 車椅子移乗動作評価, 1名 集団体操 7名参加

(4)相談支援サービス

・ご家族様面会時・受診時→毎月、電話 (遠方ご家族 2名) →3ヶ月に 1回

(5)食事サービス

・日清医療食品の栄養士による栄養管理された食事の提供→年 1 回お客様嗜好調査実施

・毎月行事食とワクワクメニューの提供 (お客様の意向を聞き職員が考案) →12 回実施

	ワクワクメニュー	行事食
4月	26日 ナポリタン、エビフライ他	20日 たけのこご飯、メバルの照り焼き、デザート他
5月	25日 鶏飯、茶わん蒸し、煎餅汁他	19日 茶そば、天ぷら、デザート他
6月	24日 ちらし寿司、カニクリームコロッケ他	1日 赤飯、天ぷら、デザート他
7月	7日 セタそうめん、おにぎり、デザート他	20日 うなぎちらし、焼きナス、スイカ他
8月	4日 夏野菜カレー、杏仁豆腐他	13日 赤飯、煮しめ、精進揚げ他
9月	13日 敬老会 五目御飯、天ぷら、茶わん蒸し、煮物、紅白なます、デザート他	26、21日 季節のデザート (巨峰)
10月	18日 クロワッサン、カボチャシチュー他	31日 ハロウィンプリン
11月	17日 炊き込みご飯、鮭のちゃんちゃん焼き、茶わん蒸し、せんべい汁他	29日 稲庭うどん、天ぷら、酢の物、おにぎり、デザート
12月	27日 オムライス、エビフライ他	24日 海老ピラフ、星ハンバーグ他
1月	13日 赤飯、鶏肉のピカタ、紅白なます他	3日 ご飯、刺身盛り合わせ他
2月	22日 シチュー、クロワッサン、デザート他	3日 太巻き・いなり寿司、茶わん蒸し他
3月	23日 塩ラーメン、チャーハン他	3日 ちらし寿司、天ぷら、茶わん蒸し他

## (6)年間行事

月	主な行事	施設計画（行事以外の事業所の計画）
4月10日	誕生日会 参加 全員	
19,20日	お花見散策 参加4名	グリストラップ清掃 4/27 実施
5月13日	地域交流グリーンデイ	ボイラー保守点検 5/18 実施
6月5日	誕生日会 参加全員	総合避難訓練 5/20 実施
14日	夏祭り BBQ 参加全員	
7月16日	誕生日会 参加全員	職員健康診断 全員
23日	アイスクリームパーティー参加全員	
8月12日	誕生日会 参加全員	
13日	納涼祭 参加全員	
9月13日	敬老会全員、地域交流炊き出し訓練	消防設備点検 9/29 実施
25日	誕生日会 参加全員	
10月2日	ミニ運動会 参加7名	グリストラップ清掃 10/26 実施
9日	誕生日会 参加全員	避難訓練 10/25 実施
11,15,20日	ドライブ散策 参加8名	
12月7日	誕生日会 参加全員	
24日	クリスマス会 参加全員	
28日	年末感謝祭 参加全員	貯水槽清掃 12/13 実施
1月15日	小正月 参加全員	消防設備点検 1/20 実施
1月17日	誕生日会 参加全員	
2月3日	節分 参加全員	夜勤者健康診断 2/24 5名
3月23日	ひな祭り、春まつ会 参加全員	

## (7)その他運営管理：会議

名称	頻度(月日)	構成
職員会議・事故防止委員会 カンファレンス	毎月 11回実施	全職員 4/25, 5/18, 6/14, 7/19, 8/23, 9/26, 10/14, 11/11, 12/20, 1/19, 3/14
地域運営推進会議 第1回（デイと合同）	年6回 5月11日	施設長、運営推進委員(5名)、所長、GH職員 9名（全員）
第2回	7月13日	6名
第3回	9月21日	8名（全員）
第4回	11月9日	書面会議（全員）
第5回	1月11日	書面会議（全員）
第6回（デイと合同）	3月8日	8名（全員）

拠点 給食サービス会議	毎月 12回実施	施設長、相談員、所長、担当職員、日清栄養士 4/6, 5/11, 6/1, 7/6, 8/3, 9/3, 10/5, 11/2, 12/7, 1/11, 2/1, 3/1
拠点 感染対策委員会	奇数月 4回実施	施設長、相談員、所長、担当職員 6/9, 11/9, 11/17, 1/12
拠点 安全衛生委員会	奇数月 6回実施	施設長、相談員、所長、担当職員 5/12, 7/14, 9/7, 11/10, 1/12, 3/16
拠点 災害対策委員会	偶数月 4回実施	施設長、相談員、所長、担当職員 4/18, 6/16, 10/20, 3/8

## 7【地域貢献活動】

- ・地域交流グリーンデイ 地域住民と敷地内の花植え 5/13 実施 地域住民 4名参加  
炊き出し訓練 開催時期：9月 未実施

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員：管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員6名
- ・保有資格：介護福祉士6名、主事1名

(2)有休の取得：(常勤7名)：488時間(取得率 81.3%) うち連続有給3日取得者6名

(3)職場環境保持(人権の尊重)

- ・ハラスメント防止研修…1回(10月実施)
- ・倫理及び法令遵守…4/25実施

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修

- ・身体拘束廃止委員会…年4回実施 → 5/17, 8/23, 11/11, 2/24 実施
- ・高齢者虐待予防…年4回実施 → 6/14, 9/26, 12/20, 3/14 実施
- ・ターミナル…年4回実施 → 4/25, 7/19, 10/24, 1/24 実施
- ・緊急時の対応…普通救命講習の参加 → 12月予定未実施

(2)人材育成の取り組み

- ・ノーリフティング…1名→未実施

(3)《研修年間》

内部研修	実施日	参加者(伝達含む)
4月 職業倫理	25日	7名
5月 感染症(食中毒予防)	18日	7名

6月	認知症（ユマニチュード）	14日	7名
7月	接遇マナーについて	19日	7名
8月	KYT（危険予知訓練）	23日	7名
9月	災害発生時の対応	26日	7名
10月	プライバシーの保護	24日	7名
11月	感染症（インフルエンザ）	11日	7名
12月	KYT（緊急時の対応）	20日	7名
1月	認知症ケアについて	24日	6名
2月	コミュニケーション	25日	6名
3月	精神疾患	14日	6名



# サテライト特養「栄町ぬくもりの家」2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設の種類：ユニット型指定地域密着型介護老人福祉施設

ユニット型 指定（介護予防）短期入所生活介護事業所

開設日：平成 17 年三沢市と共同提案「サテライト型居住施設特区」認定

平成 19 年 4 月 三沢老人ホームサテライト施設 栄町ぬくもりの家開設

（三沢老人ホーム 110 床から栄町ぬくもりの家へ 15 床分散）

住所：青森県三沢市栄町三丁目 1 2 5 - 1

連絡先：0 1 7 6 - 5 3 - 1 2 8 3

栄町拠点長：立崎 洋子

センター長：立崎 洋子（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

認知症でも最後まで自分らしく生活を楽しむことが出来るように支援する。

知識を深め技術を学ぶ。一人一人、みんな違うことを前提にサービスを進める。

## 2 【重点目標】

個別ケアを基本方針としてユニットでの活動を推進していく。

- ・おむつ外し継続⇒15人維持できている（新規入居者含む）15名中13名トイレ排泄、2名パッド交換。度年度初め平均介護4.5～現在4.1。
- ・認知症実践者研修⇒1名参加、認知症介護度3、徘徊による離設のリスク対応を検討。検討内容から居場所づくりや軽作業による集中を進め安定を図るようにしている。
- ・老年行動科学会⇒アルツハイマー型認知症の行動障害のある介護度4のお客様について4～11月まで研究しまとめる。日本老年行動科学会の田中真理先生の報告※
- ・ノーリフティング⇒移動介護をノーリフティング（福祉用具使用にて抱えない移乗）で行い職員10名全員習得。朝の腰痛体操、午後のラジオ体操を継続し腰痛予防している。  
※日本老年行動科学会の全国大会にて鹿児島県立短期大学の田中真理准教授を主とした事例検討チームによる「認知症介護の抵抗と徘徊への対応」について実践報告を発表

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	78,473,681	81,324,903	81,151,663.00
経費合計	25,384,867	25,068,053	28,390,260.00
差引収益	53,088,814	56,256,850	52,761,403.00
総時間	25,006.00	24,881.26	26,229.00
時間当り	2,123.10	2,261.00	2,011.50

#### 4【本施設（栄町ぬくもりの家）の概要】

(1)施設（事業所）サービス種別

三沢老人ホームサテライト施設

- ・介護保険法：指定地域密着型介護老人福祉施設、（介護予防）短期入所生活介護事業所
- ・老人福祉法：第20条の5に基づく特別養護老人ホーム

(2)職員種別及び職員数：職員総数 16 人

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)入居定員：15名（2ユニット：9名+6名）

(4)入居対象者：要介護1～5の認定を受けた方（予防：要支援者の方）

(5)入居可能地域：三沢市

(6)営業日：月～金、営業時間：午前9時～午後6時

稼働時間：サービス提供時間 年中無休 24時間

(7)施設環境

居室（全個室）39.75㎡12室、19.87㎡5室、19.89㎡3室、19.86㎡3室

食堂 ①40.99㎡ ②32.26㎡ 浴室3.96㎡脱衣室4.51㎡×4室

(8)送迎・病院受診用車両：軽自動車1台

#### 5【お客様のご利用現況】（令和5年3月31日現在）

(1)入居者年齢：70代1名・80代3名・90代10名・100代1名 平均91.3才

(2)入居者居住地：三沢市

(3)要介護区分・障害者認定区分など（介護予防・総合事業含む）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
人	人	3人	7人	5人	4.1

(4)月額総請求額 食費¥44,950（一か月）、居室費：¥61,070～¥86,490（一か月）

～80,000	～100,000	120,000	～140,000	～160,000	～180,000
3名	2名	2名	3名	4名	1名

(5)年度の終結 終結総人数 4人

内訳：死亡 3人、住み替え 1人

(6)入所状況／人 上段：入所 下段：短期入所（30日以内）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入所	415	447	450	465	465	450	465	450	465	433	420	465	449.2
登録	13.8	15	15	15	15	15	15	15	15	14	15	15	14.8
短期	29	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23.5

(7)新規利用者 5人

(4/12介3・5/19介4・1/12介3・1/21介3・2/1介4)

## 6【主なサービスメニュー】

### (1)施設介護サービス

サービス担当者会議 毎月1~2名（職員会議後）

科学的介護記録（ライフ）毎月10日提出

各ユニット会議にてケアカンファレンス・業務改善・日程 月2回ずつ

### (2)医療・看護サービス

#### ・医療サービス

嘱託医師の阪中 淳也医師（鳴海外科医院）毎週水曜日 15時から16時の間

4/6.13.20.27 5/10.18.25 6/1.8.15 7/6.13.20 8/3.10.17.24.31 9/7.14.21.28

10/5.12.19.26 11/2.9.16.30 12/7.14.21 1/4.11.18.25 2/1.8.15.22 3/1.8.15.22.29

脳梗塞4名 アルツハイマー型認知症8名 パーキンソン病レビー小体型認知症1名

高血圧7名 統合失調症1名 認知症うつ病1名

死亡診断2名（看取り1名・心不全1名）緊急呼び出し2回

ムンテラ3名 医師・家族・看護師

#### ・看護サービス

点滴処置3名（A氏5/20~6/1 B氏5/28~6/8・8/9~11 C氏11/21~12/16）

エンゼルケア3名

褥瘡処置2名、経鼻経管栄養者4名

感染予防のためラウンド4/22・6/30・8/30・10/14・12/30・2/14

感染対策委員会会議5/20・8/31・11/24・2/28

1年に1回（11月に2名ずつ受診対応にて行う）全お客様の健康診断を鳴海外科で実施。

職員の健康診断R4/8/・R5/2 予防接種インフルエンザR4/11の窓口対応

入居お客様の健康診断R4/11に実施2名ずつ受診対応にて行う

鍵付きロッカーにて残薬保存、毎日の薬は看護師管理。

#### ・看取り

看取り総数 1名 食止めから14日間点滴施行、看取りとなる。

### (3)機能訓練サービス

外部PT来所月2回、PT指導の下、リハビリを機能訓練指導員が行う、現在は13名

リハビリ実施している。PT来所時には1名から2名の確認と指導

\* 下肢筋力維持・座位保持能力維持・移乗のための立ち上がり・体幹筋力維持・上肢筋力向上・下肢筋力向上・下肢筋力増強・移動・移乗訓練

### (4)相談支援サービス

入居者又はそのご家族様からの必要な相談に応じる。

\* 1月にグループホーム入居となった家族様とおお客様の介護度による相談に応じている。

\* 家族様が県外在住の方でおお客様についての報告や金銭面での相談に応じている。

### (5)食事サービス

給食会議4/14・5/12・6/9・7/14・8/13・9/8・10/13・11/10・12/8・1/17・2/9・3/9

調理員の履物、ミキサー粥不足について、メイバランス増量にて発注方法、食材検品について、調味料の見直し、残渣調査、食単価について、調味料や缶詰・乾物をスーパーから買って来る、非常食の利用、毎月検討して調理員・介護の情報共有が出来ている。

(6)年間行事

月	主な行事	施設計画（行事以外の事業所の計画）
4/22	花見上北方面 4名参加	4/25 粗大ごみ捨て 2名
4/23	花見三沢市内 5名参加	4/26 ミニ避難訓練 5名
4/27	花見六戸町館野公園 3名参加	
5/18	訪問カフェ 11名参加	5/25 総合避難訓練 18名
6/8	バーベキュー 13名参加	6/27 ミニ避難訓練 5名
7/7	七夕会～流しそうめん・スイカ割 15名参加	7/26 緊急時通報訓練 拠点職員全員
8/29	夏祭り 15名参加	8/8 救命訓練 20名
9/14	敬老会 15名参加	9/27 ミニ避難訓練 8名
10/25	ミニ運動会 15名参加	10/26 総合避難訓練 15名
11/22	誕生会 15名参加	11/21 ミニ避難訓練 4名
12/15	ゲーム大会 15名参加	12/26 ミニ避難訓練 4名
12/23	クリスマス会 15名参加	
1/13	新年会 15名参加	1/24 ミニ避難訓練 5名
2/3	節分行事 14名参加	2/20 ミニ避難訓練 5名
2/25	外出支援 2名参加	2/28 技能実習生散策 2名参加
3/8	もちつき会 15名参加	3/24 ミニ避難訓練 5名

(7)その他運営管理：会議

名称	構成	頻度（月・日）
職員会議	拠点長・全職員	4/28・5/26・6/23・7/27・8/25・9/29・10/25・ 11/24・12/23・1/26・2/24・3/23
茜ユニット会議	ユニット職員	4/5・4/19・5/10・5/23・6/7・6/21・7/4・ 7/19・8/3・8/16・9/1・9/20・10/5・10/18・ 11/1・11/24・12/5・12/20・1/6・1/20・2/8・ 2/21・3/6・3/22
楓ユニット会議	ユニット職員	4/12・4/26・5/17・5/31・6/14・6/28・7/6・ 7/25・8/5・8/24・9/6・9/30・10/11・10/25・ 11/7・11/22・12/12・12/27・1/11・1/24・ 2/14・2/28・3/14・3/28
拠点安全衛生委員会	委員	4/28・5/26・6/23・7/28・8/25・9/22・10/27・ 11/24・12/22・1/26・2/24・3/23

拠点災害対策委員会	委員	4/11・5/9・6/13・7/11・8/1・9/12・10/17・11/14・12/12・1/16・2/13・3/13
拠点行事委員会	委員	4/20・5/18・6/15・7/20・8/17・9/21・10/19・11/16・12/21・1/18・2/15・3/15
拠点感染対策委員会	委員	4/1・5/20・12/16
サービス担当者会議	拠点長・ケアマネ・相談員・家族	10/25・11/24・12/23・1/26・2/24・3/23
ぬくもり・コラボ合同会議	拠点長・リーダー	4/21・5/19・6/17・7/21・8/18・9/22・10/20・11/17・12/15・1/19・2/16・3/16
技能実習生体制会議	拠点長・指導員	10/24・12/13・1/11・2/10・3/10

## 7 【地域貢献活動】

- ・防災訓練～毎月火災避難訓練実施、救命訓練、通報訓練実施した。年間行事計画の通り実施した。拠点職員のみで行う。
- ・清掃活動～三沢市クリーン作戦、春と秋・地域交流（コロナ禍により中止）

## 8 【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

・配置人員

管理者1名、看護職員（機能訓練兼務）2名、生活相談員2名、介護職員8名

介護支援員1名、調理職員2名、ハウスキーパー2名、事務職員1名

・保有資格：介護福祉士9名、看護師1名、看護職員1名、介護支援専門員1名、喀痰吸引資格7名、ユニットリーダー4名、認知症実践者研修4名、調理師1名

(2)有給の取得（常勤11非常勤5）：1,878.5時間取得 連続有給3日⇒取得者3名

(3)職場環境保持（人権の尊重）

・ハラスメント防止研修 法人の安全衛生委員会が開催する研修無し⇒参加できず

・人権研修 法人の安全衛生委員会が開催する研修無し⇒参加できず

## 9 【研修・人材育成】

(1)法定の研修

身体拘束廃止委員会 ～ 5/24・8/20・11/11

ターミナルケア委員会 ～ 5/6

事故対策委員会 ～ 9/19・12/31

感染対策委員会 ～ 5/20・8/31・11/24

褥瘡対策委員会 ～ 6/28

・虐待予防、災害予防、緊急時の対応は教育訓練計画書により開催

(2)人材育成 (教育訓練計画に基づき開催)

・外国人職員等をOJTに基づいて指導後、介護用語を日本語で指導。

・資格取得

認知症リーダー研修1名/無資格者認知症研修1名/認知症実践者研修1名

喀痰吸引研修資格取得1名

(3)《研修年間》 内部研修は時期や回数など記載

内部研修	外部研修
4/30 ハラスメントについて 全職員	4/20 排泄ケア年間プログラム基礎編 1名
5/26 アメーバ経営 全職員	5/25 排泄ケア年間プログラム基礎編 1名
6/22 排便障害のアセスメント 全職員	5/26 ノーリフティングとポジショニング 1名
7/30 感染対策について 全職員	6/15 排泄ケア年間プログラム排便編 1名
9/29 ノーリフティングについて全職員	6/10~7/8 チームビルディング 1名
10/31 高齢者虐待について 全職員	6/16 ノーリフティング管理者編 1名
12/23 喀痰吸引・経管栄養について	6/22 喀痰吸引 50 時間研修 1名
12/31 KYT について 全職員	8/4 ノーリフティングとポジショニング 1名
1/26 ユニットケアについて 全職員	9/8 介護職員の口腔清掃に対する知識 1名
3/31 皮膚トラブル・褥瘡予防 全職員	9/12 認知症と摂食障害 1名
	10/22 キラリ輝く介護の魅力 1名
	10/26 福祉送迎運転者講習会 1名
	12/7 食品衛生責任者養成講習会 1名
	12/18 技能実習生指導員講習 1名
	2/10 給食施設の食品衛生管理研修会 1名
	2/15 ノーリフティング実践報告会 1名

# 栄町コラボケアセンター 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設の種類：指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所

開設日：平成19年4月 栄町コラボケアセンター開設

住所：青森県三沢市栄町三丁目125-1

連絡先：0176-53-1284

栄町拠点長：立崎 洋子

事業所長：澤上 紀代子（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

- ・常に謙虚な心でお客様一人一人に寄り添い、地域での暮らしを支える。
- ・一人一人お客様の困っていることを確認し必要な支援を実現しながら支える。
- ・人間成長のため働きかいいのある仕事をする。
- ・稼働率90%以上を目指し十分な収入を生み出す。

## 2 【重点目標】

- ・サービス（利用者QOL維持管理／改善・給食・レク・サービスの質向上等の目標）
- ・登録者25名維持⇒結果月平均登録者23名達成率92%
- ・給食、嗜好調査2回実施、残食調査結果：麺食時ご飯残食多い、葉物野菜の残食が多い。
- ・サービスの質の向上⇒顧客満足度調査11月実施（男性3名、女性14名）  
コラボへ出かける楽しみがある。82%、 雰囲気がとても良い。71%  
サービス内容に満足している。100%、 トイレはきれいか。59%  
※顧客満足度調査の結果からサービス内容等について高評価であった。
- ・レク、クラブ⇒毎月手作りおやつの日を開催。年間行事に合わせお客様が楽しんで頂くように、担当職員が計画し開催することができた。詳細については6、（6）年間行事参照

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	70,880,846	74,038,768	76,533,507.00
経費合計	19,745,993	19,750,801	23,057,067.00
差引収益	51,134,853	54,287,967	53,476,440.00
総時間	24,431.00	24,676.79	25,094.00
時間当り	2,093.10	2,200.00	2,131.00

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別

- ・介護保険法：指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所
- ・老人福祉法：第五条に基づく

(2)職員種別及び職員数 職員総数 16名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)登録定員：25人（通いサービス定員15人、宿泊サービス定員5人）

(4)利用対象者：要介護の認定を受けた方で、事業者と同一の市町村に住んでいる方

(5)利用提供地域：三沢市

(6)利用提供時間：営業日／年中無休 日中時間帯／7時00分～20時00分

通い8時30分～18時／訪問8時30分～18時／宿泊18時～8時30分

※緊急時ならびに必要時においては柔軟に、通い、訪問および宿泊サービスを提供します。

(7)施設環境：宿泊室2人部屋33.58㎡（1人当たり11.19㎡）3室、食堂・居間122.91㎡

浴室33.91㎡（機械浴、一般浴等設備あり）

(8)訪問・送迎車両：4台

#### 5【お客様の現況】（令和5年3月31日現在）

(1)利用年齢：50歳代1人、70歳代2人、80歳代13人、90歳代9人 平均 86歳

(2)利用者居住地：三沢市

(3)要介護区分（介護予防・総合事業含む）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
1人	1人	6人	10人	1人	2人	3人	2.2

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

食費：朝490円・昼550円・夕510円 居室費：一泊3,000円

0～8,000	～10,000	～40,000	～60,000	～80,000	～100,000
1人	0人	9人	4人	5人	3人
120,000	～140,000	～160,000	～180,000		
0人	0人	2人	0人		

(5)年度の終結 終結総人数 12人

内訳：施設入居8人、死亡0人、居宅変更1人、入院3人

(6)新規利用者 11人



## 6 【主なサービスメニュー】

(1) 小規模多機能型居宅利用状況／人 上段：入所 下段：短期入所（30日以内）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一日平均
通い	411	384	398	404	413	415	422	403	406	340	349	410	13.0
宿泊	75	52	71	97	96	97	93	100	106	100	111	137	3.1
訪問	751	730	734	745	773	786	879	803	800	652	634	703	24.6

(2)小規模多機能型居宅介護サービス：ケアプラン作成 11人、ケアプラン見直し 21人

・内部ケースカンファレンス

4月8日	11人	7月8日	8人	10月14日	7人	R5.1月12日	11人
5月13日	7人	8月12日	8人	11月16日	8人	2月10日	10人
6月8日	10人	9月8日	9人	12月9日	13人	3月10日	9人

・外部との担当者会議 10人

日付	担当者会議メンバー	日付	担当者会議メンバー
5/2	福祉用具レンタル業者、訪問看護	12/28	福祉用具レンタル業者
7/1	福祉用具レンタル業者	R5.1/20	福祉用具レンタル業者
8/1	福祉用具レンタル業者	2/2	福祉用具レンタル業者
9/9	福祉用具レンタル業社	2/6	福祉用具レンタル業者
11/1	福祉用具レンタル業者	2/17	地域包括支援センター、病院

・ニーズに合わせ必要なサービスを柔軟に対応する。

(3)看護サービス

・通い時のバイタル（当日のお客様）、泊り時のバイタル（当日のお客様）、お客様の服薬管理・薬作り 6人（一人暮らし・高齢世帯）、緊急時の対応 2人（救急車要請し病院搬送）、排便管理 6人（毎日の排便状況の把握・記録・下剤の追加調整）

(4)機能訓練サービス

・村上 PT 来所 月 2 回 PT 評価を希望されるお客様へ実施  
実人数 14 人

氏名・年齢・性別	実施月・主なりハビリ実施内容
M.T 様 92 歳 男性	4月車椅子使用 平行棒内歩行、下肢の筋力と心臓を鍛える体操
F.T 様 92 歳 女性	9月独歩 椅子座位にて膝伸ばしストレッチ腿上げ
K.K 様 95 歳 男性	9月介助歩行 ステップして重心移動などバランストレーニング
S.I 様 88 歳 女性	6.7.8.10月 車椅子着座にて足踏み動作 膝伸展ストレッチ左右
Y.S 様 90 歳 男性	5.7.8.11.12,1.2.3月四点杖歩行、肩甲帯の上下、膝伸展、階段昇降
K.M 様 73 歳 男性	毎月 車椅子使用 平行棒での歩行前に座位保持のままストレッチ、膝伸展ストレッチ、平行棒内歩行訓練

K.T様 90歳 女性	4.9.10.3月シルバーカー 膝伸展ストレッチ、平行棒内歩行
I.K様 84歳 女性	9月 シルバーカー 右肩可動域練習 平行棒内にて前後ステップ
T.T様 80歳 女性	6月 車椅子使用 平行棒を前に膝伸展ストレッチ 立位訓練
N.S様 90歳 男性	5月 車椅子使用 平行棒内歩行 下肢、体幹筋力の強化
A.A様 85歳 女性	R5.1.2月 四点杖歩行 左膝蓋骨膝関節の伸展方向へのストレッチ
K.S様 94歳 女性	R5.2月 T字杖 下肢の神経筋のストレッチ膝伸展、足背屈動作
I.E様 74歳 女性	R5.3月 四点杖介助 平行棒を右手で把握して周回歩行訓練
I.E様 90歳 女性	R5.3月 車椅子使用 平行棒内、両手支持で歩行 横歩きやスクワット

(5)食事サービス

配食サービス利用 食事準備が困難、低栄養傾向など個々に合わせ提供。

月	人数	延べ食数	月	人数	延べ食数	月	人数	延べ食数
4月	5人	108食	8月	6人	125食	12月	5人	55食
5月	5人	102食	9月	6人	97食	1月	4人	62食
6月	5人	100食	10月	7人	55食	2月	5人	42食
7月	5人	136食	11月	7人	42食	3月	2人	29食

※8月の6人のうち1人が同居家族あり。それ以外の月は、主に一人暮らし食事準備困難、買い物困難で食事の提供が必要な方である。

(6)年間行事

月	主な行事	施設計画（行事以外の事業所の計画）
4/19~20	花見散策 参加18名	
5/30	道の駅ドライブ散策 参加5名	地域運営推進会議 5/30 参加9名
6/23	ジェラート散策 参加6名	
7/5~6	道の駅ドライブ散策 参加4名	地域運営推進会議 7/20 参加10名
7/7	七夕の集い&納涼祭 参加15名	
8/27	スイカ割り&ゲーム大会 参加15名	地域運営推進会議 9/26 参加11名
12/13~14	イベントデー 参加17名	総合避難訓練 10/26
12/23	クリスマス会 参加15名	地域運営推進会議 11/21 参加8名
2/3	節分 参加14名	
3/3	ひな祭り 参加14名	地域運営推進会議 R5/1/23 参加8名
		MP・事業計画策定
		地域運営推進会議 R5/3/20 参加7名

(7)その他運営管理：会議

名称	頻度(月日)	構成
感染予防対策委員会	第3金曜日	栄町拠点全事業所担当職員 1名参加
災害対策委員会	第2月曜日	栄町拠点全事業所担当職員 1名参加
安全衛生委員会	第4木曜日	栄町拠点全事業所担当職員 2名参加
行事委員会	第3水曜日	栄町拠点全事業所担当職員 2名参加
法人内 各委員会	月1回	各委員担当者

## 7【地域貢献活動】

5月／クリーン大作戦コロナ禍の為、実施せず。

総合避難訓練 5月25日、10月26日実施

火災予防運動 7月予定であったがコロナ禍の為、実施せず。

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員：管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員12名、看護職員（機能訓練兼務）1名、ケアアシスタント1名、技能実習生1名、事務職員1名
- ・保有資格：介護福祉士11名、介護支援専門員1名、看護師1名

(2)有給の取得（常勤12人 パート4人）：1,365時間

(3)職場環境保持：人権の尊重

- ・ハラスメント防止研修 3/23実施 10名参加

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修

- ・虐待予防・身体拘束…5月24日 9名
- ・災害予防…7月17日 10名
- ・緊急時の対応…10月21日 8名
- ・事故予防…10月29日 8名、R5.1月17日 9名
- ・感染症・食中毒…R5、2月16日

(2)人材育成の取り組み

- ・全職員の知識、技術向上のため毎月1回教育訓練の開催し実施（内部研修参照）
- ・外国人職員の技術向上と日本語勉強 毎日実施 沼尾リーダーを中心に実施
- ・喀痰吸引研修 1名研修 山口理佳 CW。
- ・認知症実践者研修 7月13日～10月26日 1名研修 沼尾貴子リーダー
- ・青森県小規模多機能型居宅介護職員研修会 R5.2月9日 2名参加 松本亜希子 CW、山口理佳 CW

## (3) &lt;&lt;研修年間&gt;&gt;

内部研修・内容・日時・参加者名	外部研修・内容・日時・参加者名
・コミュニケーション技法 4月25日 9名	・チームビルディング 6月10日～7月8日 5名
・高齢者虐待防止・身体拘束廃止 5月24日 9名	・青森県認知症介護実践研 7月13日～10月26日 1名
・接遇について 6月28日 9名	・技能実習生入国を見据えた雇用環境 セミナー 7月20日 1名
・災害対策訓練（火災・地震） 7月17日 10名	・自分で嚙んで飲み込むための介護 7月30日 1名
・自分で嚙んで飲み込むための介護 8月12日 9名	・認知症と摂食嚥下 9月13日 1名
・チームケアについて 8月15日 9名	・給食施設の食品衛生管理研修会 11月8日 1名
・介護過程の展開・介護の実践力 9月25日 9名	・介護職種の技能実習指導員講習 12月18日 1名
・認知症と摂食・嚥下障害 10月17日 9名	・小規模多機能型居宅介護職員研修 R5年2月9日 2名
・緊急時の対応・感染対策について 10月21日 8名	
・危険予知対策（KYT） 10月29日 8名	
・小規模多機能型のサービス評価 11月25日 10名	
・社是・経営理念・品質方針 12月1日～28日 9名	
ケアの信条・アメーバ経営 12月1日～28日 9名	
・危険予知対策（KYT） 1月17日 9名	
・食中毒について・感染対策について 2月16日 10名	
・ハラスメントについて 3月23日 10名	

## 三沢訪問看護ステーション 2022 年度 事業報告

### ○事業所基本情報

施設の種類：指定訪問看護・指定介護予防訪問看護事業

開設日：平成 10 年 12 月 三沢訪問看護ステーション開設

住所：青森県三沢市栄町三丁目 1 2 5 - 1

連絡先：0176-50-1139

栄町拠点長：立崎 洋子

所長：中村 由佳子（事業報告主担当）

### 1 【基本方針】

- (1)健康の保持・増進・回復を考えた看護、リハビリの提供。
- (2)医療保険 7：介護保険 3 の収入枠

### 2 【重点目標】

重点目標	結果
(1)看護の質をあげるべく知識・技術獲得に積極的な外部研修参加。1人5つ。	年間一人4～5研修参加。
(2)医療保険収入月 310 万。	月平均収入 4,339,972 円
(3)難病及び障害のお客様確保でリハビリテーションの強化。	ボイスからの紹介が伸びず難病、障害の新規利用者年6名。

### 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	75,924,618	67,613,371	64,373,816
経費合計	12,585,348	12,191,564	11,817,240
差引収益	63,339,270	55,421,807	52,556,576
総時間	20,023.00	18,111.86	14,977.00
時間当り	3,163.30	3,060.00	3,509.10

#### 4【本施設（事業所）の概要】

##### (1)施設（事業所）サービス種別

訪問看護、訪問リハビリ

- ・介護保険法：指定訪問看護・指定介護予防訪問看護事業
- ・高齢者医療確保法：75歳以上の後期高齢者の医療報酬に係る法律
- ・健康保険法：第88条第1項に基づく

##### (2)利用者数：88名（令和5年3月31日現在）

##### (3)利用対象：疾病、障害で居宅療養し主治医が訪問看護を必要と認めた小児から高齢者

##### (4)利用可能地域：三沢市、おいらせ町、上北郡（六戸町、東北町、六ヶ所など一部）

##### (5)営業日：月～土 8:30～17:30（土～12:30）緊急時の電話相談 24時間 365日対応可能 必要に応じて、緊急時訪問看護を行なう体制あり

##### (6)職員種別及び職員数：職員総数7名

職員種別詳細については『8【職場の環境】』をご参照ください。

##### (7)施設設備：訪問車両9台

#### 5【お客様の現況】（令和5年3月31日現在）

##### (1)利用年齢：8代～104歳 平均76.5才

12歳以下2名、13～15歳1名

30代1名、40代3名、50代11名、60代11名、70代17名、80代19名、90代17名

100歳代1名

##### (2)利用者居住地：三沢市、上北郡（六戸町、おいらせ町、東北町）

##### (3)介護保険利用区分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
2人	4人	7人	14人	8人	6人	8人	介護2.9

##### ・医療保険利用区分

重度心身	特定疾患	自立支援	終末期	小児	特別指示	その他
3人	13人	13人	0人	3人	3人	3人

##### (4)お客様の利用料徴収区分（2023年1月分）

##### ・介護保険料総額月額（1割負担50名、2割負担0名、3割負担2名）

0～8,000	～10,000	～40,000	～60,000	～80,000	～100,000
11人	0人	34人	0人	4人	

##### ・医療保険料総額月額（1割負担10名、2割負担2名、3割負担19名、生保4名）

0～10,000	～20,000	～30,000	～50,000	～100,000	～300,000	～400,000
人	1人	3人	4人	15人	11人	1人

※300,000円及び400,000円の利用者は難病、終末期等で毎日又は1日に複数回訪問の方

(5)利用者の疾病内訳 ※一人につき複数疾患含む。年度内まとめにて死亡者疾患も含む

疾患名		人数
脳血管疾患	脳梗塞	32名
	脳出血	4名
循環器疾患	心不全（慢性、うっ血性）	34名
	大動脈弁閉鎖不全症	3名
	僧帽弁閉鎖不全症	2名
	不整脈（心房細動及び洞結節障害にてペースメーカー装着）	4名
	心筋梗塞によりバイパス手術後	5名
	アリドマイシン心筋症（心臓移植待機）	1名
	内臓逆転移	1名
呼吸器疾患	閉鎖性動脈硬化症	2名
	肺癌	3名
	慢性閉塞性肺疾患（COPD）	2名
	肺結核既往歴	5名
	気管支喘息	3名
	誤嚥性肺炎（既往歴）	16名
	食道がん・咽頭癌	1名
消化器疾患	胃癌（手術後含む）	3名
	膵炎、膵臓癌	2名
	総胆管結石（結石保有者）	3名
	（手術にて根治）	6名
	総胆管癌（肝外胆管癌）	1名
	（肝内胆管癌）	1名
	肝炎	2名
	大腸癌	8名
	イレウス（腸閉塞）	5名
	ヘルニア（臍ヘルニア）	1名
	（腹壁ヘルニア）	3名
内分泌疾患	糖尿病（下肢切断2名含む）	22名
	甲状腺機能亢進症	3名
	甲状腺機能低下症	2名
	下垂体腫瘍	1名

腎・泌尿器科疾患	慢性腎不全（透析なし）	4名
	（透析あり）	2名
	前立腺肥大症	9名
	前立腺癌	1名
婦人科疾患	子宮頸がん	2名
骨、筋肉疾患	大腿骨頸部骨折（保存）	7名
	人工骨頭置換術施行	3名
	大腿骨大転子部骨折（保存）	3名
	変形性膝関節症	6名
	人工膝関節術施行	1名
	大腿部接合術（キュンチャー術）	1名
	上腕骨骨折	2名
	腰椎圧迫骨折	9名
	腰椎椎間板ヘルニア	2名
	リウマチ	3名
	皮膚科疾患	尋常性乾癬
糖尿病性壊疽		2名
褥瘡 仙骨部		1名
精神科疾患	統合失調症	8名
	不安症	1名
	双極性感情障害	2名
	器質性精神障害	1名
神経疾患（難病）	大脳皮質基底核変性症	1名
	脊髄小脳変性症	3名
	パーキンソン病	3名
	筋硬直性ジストロフィー	1名
	多系統萎縮症	1名
	筋委縮性側索硬化症	1名
眼疾患	白内障	27名
	眼瞼腫瘍	1名
	糖尿病性視力低下、失明	2名
その他 認知症	アルツハイマー型認知症	4名
	レビン小体認知症	2名
	脳血管性認知症	8名



(6)年度の新規利用者及び終結者

	新規	終結
年間総数	48名	59名
内訳	内部ケアマネ紹介 23名	施設入居 8名
	外部ケアマネ紹介 20名	改善 18名
	病院からの紹介 5名	死亡（病院）10名
		死亡（自宅看取）11名
		療養型病院への入院 2名
		その他 8名 （転居 2名、サービス変更 6名）

(7)利用状況（営業日 24 時間 365 日）

①月合計利用者数 上段：月顧客数 下段：月延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
総合	95	91	89	88	91	88	90	91	89	85	85	83	96.1
	691	1,054	694	668	688	664	637	648	735	552	537	539	675
看護	93	89	87	86	89	87	87	88	86	82	82	80	79.1
	406	815	453	426	434	382	366	395	510	366	353	319	435
リハ	47	45	42	43	45	45	45	45	40	36	35	36	42
	285	239	241	242	254	282	271	253	225	186	184	220	240

②利用区分 上段：介護保険利用者数／下段：医療保険利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護	59	55	52	54	57	56	57	53	50	49	47	47	53
医療	39	36	37	34	34	32	35	35	36	36	36	36	35.5

6【主な看護、リハビリサービス内容】

(1)訪問看護指示書発行病院

三沢市内（三沢市立三沢病院・三沢中央病院・岡三沢診療所・あいざわクリニック・聖心会病院・ひぐちクリニック・まつぞのクリニック・サイトウ整形外科医院・鳴海外科医院・得意泌尿器科クリニック・あおぞらクリニック・中山内科医院・すずき小児科クリニック）、青森県立中央病院、十和田市立中央病院、十和田第一病院、高松病院、八戸市民病院、八戸赤十字病院、青森労災病院、メディカルコート八戸西病院、おっとも脳神経外科クリニ

ック、青南病院、おいらせ病院、東北大学病院、なるみ脳神経在宅クリニック  
 ≪往診又は訪問診療を行っている病院≫

三沢市立三沢病院 十和田市立中央病院 おいらせ病院 岡三沢診療所  
 あいざわクリニック 鳴海外科医院 得意泌尿器科医院

(2)訪問看護サービス

①看護内容

日常生活援助Ⅷ(オムツ交換、陰部洗浄、全身清拭、ベッド上洗髪、爪切り、足浴、手浴、  
 口腔ケア、シーツ交換、更衣、トイレ誘導、体位変換)、環境調整、体調管理(バイタルサ  
 イン測定、フィジカルアセスメント)、服薬管理、介護指導、健康相談、精神科訪問看護

②処置内容

処置内容	人数
胃瘻管理	2名
経鼻経管栄養管理(チューブ交換含む)	2名 チューブ交換月1回
吸引	3名 吸引器設置している方
浣腸 摘便	10名 訪問時毎回の方5名 排便困難時 5名
下剤調整(内服セット、内服量の調整)	51名
褥瘡処置	3名 糖尿病壊疽1名、仙骨部1名、 動脈閉塞による血流障害1名
導尿	1名 平日毎日1日2回
膀胱留置カテーテル管理(交換も含む)	5名
静脈内点滴注射管理	2名(脱水、食事摂取困難)
血糖測定及びインスリン注射	3名
人工肛門ストーマ管理(パウチ管理、スキ ンケア)及び	現在なし
人工膀胱ウロストミー管理(パウチ交換、 スキンケア)	現在なし
気管切開呼吸器管理	1名
在宅酸素吸入管理	3名
体外式人工心臓管理(心臓移植待機者)	1名

③劇薬など薬の管理

麻薬・向精神病薬の主にアンプル等の注射液は麻薬・向精神病薬取締法に則って事業所内  
 鍵付き金庫に保管している。使用後は病院へ空アンプル、注射器ごと返却。(鍵は所長管  
 理)。麻薬、向精神病薬のパッチ、内服の自己管理をされているお客様へは、訪問した際、  
 使用状況と残薬を用紙にて管理し乱用にならないよう監視、管理している。

現在事業所内で管理している麻薬、劇薬、抗精神病薬はなし		
麻薬内服 2 名	麻薬貼付 2 名	抗精神病薬内服 38 名（眠剤も含む）

#### ④ターミナルケア

内服薬の管理、排便コントロール、安楽な体位の保持、痛みの管理、家族への指導、療養環境の調整、本人、家族の精神的支援、病院・ケアマネ・ヘルパー・訪問入浴などとの連携。

令和 4 年自宅で看取りを行った利用者一覧

永眠された日	年齢・性別	死因	主治医
2022/04/05	98 歳 男性	肝臓癌、肺転移	三沢市立三沢病院
2022/04/24	88 歳 男性	老衰、多臓器不全	岡三沢診療所
2022/05/18	44 歳 女性	肺癌、脳転移	とわだ診療所
2022/06/07	88 歳 女性	老衰、肝障害	岡三沢診療所
2022/08/31	91 歳 男性	肺癌	三沢市立三沢病院
2022/12/17	90 歳 男性	肺癌	三沢市立三沢病院
2023/01/07	100 歳 女性	老衰、糖尿病壊疽	あいざわクリニック
2023/01/09	99 歳 女性	老衰、心不全	鳴海外科医院
2023/02/04	92 歳 女性	腎不全	鳴海外科医院
2023/02/11	88 歳 男性	COPD、腎不全	とわだ診療所
2023/02/22	98 歳 女性	老衰、心不全	鳴海外科医院

#### (3)訪問リハビリサービス

##### ①訪問回数

週 1 回訪問 16 名	週 2 回訪問 14 名	週 3 回訪問 4 名	月 2 回訪問 2 名
--------------	--------------	-------------	-------------

##### ②リハビリ内容

《対象の障害度区分》

独歩	13 名	車いす自操	4 名
歩行器	5 名	車いす介助	3 名
杖歩行（自立）	3 名	寝たきり	6 名
（要見守り）	2 名	四つん這い	1 名

《リハビリ内容》

起居動作訓練	1 名	歩行訓練 自宅内	6 名
バランス訓練	2 名	外 10 分以内	1 名
移乗動作訓練	3 名	10～20 分以内	5 名
職業復帰訓練	1 名	20 分以上	なし
筋力アップ訓練	5 名	四肢可動域訓練、筋ストレッチ	11 名
マッサージ 全身	2 名		

## 7 【年間活動】

月	主な行事	施設計画（行事以外の事業所の計画）
4		食事会
5	5月・6月広報誌発刊	1回目個人面談
6		医療機器点検
7	7月・8月広報誌発刊	納涼会
9	9月・10月広報誌発刊	
10		衛生材料期限切れチェック棚卸し
11	11月・12月広報誌発刊	2回目個人面談
12		忘年会
1	1月・2月広報誌発刊	
2		衛生材料必要物品の見直し/医療機器点検
3	3月・4月広報誌発刊	

### 《他看護の活動》

- ・松園グループホーム及びはるが丘グループホームへの週1回の訪問

### 《他リハビリの活動》

- ・退院時の家屋調査依頼にて調査。
- ・その他運営管理:会議

名称	頻度(月日)	構成
職員会議	年4回	職員全員
リーダー会議	年2回	所長、サブリーダー2名
安全衛生委員会	年12回	法人内委員会委員 感染予防委員会(委員長:中村由佳子)
看護部会	年4回	法人内看護師でつくる部会 参加は所長又は看護師スタッフ
拠点内委員会（安全衛生委員会）	月1回	拠点委員会メンバー
（感染予防対策委員会）	月1回	〃
（災害対策委員会）	月1回	〃
（行事委員会）	月1回	〃
三沢市認知症会議	年2回	所長
上十三訪問看護ステーション連絡協会	年6回	所長
青森県難病会議	年1回	山崎里子（難病コーディネータ）
青森県小児在宅支援会議 （青森県小児在宅支援センター主催）	年2回	木村陽子（医療的ケア児コーディネータ） 後藤絹香（医療的ケア児コーディネータ）

三沢市医療的ケア児支援会議 (三沢市教育委員会主催)	年 2 回	所長 木村陽子 (医療的ケア児コーディネータ) 後藤絹香 (医療的ケア児コーディネータ)
-------------------------------	-------	--

## 8【地域貢献活動】

看護教育活動の実施

## 9【職場の環境】

(1)職員状況 (令和5年3月31日状況)

・配置人員および保有資格

管理者1名 (看護師)、看護師3名、理学療法士2名、作業療法士1名

(2)有給の取得 (常勤8人) : 800時間取得 取得率 100%

・連続休暇は難しい状況だが、年間一人平均 12.5 日以上取得している。

(3)職場環境保持 (人権の尊重)

・ハラスメント防止研修 年1回 / 人権研修 年1回

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修

虐待、身体拘束予防	実施なし
災害予防	10月22日
リスクマネジメント・医療安全	6月25日 WEBにて研修、
感染予防対策	毎月感染情報把握及び厚生労相HPの確認
緊急時の対応	7月30日、1月13日 実際にあった緊急時の状態を基に確認
褥瘡予防	外部研修には2年ごとに参加 皮膚科学会HP参照の上、褥瘡治療を確認

(2)人材育成の取り組み

・専門領域における研修への参加 / フィジカルアセスメント研修 / 地域連携会議の参加。

(3)《研修年間》

	内部研修	外部研修
4月	介護報酬、医療報酬について	①4/5 在宅でのがん疼痛管理のコツ
5月	伝達講習①	②5/28 日本難病看護学会 2022 オンラインセミナー
6月	伝達講習②	③6/11 リスクマネジメント、医療安全研修 オンラインセミナー

7月	人工呼吸器の取り扱い (フクダライフテック北東北)	④7/8 医療的ケア児支援普及啓発研修
8月	伝達講習③、④	⑤8/20 日本難病学会学術集会 ⑥8/27 医療的ケア児対応訪問看護ステーション新規参入研修会 ⑦8/5 精神障害者の在宅看護セミナー
9月	伝達講習⑤、⑥、⑦	⑧9/16 感染レスキュー (感染管理者研修)
10月	伝達講習⑧、⑨	⑨10/6 安全運転管理者講習会 ⑩10/8 第17回北海道・東北地区訪問看護ステーション連絡協議会 ⑪10/15 医療的ケア児対応訪問看護ステーション情報交換会
11月	伝達講習⑩、⑪	

# ホームヘルパーステーション青空事業所 2022年 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：指定訪問介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービス

開設日：平成6年ホームヘルプ事業開始

平成14年9月ホームヘルパーステーション青空開設

住所：三沢市栄町三丁目125-1

連絡先：0176-53-1284

栄町拠点：拠点長 立崎 洋子

事業所長：山田 大文（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

- ・ ICT化を促進しスムーズな情報共有、手書きによるペーパー管理を減らし労働環境を整え書類整理に関する残業時間月5時間未満、有給取得率70%、離職率0%を目標とする。
- ・ 内部、外部研修を充実させることで個々のモチベーションアップ。

## 2 【重点目標】

- (1) 現在4件のお客様から特定職員の訪問NG指定減を目指す。→0件となり職員NGは解消された。
- (2) お客様情報共有のための毎日ミーティング（定時開催）を行う。→2023年1月から比較的職員が集まりやすい昼の時間帯に開催することが定着出来ている。年度末時点で完全定着し、訪問ミスやお客様情報を共有することができている。
- (3) ワークライフバランスの充実。（有給取得しやすい環境、超過勤務減、シフトバランスにより身体的、精神的負担の少ない対応）→2023年3月末の職員聞き取りで「有給は取得しやすくなった⇒全員」「超過勤務が減った⇒全員」「シフトバランスについての改善した⇒3名」。連続勤務日数、早出、遅出の組み合わせについて改善が必要な結果となる。

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	35,843,981	32,856,105	30,974,087.00
経費合計	10,277,172	8,402,020	9,099,286.00
差引収益	25,566,809	24,454,085	21,874,801.00
総時間	17,673.00	13,738.25	13,709.00
時間当り	1,446.60	1,780.00	1,595.70

#### 4 【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別：訪問介護

- ・介護保険法：指定訪問介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービス
- ・老人福祉法：老人居宅介護等事業（第五条の二に基づく）

(2)職員種別及び職員数：職員総数 8 人

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)登録定員の定め無し 令和 5 年 3 月末日現在 57 名が利用

(4)利用対象者：要介護 1～5 の認定を受けた方（予防：要支援者の方）

(5)利用可能地域：青森県南地域

(6)営業日：年中無休 8 時～20 時まで ※お盆、正月期間は状況に応じ休業する場合あり

(7)訪問用車両：6 台

#### 5 【お客様の現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

(1)ご利用年齢

##### 介護事業・総合事業

50 代：1 名、60 代：4 名、70 代：10 名、80 代：15 名、90 代：9 名、100 代：2 名

##### 自立支援（障害）

10 代：1 名、30 代：5 名、40 代：4 名、50 代：6 名、60 代：2 名

(2)利用者居住地：三沢市、おいらせ町、六戸町

(3)要介護区分

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
2 人	9 人	6 人	12 人	2 人	4 人	3 人	2.48

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

0～8,000	～10,000	～30,000	～50,000	～70,000	～90,000	～110,000
50 人	6 人	2 人	1 人	0 人	0 人	0 人

(5)年度の終結 終結総人数 22 人

内訳：施設入居 10 人、死亡 4 人、入院 5 人、家族同居となった為 2 人

(6)新規利用者 13 人

#### 6 【主なサービスメニュー】

(1)訪問介護サービス

・訪問介護利用状況／人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
66	63	62	59	60	59	58	55	57	57	58	59	59.25



・週別利用状況／人（2023.03.31 現在）

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
午前	10	13	12	13	11	9	8
午後	12	13	11	10	11	8	6

(2)看護サービス計画：看取り 1 件あり。(2022 年 5 月逝去)

→三沢訪看と共同しお看取りすることが出来ている、ケア面はヘルパー、一般状況を含む情報を訪看と連携しながら看取ることが出来ている。

(3)相談支援サービス

・必要なお相談やご助言をお客様又はそのご家族様に対し実施。

→家族、本人からの相談は解決できるものはその場で提案し、要件等事項はケアマネ、その他（訪看等）と連携し提案することが出来ている。

・ソーシャルワークセンター（当会）、三沢訪問看護ステーション（当会）と連携し相談

・ケアカンファレンス月一回開催、

開催日は毎月第一火曜日（4/5、5/3、6/7、7/5、8/2、9/6、10/4、11/1、12/2、1/2、2/7、3/7）（カンファレンスにてモニタリングの確認）

→毎月開催出来ている。結果をケアプランへ反映するように居宅と連携が取れている。

・ケア記録（フォーマット）の見直し3か月に一回開催（4/5、7/5、10/4、1/2）

→2022 年度、フォーマット変更はなし。

(4)その他運営管理：会議

名称	頻度	構成
安全衛生委員会	4/28・5/26・6/23・7/28・8/25 9/22・10/27・11/24・12/22・1/26 2/24・3/23	拠点内事業所から各1名の推薦
災害対策委員会	4/11・5/9・6/13・7/11・8/1・9/12 10/17・11/14・12/12・1/16 2/13・3/13	〃
感染対策委員会	4/1・5/20・12/16	〃

## 7【地域貢献活動】

- ・地域と取り組む防災訓練（年2回）※コロナ対応のため中止
- ・子ども宅食等（年6回） 予定通り参加
- ・地域グリーンデイに参加（年2回） ※コロナ対応のため中止

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・職員配置：管理者1名、ケアワーカー7名（サ責3名、登録ヘルパー2名含む）

- ・資格保有：介護福祉士 8 名
- (2)有休の取得：800 時間取得、常勤職員 80%、パート職員 80%
- (3)職場環境保持のための：人権の尊重
  - ・ハラスメント防止研修（年一回（8 月 19 日）、その他状況に応じて適宜に開催）
  - ・人権研修（年一回（1 月 20 日）、その他状況に応じて適宜に開催）

## 9【研修・人材育成】

### (1)法定の研修

- ・感染症予防研修⇒7 月 2 6 日（2 名参加）
- ・ハラスメント研修⇒8 月 1 9 日開催（3 名参加）
- ・接遇マナー研修⇒9 月 2 5 日開催（3 名参加）
- ・法令遵守、プライバシー保護、重要事項説明に関する研修⇒11 月 1 5 日開催（3 名参加）
- ・虐待予防、身体拘束に関する研修⇒1 月 20 日、2 月 13 日開催（各回 2 名参加）
- ・事故予防（リスク予知、苦情対応研修）⇒3 月 2 1 日開催（2 名参加）

※各回直接参加できない職員は資料配布で対応。

### (2)人材育成の取り組み

- ・同行援護養成研修⇒2 名参加

### (3)《研修》

内部研修	外部研修
上記 9-（1）の研修の通り 登録ヘルパーは資料配布で対応	8 月、同行援護研修・・・2 名参加 2 月、介護従事者に知ってほしい医療研修会、ZOOM 開催 3 名参加。

# 訪問入浴サービスステーション青空 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：介護サービス、介護予防サービス提供

開設日：平成 12 年 2 月 14 日 訪問入浴サービスステーション青空 開設

住所：三沢市栄町三丁目 125-1

連絡先：0 1 7 6 - 5 3 - 1 2 8 4

栄町拠点：拠点長 立崎 洋子

事業所長：山田 大文（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

- ・ICT 化を促進しスムーズな情報共有、手書きによるペーパー管理を減らし労働環境を整え、残業時間月 5 時間未満、有給取得率 70%、離職率 0%を目標とする。
- ・内部、外部研修を充実させることで個々のモチベーションアップ。

## 2 【重点目標】

- ・看取り期での利用や単発利用も含めて、急な利用にも柔軟に対応できる体制を整える。  
→パート職員の時間延長することで対応可能な断りを入れることなく対応することができた
- ・書類整理は PC 移行を基本とし手書き書類減により作業効率 UP を目指す。  
→PC 移行できなかった書類も多くあり（日報関係）次年度も継続して取り組みが必要。

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	15,417,693	18,668,378	18,209,592.00
経費合計	4,681,202	4,822,660	5,652,121.00
差引収益	10,736,491	13,845,718	12,557,471.00
総時間	6,581.00	7,287.22	7,181.00
時間当り	1,631.4	1,900.0	1,748.80

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別：訪問介護

介護保険法：指定訪問介護事業所 介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービス

(2)職員種別及び職員数：職員総数 5 人

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)登録定員の定め無し：令和 5 年 3 月 31 日現在 25 名が利用

(4)利用対象者要介護 1～5 の認定を受けた方（予防：要支援者の方）

(5)利用可能地域：三沢市、おいらせ町、六戸町、六ヶ所、東北町

(6)営業日：月～土曜日 9 時～16 時 30 分 ※月～土曜日が祝日の場合も営業

(7)訪問用車両：給湯システム（ボイラー積載）付き車輛 1 台

#### 5【お客様の現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

(1)ご利用年齢：20 代 1 名、60 代 2 名、70 代 8 名、80 代 10 名、90 代 5 名 平均 79.5 才

(2)利用者居住地：三沢市、おいらせ町、六戸町

(3)要介護区分

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 人	0 人	1 人	2 人	4 人	8 人	10 人	3.96

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

0～3,000	～6,000	～10,000	～20,000	～30,000	～40,000	～50,000
6 名	11 名	4 名	6 名	0 名	1 名	0 名

(5)年度の終結 終結総人数 32 人

内訳：施設入居 20 人、死亡 10 人、入院 2 人

(6)新規利用者 28 人

#### 6【主なサービスメニュー】

(1)訪問入浴介護サービス

・利用状況（週間）／人

訪問	月	火	水	木	金	土
午前	3	2	2	3	3	3
午後	2	2	2	2	2	1

・利用状況（月）／件数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
102	114	103	103	116	118	130	126	129	111	98	108	113.1

・ケア記録（フォーマット）の見直し 3 か月に一回開催（4/6、7/6、10/5、1/3）

→モニタリング記録に関しては 2023/1/3 で本人家族が見やすい視点で改善を図り仮運用しており、2023 年 4 月以降に ISO 改定を予定している。

(2)看護サービス：看取り件数（10件）※ただし、1回の利用で終結1件、2回の利用で終結4件、3回の利用で終結5件

(3)相談支援サービス：必要なご相談やご助言をお客様又はそのご家族様に対し実施。

→入浴に関すること以外でもケア方法について求められた助言を行うことが出来ている。

・ケアカンファレンス月一回開催

開催日は毎月第一水曜日開催（4/6、5/4、6/1、7/6、8/3、9/7、10/5、11/2、12/3、1/3、2/1、3/1）

→前月分の記録をもとにケアの見直し、手順の確認を含め開催している。各月遅延することなく出来ている。

(4)その他運営管理：会議

名称	頻度(月日)	構成
安全衛生委員会	4/28・5/26・6/23・7/28・8/25 9/22・10/27・11/24・12/22・1/26 2/24・3/23	各事業所から1名の推薦
災害対策委員会	4/11・5/9・6/13・7/11・8/1・9/12 10/17・11/14・12/12・1/16 2/13・3/13	”
感染対策委員会	4/1・5/20・12/16	”

## 7【地域貢献活動】

- ・地域と取り組む防災訓練(年2)・・・コロナ対応のため中止
- ・子ども宅食(年6)・・・予定通り
- ・地域グリーンデイに参加(年2回)・・・コロナ対応のため中止

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員：管理者1名、看護職員2名、介護職員2名
- ・保有資格：介護福祉士2名、准看護師2名、ヘルパー2級1名

(2)有休の取得：398時間 有給取得率 常勤職員80%、パート職員80%

(3)職場環境保持（人権の尊重）

- ・ハラスメント防止研修（年一回（8月19日）、その他状況に応じて適宜に開催）
- ・人権研修（年一回（1月20日）、その他状況に応じて適宜に開催）

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修

- ・感染症予防研修・7月26日（3名参加）

- ・ハラスメント研修・8月19日開催（3名参加）
- ・接遇マナー研修・9月25日開催（3名参加）
- ・法令遵守、プライバシー保護、重要事項説明に関する研修・11月15日開催（3名参加）
- ・虐待予防、身体拘束に関する研修・1月20日、2月13日開催（各回3名参加）
- ・事故予防（リスク予知、苦情対応研修）・3月21日開催（3名参加）

※各回直接参加できない職員は資料配布で対応。

(2)人材育成の取り組み

- ・移乗に関する介護技術向上。体格差、過体重、健側を生かした移乗方法の研修を定期的に開催すること出来ている。

(3) 《研修年間》

内部研修	外部研修
上記9-（1）の研修の通り	外部研修参加件数・・・0件

# サテライト特養「岡三沢ぬくもりの家」2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設の種類：ユニット型指定地域密着型介護老人福祉施設

ユニット型指定（介護予防）短期入所生活介護事業所

開設日：平成 17 年三沢市と共同提案「サテライト型居住施設特区」認定

平成 19 年 1 月 三沢老人ホームサテライト施設 岡三沢ぬくもりの家開設

（三沢老人ホーム 110 床から岡三沢ぬくもりの家へ 15 床分散のち 1 床増）

住所：青森県三沢市岡三沢一丁目 1 - 9 7

連絡先：0 1 7 6 - 5 2 - 6 1 4 6

岡三沢拠点長：平澤 由加里

センター長：平澤 由加里（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

「その人らしく生きる」を支え続けるために、お客様の立場に立ったケアを提供いたします。

介護技術・サービス向上のために研修を定期的に行います。

## 2 【重点目標】

- ・介護技術の向上（おむつ外し・ノーリフティング）

排便コントロールに取り組み対象者 5 名に対し 3 名の改善がみられました。

取組みとしてオリーブオイル、ヨーグルト、ヤクルトを定期的にとっていただきました。

- ・移乗介助（車椅子⇄ベッド・ストレッチャー⇄ベッド）ベッドから車椅子移乗介助必要 8 名に対しスライディングボード、フレックスボードを全員に使用しています。
- ・朝礼時に腰痛予防体操を実施し、ぎっくり腰前年 2 件ありましたが開始後は 0 件です。

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	82,110,427	83,845,679	84,640,453.00
経費合計	27,318,174	28,120,757	30,716,109.00
差引収益	54,792,253	55,724,922	53,924,344.00
総時間	23,858.00	25,173.90	25,021.90
時間当り	2,296.60	2,196.50	2,155.10

#### 4【本施設（事業所）の概要】

##### (1)事業所サービス種別

三沢老人ホームサテライト施設

- ・介護保険法：指定地域密着型介護老人福祉施設、（介護予防）短期入所生活介護事業所
- ・老人福祉法：第20条の5に基づく特別養護老人ホーム

##### (2)職員種別及び職員数 職員総数 14人

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

##### (3)入居定員：16名（2ユニット 9名+7名）

##### (4)入居対象者：要介護1～5の認定を受けた方（要支援者と65歳以上の方）

##### (5)サービス提供地域：三沢市

##### (6)稼働時間：サービス提供時間 年中無休 24時間、営業日 月～金、営業時間 9時～18時

##### (7)施設設備：居室（全個室 23.19㎡/10、11㎡/2、13.08㎡/2、40.60㎡/1、46.37㎡/1）、 食堂兼訓練室（あじさいリビング 69.56㎡+つばきリビング 25.33㎡） 94.89㎡

##### (8)送迎車輛：4台（病院受診、散策等）

#### 5【お客様のご利用現況】（令和5年3月31日現在）

##### (1)入居者年齢：70代 2名/80代 7名/90代 6名/102歳 1名

##### (2)入居者居住地：三沢市

##### (3)要介護区分・障害者認定区分など（介護予防・総合事業含む） 平均記載

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
人	人	名	9名	7名	4.31

##### (4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

食費：朝食 410円 昼食 550円 夕食 490円 合計 1,450円 43,500円（30日）

～80,000	～100,000	120,000	～140,000	～160,000	～180,000	～200,000	220,000～
2名	2名	5名	2名	2名	1名	1名	1名

居室費：1,340円/1,540円/2000円+特室 820円/特室 900円 40,200円～89,700円(30日)

##### (5)年度の終結 終結総人数 3人 内訳：死亡 3人

##### (6)入所状況／人 上段：入所 下段：短期入所（30日以内）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入所	480	487	480	496	492	471	496	480	496	496	448	490	484.3
平均	16	15.7	16	15.8	15.7	16	16	16	16	16	16	15.8	15.9
短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

##### (7)新規利用者 3人



## 6【主なサービスメニュー】

### (1)施設介護サービス

- ・モニタリング月平均6名実施/サービス担当者会議月平均2~3名実施
- ・オムツ使用者(9名)/トイレ介助者(7名)/食事介助者(3名)/経管栄養(2名)  
特浴入浴(5名)

### (2)医療・看護サービス

- ・医療サービス  
嘱託医師の阪中 淳也医師(鳴海外科医院)毎週水曜日回診。体調不良時電話にて指示。  
年6回(食低下/腹部膨満/腹痛/発熱)内1件救急搬送し、尿路感染による敗血症にて入院。近隣かかりつけ病院への送迎付き添い(三沢市立病院/岡三沢診療所/あいざわクリニック/あおぞらクリニック/みさわの森クリニック/得居泌尿器)
- ・看護サービス  
感染対策委員会 8回開催 看護師による研修 2回(ガウンテクニック・汚物処理)
- ・看取り 2名 食止め後9日で死去 家族希望にてエンゼルケアは施行せず  
食止め後15日で死去 エンゼルケア実施

### (3)機能訓練サービス

月2回、外部の理学療法士が来所。リハビリサポートプランにてADL維持のための生活リハビリを実施(下肢筋力維持強化訓練/座位保持訓練/体幹筋力向上訓練/膝伸展可動域訓練/良肢位保持訓練/股関節伸展訓練)

### (4)相談支援サービス

入居相談2件・ご利用料金に関する相談1件

### (5)食事サービス

常食7名 刻み食5名 ソフト食2名 経管栄養 2名  
必要カロリーを計算し、主食の量で調整。朝食のみ主食はパン2名

### (6)年間行事

月	主な行事	施設計画(行事以外の事業所の計画)
4	花見ドライブ(4/19 3名 4/20 3名 4/22 4名)	
5	グリーンデイ(5/14) 8名	
6	訪問カフェ(6/22) 13名	
7	こども園マーチング(7/15) 全員	
8	BBQ(8/29) 13名	
9	敬老会(9/15) 16名	外出支援(9/21) 2名 避難訓練(9/28) 16名
10		
11	スイーツバイキング(11/11) 13名	外出支援(11/8) 2名

1 2		ユニット活動 (12/24) 14名
1		ユニット活動 (1/25) 14名
2	節分 (2/2) 5名 バレンタインカフェ (2/14) 14名	
3	ひな祭り (3/3) 14名	

(7)その他運営管理：会議

		頻度(月日)
名称	感染・褥瘡・喀痰吸引委員会	4/28 6/13 7/23 8/12 9/21
構成	拠点長、各事業所看護職員	12/7 1/26 3/23
名称	安全衛生委員会	4/21 5/18 6/21 7/12 9/4
構成	拠点長、法人安全衛生委員会委員	9/20 10/18 1/17 3/14
名称	事故防止委員会	4/12 5/9 6/6 7/11 8/18 9/5
構成	拠点長、担当職員	10/3 12/12 1/10 2/6 3/10
名称	リーダー以上会議	4/21 6/17 6/16 9/16 12/16
構成	拠点長、サブリーダー、チームリーダー	
名称	給食委員会	4/7 6/10 10/4 1/11
構成	拠点長、担当職員	
名称	広報委員会	4/27 10/26 1/23
構成	拠点長、担当職員	
名称	身体拘束廃止委員会（虐待防止）	4/18 7/8 10/13 1/17
構成	拠点長、相談員、ケアマネ、介護職員、看護師	
名称	ユニット会議	4/6 4/13 5/10 5/17 6/8 6/14
構成	ユニット職員、相談員、ケアマネ	7/6 7/13 8/10 9/7 9/14 10/5 10/14 12/7 12/12 1/4 1/11 2/8 2/15 3/8 3/15
名称	地域運営推進会議	5/24 9/27 3/28
構成	運営推進委員（地域）担当職員	7月・11月・1月は書面にて開催

7【地域貢献活動】

- ・施設周辺の清掃活動（4/17、6/19、8/21、9/22）

8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員：管理者1名、生活相談員2名、介護職員5名、看護職員2名、調理員1名、ハウスキーパー2名、技能実習生1名

- ・保有資格：介護福祉士 7 名
- (2)有休の取得（常勤 12 人パート 2 名）：1049 時間　うち連続有給取得者 2 名
- (3)職場環境保持（人権の尊重）
  - ・ハラスメント防止研修・人権研修（10/2　1 名）（10/25～31　4 名）

## 9【研修・人材育成】

### (1)法定の研修

下記研修年間に記載

### (2)人材育成の取り組み

- ・キャリアアップのための資格取得・・・介護福祉士　1 名  
（1/30.31.2/14.15）介護福祉士実習指導者研修　1 名
- ・キャリアアップのための研修参加・・・ユニットリーダー　1 名　アセッサー 2 名
- ・外国人職員等・・・初級試験合格

### (3)《研修年間》

内部研修 ※全職員	外部研修
(4/15～30) 楽晴会経営倫理	(4/20.6/15.8/31.10/19.12/14.2/15) 光洋
(5/25) 感染症対策	排泄ケア教育（全 6 回）　1 名
(5/25) 事故防止)	(6/16) ノーリフティング　1 名
(6/29) ノーリフト	(6/22～) 喀痰吸引　1 名
(10/19) 感染対策～食中毒～	(7/20) 雇用環境セミナー　1 名
(10/20) ハラスメント	(9/9) 技能実習指導員　1 名
(2/24) 防災について	(10/26) 青森県 10 のテーマ 接遇
(3/22) 高齢者虐待防止	1 名
(3/22) 身体拘束廃止	(2/15) ユニットリーダー実地研修　1 名

# 岡三沢コラボケアセンター 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設の種類：指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所

開設日：平成 18 年 12 月 岡三沢コラボケアセンター開設

住所：青森県三沢市岡三沢一丁目 1-97

連絡先：0176-52-6100

岡三沢拠点長：平澤 由加里

センター長：平澤 由加里（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

「その人らしく生きる」を支え続けるために、お客様の立場に立ったケアを提供いたし、  
住み慣れた地域の中で不安なく過ごされることを支えます。

介護技術・サービス向上のために研修を定期的で開催いたします。

## 2 【重点目標】

- ・認知症のお客様への対応（QOL改善）

入浴拒否2名のお客様への対応を実施し、拒否のない定期的な入浴に繋がりました

- ・効果的なレク活動の実践

午前、お客様それぞれの改善維持のために軽作業や作品作り、教材の提供を行い  
意欲をもって取り組んでいただく方が増えました。

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	67,107,516	72,246,120	69,090,825.00
経費合計	16,385,435	16,993,913	19,039,869.00
差引収益	50,722,081	55,252,207	50,050,956.00
総時間	22,745.00	24,212.00	24,686.62
時間当り	2,230.00	2,282.00	2,027.50

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別

- ・介護保険法：指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所
- ・老人福祉法：第5条2に基づく

(2)職員種別及び職員数 職員総数 15人

- ・職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)登録定員：25人（通いサービス定員15人、宿泊サービス定員5人）

(4)利用対象者：要介護の認定を受けた方で、事業者と同一の市町村に住んでいる方

(5)稼働時間：営業日／年中無休 日中時間帯／7時00分～20時00分

通い8時30分～18時／訪問8時30分～18時／宿泊18時～8時30分

※緊急時ならびに必要時においては柔軟に、通い、訪問および宿泊サービスを提供します。

(6)サービス提供地域：三沢市

(7)施設環境： 宿泊室 33.12 m<sup>2</sup>（1人当たり 8.28 m<sup>2</sup>）、居間・食堂 135.81 m<sup>2</sup>（1人当たり 9.05 m<sup>2</sup>） 台所 25.67 m<sup>2</sup>、浴室 26.91 m<sup>2</sup>（機械浴、一般浴等設備あり）

(8)送迎用車両：リフト車1台 中型車（座席可動式）1台、軽自動車2台

#### 5【お客様の現況】（令和5年3月31日現在）

(1)利用者年齢：70代3名/80代10名/90代7名/100歳 2名 平均 86.7才

(2)利用者居住地：三沢市

(3)介護区分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
0	1	5	7	3	2	4	2.6

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額 食費：朝食410円 昼食550円 夕食490円

宿泊：1回2,000円

0～20,000	～30,000	～40,000	～50,000	～100,000	100,000～
	7	5		8	2

(5)年度の終結 終結総人数 17人

内訳：施設入居 13人、入院 3人、自宅帰宅1人

(6)新規利用者 13名

#### 6【主なサービスメニュー】

(1)利用状況／人 上段：通所 中段：宿泊 下段：訪問 定休日なし

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通所	339	342	360	234	325	313	334	197	314	308	299	342	308.9
宿泊	55	69	126	80	102	93	71	57	49	52	69	96	76.5
訪問	673	779	644	542	618	549	622	407	591	546	443	474	574

(2)小規模多機能型居宅介護サービス

サービス担当者会議月平均3名実施 モニタリングは毎月実施月21名～23名

居宅サービス計画書月平均4～5名実施

- ・通いのメニュー 入浴、機能訓練、レクリエーション、軽作業、手芸、料理
- ・訪問メニュー 配食、食事準備、服薬管理、排泄介助、掃除、健康観察

(3)看護のサービス

- ・血圧測定結果をまとめ、受診同行し診察していただく。
- ・精神科受診者の服薬後の経過観察、報告

(4)機能訓練サービス

外部より理学療法士が月2回来所し、アセスメントと機能訓練指導を行い、事業所職員が実施。平行棒内歩行、階段昇降、歩行訓練、スクワット、ストレッチ

(5)食事サービス

- ・常食・刻み食・ソフト食・低残渣食（腸疾患）

(6)年間行事

月	主な行事	施設行事
4	花見ドライブ (4/18) 5名、(4/23) 9名	
5	グリーンデイ (5/14) 七戸菜の花 (5/13) 8名、(5/15) 7名	運営推進会議 (5/24)
6	訪問カフェ (6/22) 15名 航空科学館ドライブ (6/12) 7名	
7	こども園マーチング (7/15) 12名	運営推進会議 (書面)
8	BBQ (8/29) 12名	
9	敬老会 (9/14) 14名 (9/15) 15名 お祭りドライブ (9/25) 6名 航空科学館・漁港ドライブ (9/29) 8名	防災訓練 (9/28) 運営推進会議 (9/27)
11	スイーツバイキング (11/11) 14名	運営推進会議 (書面)
1		運営推進会議 (書面)
2	節分 (2/2) 13名、バレンタインカフェ (2/14) 14名	
3		運営推進会議 (3/28)

(6)その他運営管理：会議

名称	頻度(月日)	構成
感染・褥瘡・喀痰 吸引委員会	4/28 6/13 7/23 8/12 9/21 12/7 1/26 3/23	拠点長、各事業所看護職員
安全衛生委員会	4/21 5/18 6/21 7/12 9/4 9/20 10/18 1/17 3/14	拠点長、法人安全衛生委員会 委員

事故防止委員会	4/12 5/9 6/6 7/11 8/18 9/5 10/31 2/12 1/10 2/6 3/10	拠点長、担当職員
リーダー以上会議	4/21 6/17 6/16 9/16 12/16	拠点長、サブリーダー、チームリーダー
給食委員会	4/7 6/10 10/4 1/11	拠点長、担当職員
広報委員会	4/27 10/26 1/23	拠点長、担当職員
コラボ会議	4/5 4/12 4/27 5/4 5/17 5/25 6/1 6/6 6/14 6/29 7/5 7/14 8/2 8/9 8/16 8/30 9/15 9/22 10/11 10/19 10/25 11/1 12/7 12/14 12/27 1/11 1/25 3/2 3/14	ケアマネ、介護・看護職員
地域運営推進会議	5/24 9/27 3/28 7月・11月・1月は書面にて開催	運営推進委員（地域）担当職員

## 7 【地域貢献活動】

- ・施設周辺の清掃活動 4/17 6/19 8/21 9/22

## 8 【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員

管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員9名、看護職員（機能訓練兼務）1名、事務員1名、用務員1名 技能実習生1名

- ・資格保有者：介護福祉士9名、介護支援専門員1名、正看護師1名

(2)有休の取得（常勤11人パート4人）：1,458時間うち連続有給3日取得4人

(3)職場環境保持：人権の尊重

- ・ハラスメント防止研修・人権研修（10/12 3名）

## 9 【研修・人材育成】

(1)法定の研修（年1回の研修を実施）

下記研修年間参照

(2)人材育成の取り組み

- ・キャリアアップのための研修参加・・・(7/13.14.27.28) 認知症実践者研修 1名  
(12/22) アセッサー 1名 (1/30.31.2/14.15) 介護福祉士実習指導者研修 1名
- ・外国人職員等・・・初級試験合格

(3) 《研修年間》

内部研修 ※全職員	外部研修
4月・・・楽晴会経営倫理（4/15～30）	（10/14・11/11）青森県 10 のテ
5月・・・高齢者虐待防止（5/14～31）	ーマ 2名
6月・・・事故防止（6/13～30）	（6/22～）喀痰吸引研修 1名
・ノーリフトケア（6/28～7/9）	（9/21.22）防火管理者 1名
7月・・・身体拘束廃止（7/10～31）	（10/26）福祉送迎車 1名
8月・・・感染対策（食中毒）（8/15～29）	（10/28）認知症の多職種連携 1
9月・・・認知症ケア（9/19～10/7）	名
10月・・・感染症対策（10/24～11/1）	（11/23）小多機ケアマネジメント
11月・・・認知症（コミュニケーション）11/20～12/5	実務 1名
12月・・・高齢者虐待防止（12/15）	（12/13）ハラスメント対策
1月・・・ハラスメント（1/13～31）	1名
2月・・・職場のリスクマネジメント（2/28）	（12/18）技能実習指導員 1名
3月・・・介護記録防災について（3/1～17）	
身体拘束廃止（3/1～17）	



# サテライト特養「松原ぬくもりの家」2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設の種類：ユニット型指定地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

ユニット型指定（介護予防）短期入所生活介護事業所

開設日：平成17年三沢市と共同提案「サテライト型居住施設特区」認定

平成23年5月 三沢老人ホームサテライト施設 松原ぬくもりの家開設

（三沢老人ホーム110床から松原ぬくもりの家へ20床分散）

住所：青森県三沢市松原町1丁目31-3704

連絡先：0176-53-3708

松原拠点長：吉田 薫明

センター長：吉田 薫明（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

私達は地域の要介護高齢者へ、日常生活支援（身体介護・生活援助）・健康管理・レクリエーション・機能訓練等のケアサービスを提供し、施設での暮らしを成り立たせるために、必要なことは何かを見極め、あなたらしい暮らしを考えていきます。

## 2 【重点目標】

(1)介護ロボットの活用でQOLを維持する

・見守り支援システムと記録システムとを連携させ、お客様の体動の頻度や要求の記録化を可能とした。居室での転倒・滑落事故は、上期と下期比較で減少した。

(2)リスクマネジメントのPDCAを再検討する

・インシデントとアクシデントを記録する様式を開発し活用することで、法人のリスクマネジメント規定と整合した。また原因の深掘りをする訓練をし解決力アップに繋がった。

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	96,785,358	100,320,317	98,760,524.00
経費合計	32,464,090	36,578,078	36,895,928.00
差引収益	64,321,268	63,742,239	61,864,596.00
総時間	29,550.00	31,828.93	31,980.00
時間当り	2,176.70	2,002.70	1,934.50

#### 4 【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別

三沢老人ホームサテライト施設

- ・介護保険法：指定地域密着型介護老人福祉施設、（介護予防）短期入所生活介護事業所
- ・老人福祉法：第20条の5に基づく特別養護老人ホーム

(2)職員種別及び職員数 職員総数 18名

- ・職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)入居定員：20名（長期20名＋短期は空室利用）

(4)入居対象者：要介護1～5の認定を受けた方（介護：要支援者）

(5)サービス提供地域：三沢市

(6)サービス提供時間：年中無休 24時間、営業日／月～金、営業時間／9時～18時

(7)施設環境

居室（全個室）16.4㎡12室、16.2㎡8室、食堂兼機能訓練室①55.4㎡②64.4㎡

個浴室 8.24㎡（脱衣室 6.7㎡）、大浴室 23.3㎡（脱衣室 16.15㎡）

(8)送迎車両：車椅子昇降リフト付き1台、助手席リフトアップ、車椅子収納装置付き1台  
車椅子スローパー付き1台、軽自動車1台

#### 5 【お客様のご利用現況】（令和5年3月31日現在）

(1)入居者年齢：60代1人、70代1人、80代9人、90代8人、100歳代1人平均87.8才

(2)入居者居住地：三沢市

(3)要介護区分

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
0人	0人	5人	6人	9人	4.2

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

食費：1日1,450円、30日43,500円※所得に応じ負担軽減できる制度あり

居室費A室：1日1,500円、30日45,000円※所得に応じ負担軽減できる制度あり

居住費B室：1日1,300円、30日39,000円※所得に応じ負担軽減できる制度あり

～60,000	～100,000	～120,000	～140,000	～160,000	～200,000
0人	3人	7人	7人	2人	1人

(5)年度の終結 終結総人数5人 内訳：死亡5人

(6)入所状況／人 上段：入所、下段：短期入所(30日以内) 営業日365日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
長期(延)	585	620	600	620	620	586	620	590	595	610	560	620	602
長期(人)	19.5	20.0	20.0	20.0	20.0	19.5	20.0	19.7	19.2	19.7	20.0	20.0	19.8
短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7)新規利用者5人

## 6【主なサービスメニュー】

### (1) 施設介護サービス

a.施設サービス計画書…1年ごとまたは状態変化に伴い見直し

4月2件、5月1件、6月5件、7月0件、8月1件、9月3件

10月3件、11月3件、12月3件、1月5件、2月2件、3月2件

b.サービス担当者会議…1年ごとまたは状態変化に伴い開催

4月2件、5月1件、6月5件、7月0件、8月1件、9月3件

10月3件、11月3件、12月3件、1月5件、2月2件、3月2件

c.モニタリング…3カ月ごとに評価

### (2)医療・看護サービス

#### 医療サービス

・嘱託医師の阪中 淳也医師（鳴海外科医院）

a.毎水曜日の16：00～17：00に施設往診

4月4回、5月3回、6月5回、7月4回、8月5回、9月4回

10月4回、11月4回、12月4回、1月3回、2月4回、3月5回

b.死亡診断による施設往診

4月1件、5月0件、6月0件、7月0件、8月0件、9月2件

10月0件、11月1件、12月1件、1月0件、2月0件、3月0件

c.往診以外は看護職員が電話で阪中医師の指示を受け、必要時には受診する。

・嘱託医以外に通院している人数（重複あり）

市立三沢病院1人、岡三沢診療所1人、十和田中央病院1人、高松病院1人

あおぞらクリニック2人、みさわの森クリニック1人、青森労災病院1人

#### 看護サービス

入居者の健康管理、嘱託医及び主治医及び薬剤師との医療連携（夜間のオンコール含む）、服薬管理に従事

・基礎疾患（重複あり）

アルツハイマー病11人、前立腺肥大5人、糖尿病4人、パーキンソン病3人

慢性閉塞性肺疾患2人、くも膜下出血1人、多系統萎縮症1人、脳梗塞1人

脊髄小脳変性症1人、右尾状核梗塞1人、左被殻出血1人、狭心症1人

レビー小体型認知症1人、ネフローゼ1人

・看取り

前年度複5名の看取り介護を実施※エンゼルケア5名実施

4/3(日)22：30 老衰、9/1(木)19：27 老衰、9/4(日)7：39 老衰

11/17(木)22：10 脳梗塞、12/26(木)18：58 老衰

### (3)機能訓練サービス

委託契約の理学療法士がリハビリテーション計画書を作成し、事業所職員が計画書を

基に機能訓練を提供する。

4月2回、5月2回、6月2回、7月2回、8月2回、9月2回

10月2回、11月2回、12月2回、1月2回、2月2回、3月2回

(4)相談支援サービス

入居者又はそのご家族様からの必要な相談に応じる。

(5)食事サービス ※一部外注

季節毎にメニューを工夫しています。他に敬老のお祝い膳などを提供しています。

嚥下障害に配慮し、個人別にトロミ具合を変えて提供しています。

朝食昼食…三沢老人ホーム管理栄養士が献立作成と食材発注し、職員が調理し提供

夕食…調理済み食材を業者から購入し、職員が加熱し提供

(6)年間行事

月	主な行事（人数）	施設計画「行事以外の事業所の計画」
4	20 百歳誕生会（10）	
5	12 お楽しみ会（18）	23 開設記念日
6		21 総合訓練
7	7七夕行事（20）	23～27 お仕事説明会（3日間）
8	13 盆供養（20）	
9	22 敬老会（20）	
10	20 お楽しみ会（20）	
11	6 お楽しみ会（20）	
12	25 クリスマス会（20）	13 福祉避難所受入れ訓練
1	15 初笑い、小正月行事（20）	
2	3 節分（20）	
3	3 ひな祭り（20）	

(7)その他運営管理：会議

名称	頻度	開催月日
職員会議	毎月	4/25、5/30、6/27、7/25、8/29、9/26、10/28 11/28、12/26、1/30、2/27、3/27
部門会議	毎月	4/14、5/16、6/16、7/14、8/18、9/16、10/17 11/15、12/16、1/16、2/16、3/17
ユニット会議	随時	5/10、6/11、7/9、8/28、9/10、10/9、10/15 11/28、12/9、1/1、1/18、2/23、2/26、3/29
サービス担当者会議	随時	4/1、4/13、5/30、6/1、6/6、6/10、6/28 8/1、9/7、9/8、9/21、10/26、10/28、11/10 11/16、11/25、12/27、12/28、12/29、1/6

		1/9、1/11、1/12、1/27、2/17、2/20、3/1 3/27
委員会（事業所）	3カ月ごと	5/30、5/26、6/13、6/27、7/26、8/29、10/20 10/25、12/21、12/26、2/27、3/27、3/31
入所検討委員会	3カ月ごと	6/20、9/12、12/12、2/16
運営推進会議	2か月ごと	5/16、7/12、9/13、11/15、3/17
地域ケア会議	不定期	4/20

## 7【地域貢献活動】

- ・防災訓練…地域住民と連携した訓練は未実施
- ・福祉避難所受入れ訓練…地域住民と連携した訓練は未実施
- ・ボランティアの受入れ（通年）…受入れなし
- ・クリーン作戦（年2回）…不参加

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

・配置人員

管理者1名、介護支援専門員1名、生活相談員1名、介護職員11名、調理職員1名  
看護職員1名、ケアアシスタント1名、技能実習生1名、事務職員1名

・保有資格

介護福祉士10名、主事2名、介護支援専門員1名、看護師1名、ヘルパー2級1名  
実務者研修1名

(2)有休の取得（常勤13人、パート5人）：1,246.5時間 うち連続有給3日取得者2人

(3)職場環境保持（人権の尊重）

- ・ハラスメント防止研修（年一回）…デスクネッツ(グループウェア)で周知
- ・人権研修（年一回）…デスクネッツ(グループウェア)で周知

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修（下表年間計画に記載）

- ・高齢者虐待防止…6/13、12/26、3/27 不適切なケアをなくすことの追求（年一回以上）
- ・感染予防…5/30、7/26 業務継続に向けた実践力の強化（年一回以上）
- ・リスクマネジメント…5/30 業務継続に向けた実践力の強化（年一回）
- ・事故防止…5/26 ヒヤリハット活動と原因の深掘り（年一回）
- ・喀痰吸引等安全…3/31 医療行為の知識と安全性の確保（年一回）
- ・褥瘡予防…10/20 予防の知識と実践力の強化（年一回）

(2)人材育成の取り組み

- ・教育訓練計画表に基づき毎月実施（下表年間計画に記載）
- ・外部研修への参加（下表年間計画に記載）
- ・資格取得のサポート…対象者なし
- ・無資格未経験者への教育訓練…個別教育訓練計画表1名（全10課程）

(3)《研修年間》

内部研修（人数）	外部研修（人数）
5/30 感染症対策（7）	7/11 青森県老人福祉協会表彰式（2）
6/27 高齢者虐待防止（8）	7/28 青森県災害福祉支援チーム員登録時 研修（1）
8/29 事故防止（4）	9/9 外国人介護職員指導担当者研修（1）
10/12 介護過程の展開（6）	10/19 メンター育成研修（1）
10/12 看取りケア（6）	12/5 社会福祉法人経営塾（1）
10/25 褥瘡対策（5）	12/1 アセッサー講習（1）
11/28 感染症対策（6）	1/19 技能実習責任者講習（1）
12/26 高齢者虐待防止（6）	1/31 技能実習生活指導員講習（1）
2/27 リスクマネジメント（7）	1/30 介護福祉士実習指導者講習会（1）
2/27 事故防止（7）	2/13 福祉人材確保支援セミナー（1）
3/24 認知症ケア（6）	2/15 ノーリフティング実践報告会（2）
3/27 高齢者虐待防止（6）	2/17 高齢者虐待を未然に防ぐ研修会（1）
3/31 喀痰吸引（8）	3/21 新型コロナウイルス感染症対応看護 マネジメント研修会（1）
	3/30 認知症ケア評価方法を学び、現場での OJTに活かすための講習会（1）

# 松原コラボケアセンター 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設の種類：指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所

開設日：平成23年5月 松原コラボケアセンター開設

住所：青森県三沢市松原町1丁目31-3704

連絡先：0176-53-3783

松原拠点長：吉田 薫明

センター長：吉田 薫明（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

私達は地域の要介護高齢者へ、通いサービス・宿泊サービス・訪問サービス・レクリエーション・機能訓練・その他必要なサービス（訪問看護、福祉用具）を提供し、自宅での暮らしを成り立たせるために、必要なことは何かを見極め、あなたらしい暮らしを考えていきます。

## 2 【重点目標】

### (1)機能訓練の充実を図る

・バーセルインデックス(ADL スケール)の導入をした。理学療法士の作成したメニューを各サービス担当で毎月モニタリングし評価することの定着を図れた。

### (2) リスクマネジメントのPDCAを再検討する

・インシデントとアクシデントを記録する様式を開発し活用することで、法人のリスクマネジメント規定と整合した。また原因の深掘りをする訓練をし解決力アップに繋がった。

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	59,439,040	67,966,276	61,201,279.00
経費合計	17,831,374	19,086,495	18,965,985.00
差引収益	41,607,666	48,879,781	42,235,294.00
総時間	20,837.00	24,341.33	22,215.00
時間当り	1,996.80	2,008.10	1,901.20

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別

- ・介護保険法：指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所
- ・老人福祉法：5条に基づく

(2)職員種別及び職員数 職員総数12名

- ・職員種別詳細については『8【職場の環境】』をご参照ください。

(3)登録定員：25人（通いサービス定員15人、宿泊サービス定員5人）

(4)利用対象者：要介護の認定を受けた方で、事業者と同一の市町村に住んでいる方

(5) サービス提供地域：三沢市

(6) サービス提供時間：営業日／年中無休 日中時間帯／7時00分～20時00分

通い8時30分～18時／訪問8時30分～18時／宿泊18時～8時30分

※緊急時ならびに必要時においては柔軟に、通い、訪問および宿泊サービスを提供します。

(7)施設環境

宿泊室 11.96㎡、12.12㎡、7.44㎡ 食堂兼機能訓練室 45.3㎡、浴室 23.30㎡

(8)訪問・送迎車両：車椅子昇降リフト付き1台、助手席リフトアップ、車椅子収納装置付き1台、車椅子スローパー付き1台、軽自動車1台

#### 5【お客様の現況】（令和5年3月31日現在）

(1)利用者年齢：平均87.2歳

60～69歳0人、70～79歳4人、80～89歳9人、90～99歳8人、100歳～0人

(2)利用者住地：三沢市

(3)要介護区分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
0人	3人	5人	4人	2人	4人	1人	2.2

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

食費：朝410円、昼550円、夕490円 ※食事お届けサービスは一食の費用に+30円

宿泊費：一泊2,000円

～40,000	～60,000	～80,000	～100,000	120,000	～140,000
10人	5人	2人	0人	1人	1人

(5)年度の終結 終結総人数7人

内訳：施設入居0人、死亡0人、住み替え1人、入院6人

(6)新規利用者3人



## 6【主なサービスメニュー】

(1)小規模多機能利用状況／人 上段：通い、中段：宿泊、下段：訪問 営業日 365 日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通所(延)	293	294	299	317	323	350	330	290	253	231	248	269	291
通所(人)	9.8	9.5	10.0	10.2	10.4	11.7	10.6	9.6	8.2	7.5	8.9	8.7	9.6
宿泊(延)	89	91	85	117	109	113	124	76	90	66	104	71	95
宿泊(人)	3.0	2.9	2.8	3.8	3.5	3.8	4.0	2.5	2.9	2.1	3.7	2.3	3.1
訪問(延)	335	361	369	370	448	464	466	438	441	336	360	388	398
訪問(人)	11.1	11.6	12.3	11.9	14.5	15.5	15.0	14.6	14.2	10.8	12.9	12.5	13.1

(2)居宅サービス計画及び小規模多機能型居宅介護サービス計画

- ・居宅サービス計画書…6カ月ごとに見直し、モニタリング6カ月ごとに評価、サービス担当者会議6カ月ごとに開催

4月3件、5月4件、6月5件、7月3件、8月5件、9月3件

10月2件、11月2件、12月4件、1月5件、2月5件、3月1件

- ・小規模多機能型居宅介護計画書…6カ月ごとに見直し、モニタリング毎月評価、サービス担当者会議6カ月ごとに開催

4月3件、5月4件、6月5件、7月3件、8月5件、9月3件

10月2件、11月2件、12月4件、1月5件、2月5件、3月1件

(3)医療・看護サービス

- ・会員の健康管理、主治医及び薬剤師及び訪問看護との医療連携、服薬管理に従事
- ・基礎疾患（重複あり）

アルツハイマー病7人、糖尿病5人、発作性心房細動2人、前立腺癌2人

前立腺肥大1人、関節リウマチ1人、陳旧性ラクナ梗塞1人、くも膜下出血1人

甲状腺機能亢進症1人、洞不全症候群1人、バセドウ病1人、心房細動1人

大動脈弁狭窄症1人、脳底動脈狭窄1人、水頭症1人、頸椎症1人、心不全1人

小脳梗塞1人、脳器質性精神病1人

(4)機能訓練サービス

委託契約の理学療法士がリハビリテーション計画書を作成し、事業所職員が計画書を基に機能訓練を提供

4月2回、5月2回、6月2回、7月2回、8月2回、9月2回

10月2回、11月2回、12月2回、1月2回、2月2回、3月2回

(5)食事サービス ※一部外注

季節毎にメニューを工夫しています。他に敬老のお祝い膳などを提供しています。

嚥下障害に配慮し、個人別にトロミ具合を変えて提供。

朝食昼食…三沢老人ホーム管理栄養士が献立作成と食材発注し、職員が調理し提供

夕食…調理済み食材を業者から購入し、職員が加熱し提供。

(6)年間行事※毎月…季節湯・誕生日会

月	主な行事（人数）	施設計画「行事以外の事業所の計画」
4	26 お花見会（10）	
5	10 開設記念ケーキバイキング（9）	10 開設記念日
6	9 父の日（12）	21 総合訓練
7	15 七夕会（12）	23～27 お仕事説明会（3日間）
8	24 夏祭り（13）	
9	21 敬老会（15）	
10	25 お楽しみ会（11）	
	31 ハロウィン（12）	
12	8 クリスマス会（9）	13 福祉避難所受入れ訓練
1	18 小正月（11）	
2	3 節分（10）	
2	15 干し餅作り（10）	
3	7 お雛様（8）	

(7)その他運営管理：会議

名称	頻度	開催月日
職員会議	毎月	4/25、5/30、6/27、7/25、8/29、9/26、10/28 11/28、12/26、1/30、2/27、3/27
部門会議	毎月	4/20、5/17、6/14、7/12、8/17、9/13、10/18 11/16、12/19、1/17、2/14、3/14
サービス担当者会議	随時	4/1、4/5、4/26、5/2、5/18、5/20、5/30、6/1 6/20、6/28、7/21、7/26、7/30、8/1、8/31、9/14 9/30、10/24、10/28、11/18、11/21、12/1、12/2 12/27、1/5、1/24、1/26、1/31、2/1、2/8、2/22 2/27、3/27
委員会（事業所）	3カ月ごと	5/30、5/26、6/13、6/27、7/26、8/29、10/20 10/25、12/21、12/26、2/27、3/27、3/31
運営推進会議	2か月ごと	5/16、7/12、9/13、11/15、3/17
地域ケア会議	不定期	4/20

## 7【地域貢献活動】

### ※新型コロナウイルス感染拡大予防のため実施できず

- ・防災訓練…地域住民と連携した訓練⇒未実施
- ・福祉避難所受入れ訓練…地域住民と連携した訓練⇒未実施
- ・ボランティアの受入れ⇒なし
- ・クリーン作戦（年2回）⇒不参加

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員：管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員9名、看護職員（機能訓練兼務）1名、事務員1名、調理職員1名、技能実習生1名
- ・資格保有者：介護福祉士6名、主事1名、社会福祉士1名、介護支援専門員1名、准看護師1名、ヘルパー2級1名

(2)有休の取得（常勤10人、パート2人）：1,001.0時間うち連続有給3日取得3人

(3)職場環境保持（人権の尊重）

- ・ハラスメント防止研修（年一回）…デスクネッツ(グループウェア)で周知
- ・人権研修（年一回）…デスクネッツ(グループウェア)で周知

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修（下表年間計画に記載）

- ・高齢者虐待防止…6/13、12/26、3/27 不適切なケアをなくすことの追求（年一回以上）
- ・感染予防…5/30、7/26 業務継続に向けた実践力の強化（年一回以上）
- ・リスクマネジメント…5/30 業務継続に向けた実践力の強化（年一回）
- ・事故防止…5/26 ヒヤリハット活動と原因の深掘り（年一回）
- ・喀痰吸引等安全…3/31 医療行為の知識と安全性の確保（年一回）
- ・褥瘡予防…10/20 予防の知識と実践力の強化（年一回）

(2)人材育成の取り組み

- ・教育訓練計画表に基づき毎月実施（下表年間計画に記載）
- ・外部研修への参加（下表年間計画に記載）
- ・資格取得のサポート…社会福祉主事任用資格取得のための勤務調整
- ・無資格未経験者への教育訓練…対象者なし

(3)《研修年間》

内部研修（人数）	外部研修（人数）
5/30 感染症対策（7）	7/13 認知症実践者研修（1）
6/27 高齢者虐待防止（3）	9/9 外国人介護職員指導担当者研修（1）
7/19 食中毒、ノロウイルス対策（5）	11/2 青森県社会福祉大会（1）

8/29 事故防止 (3)	12/18 介護職種の技能実習指導員講習 (1)
10/25 褥瘡について (5)	1/24 社会福祉法人会計実務セミナー (1)
11/28 感染症対策 (4)	3/21 新型コロナウイルス感染症対応看護 マネジメント研修会 (1)
12/25 緊急時対応 (3)	
2/27 リスクマネジメント (2)	
3/31 痰吸引研修 (3)	
3/27 高齢者虐待防止 (3)	

## シニアライフ大津 2022年度 事業報告

### ○事業所基本情報

施設の種別：サービス付き高齢者住宅（混合型特定施設入居者生活介護施設）

開設日：平成24年10月 シニアライフ大津開設

平成30年 6月 指定特定施設入居者生活介護の取得

住所：三沢市大津二丁目12-374

連絡先：0176-58-5057

大津拠点長：一戸 大蔵

施設長：一戸 大蔵（事業報告主担当）

### 1 【基本方針】

- ・お客様1人1人がその人らしく、自立した生活が出来るよう支援する。
- ・ご家族や地域との関りを大切に、行事や防災などを通し地域交流・連携を図る。
- ・働きやすい職場環境と専門職育成の為に仕組み作りに努める。
- ・持続可能な施設運営の一環として、エネルギー使用量の削減と効率化を図る。

### 2 【重点目標】

- (1) 【経営管理】・MP(以下3に記載) 経費・差引収益・時間当たり未達。
- (2) 【顧客満足】・サービス全般の顧客満足度調査実施し結果、前年度と変化無く未達。
- (3) 【職員満足】・ストレスチェック(10%以上)及び労災(1件発生)にて未達。
- (4) 【人材育成】・内部・外部研修計画は実施。有資格者も1名増。ほぼ達成。
- (5) 【リスクマネジメント・諸活動】・リスク活動、防災訓練実施。子供宅食参加。達成。

### 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果(実績値)
総サービス提供高	161,347,644	161,881,700	164,216,527
経費合計	78,734,824	80,519,487	84,619,001
差引収益	82,612,820	81,362,220	79,597,526
総時間	41,952.05	42,152.56	42,054.00
時間当たり	1,969.20	1,930.20	1,892.80

#### 4【本施設の概要】

(1)施設（事業所）サービス種別

- ・介護保険法：混合型特定施設入居者生活介護施設
- ・老人福祉法：該当しないが、老人福祉法規制の対象施設

(2)職員種別及び職員数 職員総数 25 名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)定員：40 名

(4)入居対象者：要支援・要介護認定を受けている方

(5)入居対象地域：定めなし

(6)営業日；年中無休 24 時間、日中稼働時間：6：00～21：00（夜間も常駐）

(7)施設設備：全室個室 1 室あたり 19.87 m<sup>2</sup> 全 40 室（全室トイレ・洗面台付）、食堂  
北棟・南棟各 90.81 m<sup>2</sup>、訓練室 79.49 m<sup>2</sup>、談話室 44.71 m<sup>2</sup>、  
食堂・機能訓練室 81.81 m<sup>2</sup>／事務所・休憩室 10.9 m<sup>2</sup>／健康管理室 12.7 m<sup>2</sup>

(8)車輛：2 台（病院受診等）

#### 5【お客様のご利用現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

(1)入居年齢：60 代 2 人 70 代 6 人 80 代 15 人 90 代 16 人 100 歳代 1 人 平均 86.8 才

(2)入居者居住地：三沢市、東北町、六ヶ所村、六戸町

(3)要介護区分

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
0 名	1 名	6 名	12 名	6 名	12 名	3 名	2.78

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

～100,000	～120,000	～140,000	～160,000	～180,000	～200,000	220,000～
0 名	5 名	2 名	30 名	1 名	2 名	0 名

(5)年度の終結 終結総人数 11 人

内訳：死亡 6 人、住み替え 2 人、入院 2 人、自宅帰宅 1 人

(6)入所 定員 40 名 営業日/毎日 月次平均在員数(人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
36.5	38.5	38.6	38.1	36.7	38.8	38.5	37.8	38.2	37.4	38.8	40.0	38.1

(7)新規利用者 13 人

#### 6【主なサービスメニュー】

(1)介護サービス

- ・介護計画(ケアプラン)に沿った、食事や入浴、排せつ支援等の実施。

介護サービス計画は、6 ヶ月に 1 回以上は見直しを行う。介護サービス計画のモニタリングは 3 ヶ月に 1 回以上、ケアプラン評価を 6 ヶ月毎に 1 回以上行う。以下実績参照。(件)

項目\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
モニタリング	15	15	12	16	9	11	18	10	13	19	12	12
ケアプラン評価	10	6	11	7	7	4	13	6	13	9	9	4
担当者会議	10	6	11	7	7	4	13	6	13	9	9	4

・主な活動について(実績)

日課(毎日各1回実施)：ラジオ体操 口腔体操 歩け歩け体操

アクティビティ：お好み会(7回) 誕生会(毎月) セブンイレブン訪問販売(月2回)

出前ランチ(3回) 制作活動(時季により実施) 外出支援(個別希望時)

大行事：敬老会 クリスマス会 ミニ運動会等

(2)医療・看護サービス

・医療サービス

入所者の主治医と医療連携し、サービスの提供中にお客様の病状等が急変、またはその他緊急事態が生じた時は、速やかに主治医又は協力医療機関(三沢市立三沢病院、得居泌尿器科医院、第二黒田歯科診療所)に連絡、搬送、往診対応を行う。以下3月時点主治医一覧。

岡三沢診療所	14名	あおぞらクリニック	2名
三沢市立病院	9名	ひぐちクリニック	1名
鳴海外科医院	3名	おいらせ町立病院	1名
あいざわクリニック	3名	すずきクリニック	1名
まつぞのクリニック	3名	三沢中央病院	1名
みさわクリニック	2名		

往診日：岡三沢診療所 毎月1回木曜日 往診日：三沢市立病院 毎月1回金曜日

往診日：鳴海外科医院 毎月1回土曜日

・看護サービス

ケアプランに沿った、健康管理支援の実施。

状態変化時には昼夜問わず都度、医師に連絡し指示を受ける体制。家族の希望を医療側に伝え必要に応じた処置検討を促す。各医院への紹介状依頼、緊急搬送後の情報提供、終末期や指示判断等を受ける。以下、ドクター指示の看護処置状況一覧。

吸引	6名	吸入	1名
敵便	6名	在宅酸素	3名
経管栄養	1名	血糖チェック	1名
褥瘡処置(軽度含む)	7名	インスリン注射	1名

入居者の主な疾患

脳梗塞	9名	脳出血	4名
心疾患	10名	パーキンソン病	1名
糖尿病	9名	高血圧	26名

・劇薬など薬の管理について

自己管理の薬以外は全て医務室内で管理。

・看取り

前年度複数名の看取りを実施。本年度も精神面のケアを中心にした看取りを実施。

看取り総数 1名

(3)機能訓練サービス

看護師(機能訓練指導員)により実施。

平行棒内歩行9名 廊下歩行8名 立ち上がり訓練9名 筋力訓練33名

(4)相談支援サービス

入居者又はそのご家族様からの必要な相談に応じる。

令和4年度 相談総数：37件 入所申し込み総数：27件

項目\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居相談	2件	2件	5件	2件	1件	0件	6件	3件	1件	9件	5件	1件
入居申込み	1件	0件	2件	4件	0件	0件	1件	5件	2件	3件	4件	5件

(5)食事サービス

食事サービス全般、日清医療食品様へ委託契約している。栄養士により管理された食事をお客様の状態に合わせて提供。楽しみとして、月1回の行事食の提供あり。

食事サービス会議を毎月開催し、食事に対する要望や改善点を日清医療食品様と共有、解決し、食事サービスの満足度向上に努めている。

令和3年3月末時点 食事形態

常食20名 一口大食8名 刻み食10名 ミキサー食2名

(6)年間行事

月	主な行事	施設計画（行事以外の事業所の計画）
4	花見散策 中止	
5	ドライブ散策 5/19 25 30 参加9名 お好み会 5/21 参加18名	5/30 事故防止委員 5/18 感染対策委員会
6	お好み会 6/12 29 全員参加	6/8 身体拘束廃止委員会 6/29 感染対策委員会



7	お好み会	7/25	参加 20 名	7/27 感染対策委員会
8	地域交流祭		中止	8/31 運営懇談会 8/30 感染対策委員会
9	お好み会	9/15	参加 18 名	9/26 身体拘束廃止委員会
	敬老会	9/21	全員参加	
10	出前ランチ	10/14	参加 13 名	10/26 総合防災訓練 10/5 事故防止委員会 10/5 感染対策委員会
	紅葉散策	10/24 26 28	参加 9 名	
	お好み会	10/31	参加 18 名	
12	出前ランチ	12/15	参加 14 名	
	お好み会	12/25	参加 18 名	
12	クリスマス会	12/21	全員参加	12/7 身体拘束廃止委員会 12/21 事故防止委員会
1	新年を祝う会		中止	1/11 事故防止委員会
2	お好み会	2/10	参加 18 名	2/28 運営懇談会 2/8 感染対策委員会 2/8 事故防止委員会 2/8 業務改善委員会
	ミニレク大会	2/15	全員参加	
	出前ランチ	2/28	参加者 19 名	
3	ひな祭りお好み会	3/8 9	全員参加	3/8 身体拘束廃止委員会 3/29 業務改善委員会

(7)その他運営管理：会議

名称	頻度(月日)	構成
職員会議	毎月	全職員
経営会議	毎月	介護 L 看護 L CM 事務員 施設長
介護会議	毎月	介護職員 看護師
医務会議	毎月	看護師 介護 L CM 施設長
給食会議	毎月	介護職員 CM 事務員 施設長

## 7【地域貢献活動】

- ・町内クリーン作戦(ゴミ拾い等)の実施(未実施)
- ・子ども宅食及び人生食堂へ各3回(各1名)参加
- ・総合防災訓練年2回実施(9/28、10/26)40名参加
- ・地域交流祭の開催(コロナ過により中止)

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員  
 管理者1名、生活相談員1名、介護支援専門員1名、看護職員(機能訓練兼務)3名、  
 介護職員17名(特定技能実習1名・技能実習1名)、事務職員1名、ハウスキーパー2名
- ・保有資格(業務に係る主たる資格)  
 介護福祉士15名、介護支援専門員1名、社会福祉主事1名、看護師1名、准看護師2名

(2)有休の取得(常勤 21 人 パート 5 人)：1,897.5 時間 うち連続有給 3 日取得者 2 人

(3)職場環境保持 (人権の尊重)

- ・高齢者虐待防止研修 年 2 回開催

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修

- ・高齢者虐待防止、身体拘束廃止、防災訓練、緊急時の対応、感染症予防、認知症ケア  
(下記年間計画に研修の予定を記載)

(2)人材育成の取り組み

- ・スキルアップ研修(ノーリフティング、体位変換等)
- ・外国人技能実習生、特定技能実習生・介護初級試験・日本語 N3 合格への学習サポート
- ・無資格者認知症研修 他

(3)《研修年間》

内部研修	月日	人数	外部研修	人数
リスクマネジメント	4/5	6 名	ノーリフティングケア	2 名
介護技術研修	5/18	7 名	心の免疫力を高める	1 名
接遇マナー	6/22	7 名	外国人技能実習指導者研修	1 名
身体拘束廃止	6/8	12 名	外国人技能実習責任者研修	1 名
	9/26	19 名	外国人技能実習生活相談員研修	1 名
防災マニュアル・避難訓練	9/28	6 名		
	10/26	6 名		
認知症ケア	10/19	4 名		
感染予防対策	11/16	6 名		
ノーリフティング	11/17	7 名		
緊急時対応	1/25	5 名		
高齢者虐待防止	2/22	7 名		

# 障害者トライアルセンターボイス（堀口多機能型）

## 2022年度 事業報告

### ○事業所基本情報

施設の種類：多機能型（就労継続支援 A 型・就労継続支援 B 型・生活介護）

開設日：平成 25 年 4 月 就労継続支援 B 型 開設

平成 26 年 9 月 生活介護 開設

平成 27 年 4 月 就労継続支援 A 型 開設

住所：三沢市大字三沢字堀口 164-1

連絡先：0176-58-5660

堀口障害拠点長：吉田 博之

施設長補佐：小笠原 麻衣子（事業報告主担当）

### 1 【基本方針】

- ・多機能型事業所のサービス内容の見直し・再編を検討、黒字化を図ります。
- ・多様なニーズに対応できるよう、働く場の開拓や日中活動の見直しを行います。また、職員の専門性の向上やスキルアップを目指せる環境を整えていきます。

### 2 【重点目標】

- ・サービス内容の見直しをしつつ、稼働率 80%以上を目指す  
A 型 75%→53%、B 型 126.5%→106%、生活 91%→65%  
※サービス内容の見直しを実施、就労移行支援は 2023 年 6 月末をもって休止予定
- ・外部研修への参加、内部研修の実施、資格取得研修の受講  
※9 【研修・人材育成】(3)研修年間を参照下さい。

### 3 【本事業所の経営の目標値】

≪就労継続支援 A 型≫

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	16,214,634	18,490,149	16,210,785
経費合計	17,130,788	18,314,544	17,844,757
差引収益	-916,154	175,605	-1,633,972
総時間	13,817.00	17,410.00	12,965.00
時間当り	-66.30	10.10	-126.00

《就労継続支援 B 型》

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	55,629,872	61,312,628	54,596,797.00
経費合計	22,797,895	22,779,430	23,826,380.00
差引収益	32,831,977	38,533,198	30,770,417.00
総時間	18,506.00	19,658.00	19,048.00
時間当り	1,774.10	1,960.20	1,615.50

《生活介護》

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	17,706,270	21,030,176	15,238,795.00
経費合計	7,038,410	7,289,415	6,873,900.00
差引収益	10,667,860	13,740,761	8,364,895.00
総時間	7,832.00	9,812.50	7,543.00
時間当り	1,362.10	1,400.30	1,108.90

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)施設（事業所）サービス種別

障害者総合支援法：第 5 条に基づく障害福祉サービス

就労継続支援 A 型（第 14 項）

企業等での就職は困難であっても、適切な支援により雇用契約に基づく就労が可能な方を対象に、就労の機会の提供、一般就労に必要な訓練等の支援を行います。

就労継続支援 B 型（第 14 項）

企業等での就労が困難な方を対象に、就労の機会を提供し、継続して働けるよう支援します。また、生産活動に参加し行った作業の対価として、工賃をお支払します。

生活介護（第 7 項）

常時介護を必要とする方に対し、主に昼間において、入浴・排せつ・食事等の介護や日常生活等に関する支援を行います。その他、創作的活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行います。

就労定着支援（第 15 項）

(2)職員種別及び職員数 職員総数 28 名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)定員：就労継続支援 A 型 10 名／就労継続支援 B 型 20 名／生活介護 10 名

(4)利用対象者：実施地域内の知的・身体・精神・発達障害者・その他難病等

(5)利用可能地域：三沢市、上北郡（おいらせ町、東北町、六戸町）

(6)営業日

就労継続支援 A 型：月・火・木・金・土曜日（ただし年末年始の休業日を除く）

就労継続支援 B 型：月曜～金曜日（ただし土、日、祝祭日、年末年始の休業日を除く）

生活介護：月曜～金曜日（ただし土、日、祝祭日、年末年始の休業日を除く）

(7)施設環境 食堂㎡、浴室㎡、自習室㎡、創作室㎡、機能訓練室㎡など

＜就労継続支援 A 型＞

設備の種類	室数	面積等			
			バックヤード室	1	6.00 m <sup>2</sup>
カフェホール	1	72.00 m <sup>2</sup>	倉庫	1	5.00 m <sup>2</sup>
ステージ	1	25.00 m <sup>2</sup>	休憩室・更衣室	1	9.90 m <sup>2</sup>
調理室	1	34.00 m <sup>2</sup>	トイレ（男女別）	1	10.00 m <sup>2</sup>

＜就労継続支援 B 型＞

	部屋数	備 考		部屋数	備 考
訓練室	1 室	30.00 m <sup>2</sup>	休憩室	2 室	各室 10.00 m <sup>2</sup>
作業室	1 室	34.20 m <sup>2</sup>	浴室	1 室	7.50 m <sup>2</sup>
介護室	1 室	40.00 m <sup>2</sup>	洗面所	1 箇所	6.00 m <sup>2</sup>
相談室	1 室	8.00 m <sup>2</sup>	便 所	5 箇所	男子 2 箇所、女子 2 箇所、多目的 1 箇所

＜生活介護＞

名 称	部屋数	備 考	名 称	部屋数	備 考
訓練室	1 室	30.00 m <sup>2</sup>	休憩室	2 室	各室 10.00 m <sup>2</sup>
作業室	1 室	34.20 m <sup>2</sup>	浴室	1 室	7.50 m <sup>2</sup>
介護室	1 室	40.00 m <sup>2</sup>	洗面所	1 箇所	6.00 m <sup>2</sup>
相談室	1 室	8.00 m <sup>2</sup>	便所	5 箇所	男子 2 箇所、女子 2 箇所、多目的 1 箇所

(8)送迎：就労継続支援 A 型：1 台／就労継続支援 B 型：5 台／生活介護：2 台

5 【お客様の現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

(1)利用者年齢（単位：名）

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	平均
A 型	0	3	1	1	1	1	34.2
B 型	1	16	8	1	5	6	32.9
生活	1	1	3	0	2	4	41.8

(2)利用者居住地：三沢市、おいらせ町、六戸町、東北町

(3)障害者認定区分など

《就労継続支援A型》：手帳あり 7名 手帳無し 7名 (単位：名)

手帳	名数	A	B	1級	2級	3級	4級	5級	6級
愛護	2	0	2						
精神	2			0	0	2			
身体	3			2	1	0	0	0	0
合計	7								

《就労継続支援B型》：手帳あり 33名 手帳無し 5名 (単位：名)

手帳	名数	A	B	1級	2級	3級	4級	5級	6級
愛護	20	1	19						
精神	11			2	7	2			
身体	2			0	1	0	1	0	0
合計	33								

《生活介護》：手帳あり 9名 手帳無し 2名 (単位：名)

手帳	名数	A	B	1級	2級	3級	4級	5級	6級
愛護	5	2	3						
精神	1			0	1	0			
身体	3			2	1	0	0	0	0
合計	9								

手帳	名数	障害支援区分						
		未申請	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
愛護	5	0	0	0	1	2	1	1
精神	1	0	0	0	0	0	1	0
身体	3	0	0	1	0	0	0	2
難病	0	0	0	0	0	0	0	0
なし	2	0	0	1	0	0	1	0
合計	11	0	0	2	1	2	3	3

(4)お客様の利用料徴収区分 当年1月分

8,000～10,000円 2名、10,000～30,000円 1名、その他実費 400×お弁当利用日数

(5)年度の終結 終結総人数 10人

内訳：就職 1人、サービス変更 3人、転居 1人、体調不良 2人、死亡 1人、  
入院 1人、その他 1人

(6)新規利用者 11人

(7)通所利用状況/人

※営業日 A型：月・火・木・金・土（水・日休業）、B型・生活：月～金（土日祝休業）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1	2	3
A型	119	121	131	113	105	121	118	99	110	89	90	98
B型	462	433	509	428	368	441	430	427	409	379	405	459
生活	94	95	111	87	56	54	64	62	72	61	60	74

## 6【主なサービスメニュー】

### (1)個別支援

・6 か月ごとのモニタリング、個別支援計画の見直し (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A型	1	2	0	1	1	1	1	3	0	1	1	1
B型	9	4	4	8	7	1	8	6	3	9	7	1
生活	6	1	0	2	0	0	6	1	0	3	0	0

・個別支援会議の実施 3件、困難ケースの連携・支援会議への参加 1件、  
 養護学校卒業生の移行支援会議への参加 1件

### (2)工賃アップ

・工賃アップのための販売戦略

①スイーツ販売の拡充(新商品の開発・販売、ギフト販売、メルカリへの焼き菓子出品等)。

②広告の積極的活用(一心亭様とのコラボスイーツ・インスタでの情報発信、)。

目標値：30,797円 実績値：21,168円

### (3)年間行事

	主な行事	施設計画(行事以外の事業所の計画)
6月		堀口拠点避難訓練
8月		
9月	創作・外出行事 4名参加	ソーシャルワーク実習受入れ1名
11月		堀口拠点避難訓練 ソーシャルワーク実習受入れ1名
12月	望年会 26名参加	
備考	毎月：行事食、誕生日会(生活)	

### (4)その他運営管理：会議

名称	頻度(月日)	構成
職員会議	毎月	全職員
A型職員ミーティング	毎月	A型職員
障害者支援協議会(三沢市)	年間計画	担当者

## 7【地域貢献活動】

- ・子ども宅食への協力（年2回）／・地域の清掃活動（年2回）

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・職員配置：

＜就労継続支援A型＞

管理者（兼務）1名、サービス管理責任者（兼務）1名、生活支援員（兼務）1名、職業指導員1名、賃金向上達成指導員（兼務2）2名、A型職員7名

＜生活介護＞

管理者(兼務)1名、サービス管理責任者(兼務)1名、生活支援員（兼務1）4名、看護職員1名

＜就労継続支援B型＞

管理者（兼務）1名、サービス管理責任者（兼務）1名、生活支援員（兼務）1名、目標工賃達成指導員1名、職業指導員（兼務2）9名

- ・保有資格:＜就労継続支援A型＞准看護師1人 ＜就労継続支援B型＞介護福祉士2人、主事2人、社会福祉士2人、精神保健福祉士1人 ＜生活介護＞介護福祉士2人、准看護師1人

(2)有休の取得（常勤17人、パート11名）

就労継続支援A型：741時間、就労継続支援B型：1,218時間、生活介護：660時間取得  
連続有給3日以上取得者：1名

(3)職場環境保持：人権の尊重

ハラスメント防止、人権についての研修実施（年1回）

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修 ※(3)研修年間参照下さい。

- ・障害者虐待防止・権利擁護、身体拘束等の適正化（3回実施）

対策を検討する委員会の定期開催、検討内容の周知、研修の実施

（虐待防止、人権の擁護、虐待の防止等のための基礎知識、障害特性に応じた支援、職業倫理、虐待防止のセルフチェックの実施等）

- ・感染症等の予防及び災害発生時の業務継続に向けた計画等

業務継続計画の周知、研修及び訓練の実施（1回実施）

（業務継続計画の具体的内容の共有、平常時・緊急時の対応、役割分担、発生時の支援についての確認等）

(2)人材育成の取り組み

- ・内部研修の実施／外部研修への参加、伝達研修 ※(3)研修年間参照下さい。



(3) 《研修年間》

内部研修		外部研修
4月	感染予防	熱中症予防教育講習会：1名
6月	虐待防止・権利擁護① 防災訓練①	防災士養成講習：1名 相談支援従事者初任者研修：1名
8月	個別支援①	障害者虐待防止・権利擁護研修：1名
9月	防災訓練②	職場適応援助者養成研修修了者サポート研修：1名
12月	虐待防止・権利擁護②	安全運転管理者等講習：1名
2月	個別支援②（伝達研修）	
3月	虐待防止・権利擁護③	

# 「療育・障害者相談センターボイス」2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設の種類：指定特定相談支援事業／障害児相談支援事業／指定一般支援事業

開設日：2013年4月1日

住所：青森県三沢市大字三沢字堀口164-1

連絡先：0176-53-2241

堀口障害拠点長：吉田 博之

事業報告主担当：吉田 博之

## 1 【基本方針】

障害のある人、障害の児童に対して相談支援を行いながら広域・専門的な支援や人材育成を強化し市町村と共に支える。

## 2 【重点目標】

相談件数の拡大、専門的知識の習得。

- ・相談件数 431件目標の500件には至っていません。
- ・精神保健福祉士の資格者 1名合格、各研修会への参加を行っている。

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	45,738,446	49,345,282	48,028,047
経費合計	10,688,699	11,231,981	11,401,044
差引収益	35,049,777	38,113,301	36,627,003
総時間	14,146.00	16,149.80	15,850.00
時間当り	2,477.70	2,360.00	2,310.90

## 【本施設（事業所）の概要】

### (1)施設（事業所）サービス種別

- ・ 障害者総合支援法：第 5 条に基づく障害福祉サービス
- ・ 指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業・指定一般支援事業（1～23項）

### (2)職員種別及び職員数 職員総数 9 名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

### (3)定員等無し：現在 者 285 名、児 146 名：合計 431 名 利用（2023 年 3 月 31 日現在）

### (4)利用対象者：身体障害者（肢体不自由・視覚・聴覚言語・内部障害）知的障害者・精神障害者・難病等対象者

### (5)利用可能地域：三沢市、おいらせ町、六戸町

### (6)営業日：月曜日から金曜日までとなります。ただし、国民の祝日、年末年始を除く。

### (7)施設環境 事務所 25.88 m<sup>2</sup>

### (8)車輛：4 台

## 5 【お客様のご利用現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

### (1) 利用年齢：

一般

10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
12 名	57 名	7 名	39 名	44 名	44 名	14 名	2 名

児童

未就学	小 1.2	小 3.4	小 5.6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3
17 名	23 名	25 名	15 名	9 名	6 名	7 名	6 名	5 名	3 名

### (2)利用者居住地：青森県南域、岩手県

### (3)障害者認定区分

区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
133 人	0 人	26 人	19 人	22 人	16 人	44 人	260 人

児童

区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	合計
110 人	0 人	2 人	6 人	117 人

### (5)年度の終結なし

### (6)新規利用者 35 人

## 6 【主なサービスメニュー】

### (1)相談支援

- ・ 障害者、障害児の計画作成を実施。（一般相談、計画相談）500 件を目標
- ・ 三沢市、おいらせ町（認定調査）毎月 10 件～15 件を目標 年間 115 件実施

・三沢市基幹相談センター（三沢市委託）

《総合的・専門的な相談の実施、地域の相談支援体制強化の取組み、権利擁護、虐待の防止、地域移行・地域定着の促進の取組みなど行う》

現任研インターバル研修指導、三沢市障害者支援専門性向上研修会開催、新規事業所への助言指導、触法関係の事業所調整などを実施。

・三沢市地域活動支援センターボイス強化事業（三沢市・おいらせ町委託）

《障害者総合支援法にもとづき、障害のある人を対象として創作的活動・生産活動・社会との交流促進などの機会を提供する支援機関》

三沢市 80名、おいらせ町 5名

・三沢障害者地域生活コーディネート事業（三沢市委託）

《24時間緊急時相談支援業務（緊急時の電話相談に24時間365日対応）、地域生活支援コーディネート業務（障がい者の親亡き後支援、共同生活援助等の体験利用の勧奨、必要な体験の機会・場の提供及び地域移行に関する情報提供）》

44名登録 自宅訪問、緊急時電話相談、緊急時ステイ事業の実施

(2)医療・看護サービス

・三沢市医療的ケア児コーディネート事業（三沢市委託） 医療的ケア児のケース3件実施中、学校等訪問事業への調整会議参加、県主催の研修会参加、

・上十三医療的コーディネーターアドバイザー：岡部職員就任

《上十三圏域に岡部相談員が就任、医療的ケア児等に身近な各圏域における相談支援体制の整備を推進することを目的に、青森県医療的ケア児等圏域アドバイザーを5名配置しています。（青森圏域・西北五圏域1名、津軽圏域1名、八戸圏域1名、上十三圏域1名、下北圏域1名）》

(3)年間行事（地域活動支援センター）

月	主な行事	月	主な行事計画
4	お花見ドライブ 5名参加	10	調理練習会 2名参加
5	ボウリングへ行こう 3名参加	11	イオン外出 7名参加
6	イオン外出 6名参加	12	クリスマスイベント 7名参加
7	ボイスでBBQ 8名参加	1	調理練習会 1名参加
8	調理練習会 3名参加	2	イオン外出 7名参加
9	三沢市内外出行事 4名参加	3	アグリノ里、下田公園 6名参加

(4)その他運営管理：会議

名称	頻度(月日)	構成
各委員会	2ヶ月1回	拠点長、管理者、委員長
定例ケース会議	週1回	全職員 毎週水曜日開催
地活定例ケース会議	週1回	地活職員 毎週月曜日開催
相談支援会議	月1回	全職員 毎月20日前後開催

全体会議	月 1 回	相談、多機能職員全員 毎月 25 日前後開催
支援協議会（三沢市）	年間計画	相談 1 名、コーディネート事業担当者
支援協議会（おいらせ町）	年間計画	担当相談員 1 名

## 7【地域貢献活動】

地域貢献 清掃活動（年 2 回）、子ども宅食での配達支援（年 6 回参加）等

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023 年 3 月 31 日現在

・職員配置

管理者 1 名、相談支援専門員 3 名、主任相談支援専門員 1 名、相談員 3 名、事務職員 1 名

・保有資格：介護福祉士 1 名、主事 1 名、介護福祉士 3 名、精神保健福祉士、保育士 1 名

(2)有休の取得：360 時間取得 →874 時間

(3)職場環境保持：人権の尊重

・ハラスメント防止研修 年 1 回実施 人権研修 年 1 回実施

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修

・障害者虐待防止・権利擁護（年 1 回以上）

対策を検討する委員会の定期開催、検討内容の周知、研修の実施

（虐待防止、人権の擁護、虐待の防止等のための基礎知識、障害特性に応じた支援、職業倫理、虐待防止のセルフチェックの実施等）

・身体拘束等の適正化（年 1 回以上）

対策を検討する委員会の定期開催、検討内容の周知、研修の実施

（身体拘束等の適正化の基礎的知識、発生時の具体的な手続きや対応等）

・感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止（年 2 回以上）

対策を検討する委員会の定期開催、検討内容の周知、研修の実施

（感染症対策の基礎知識、衛生管理、発生時の対応、役割分担の確認等）

・感染症や災害発生時の業務継続に向けた計画等（年 1 回以上）

業務継続計画の周知、研修及び訓練の実施

（業務継続計画の具体的内容の共有、平常時・緊急時の対応、役割分担、発生時の支援についての確認等）

※上記研修の実施予定については、『（3）《研修年間計画》』をご参照ください。

(2)人材育成の取り組み

・相談支援専門員初任者研修、サービス管理責任者（児）初任者研修

・社会福祉士国家試験、精神保健福祉士国家試験、ピアサポーター研修

(3) 《研修年間》

月	内部研修	外部研修
4月	感染予防① 4/26 14名・感染症	相談支援専門員協会NSK研修
5月	BCP①	チイクラフォーラム研修会
6月	虐待防止・権利擁護・身体拘束防止	認定調査養成者研修
7月	①6/14 11名	医療的ケア児定例研修会
8月	防災訓練①6/13 12名・自然災害	各種オンライン研修への参加を検討。
9月	BCP①	
12月	個別支援計画①	
2月	感染予防②・感染症 BCP②	
3月	ハラスメント防止・人権 防災訓練②・自然災害 BCP② 虐待防止・権利擁護・身体拘束防止② 個別支援計画②	

# 障害者グループホーム「インディペンデントⅠ」

## 2022年 事業報告

### ○事業所基本情報

施設の種類：外部サービス利用型共同生活援助

開設日：2014年8月インディペンデントⅠ（本体施設5室）開設

2017年2月インディペンデントⅠ（サテライト施設2室）開設

住所：青森県三沢市大字三沢字堀口164-1（本体）

青森県三沢市堀口2丁目2-1エルシャトー(105、205号室)(サテライト)

連絡先：0176-53-2241

堀口障害拠点長：吉田 博之

事業計画主担当：吉田 博之

### 1【基本方針】

地域で共に暮らし社会性を保てる支援を行う。

### 2【重点目標】

入居率100%を維持する。

サテライト2室の稼働率を上げる。

待機者の確保。

- ・入居率はほぼ100%で維持ができた。
- ・サテライトは2室、入れ替えがあり稼働率は上がっている。
- ・待機者は現在0名となっている。（今後の課題）

### 3【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	11,131,633	11,379,529	11,523,889
経費合計	7,491,498	7,427,183	7,921,360
差引収益	3,640,135	3,952,346	3,602,529
総時間	2,545.00	2,929.41	2,927.00
時間当り	1,430.60	1,349.20	1,177.50

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)施設（事業所）サービス種別

障害者総合支援法：第5条に基づく障害福祉サービス

外部サービス利用型共同生活援助

(2)職員種別及び職員数 職員総数2名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)定員：7名

(4)利用対象者：身体、知的、精神、発達、難病等対象疾患対象者（18歳未満を除く）

(5)利用可能地域：三沢市、おいらせ町、六戸町

(6)稼働時間：管理者 8:30～17:30、世話人 6:00～19:00

(7)施設環境

- ・本体：居室（全個室）13.04㎡5室（洗面所4.86㎡、トイレ2.07㎡、）共同食堂18.22㎡
- ・サテライト：居室（全個室）26.49㎡2室（各部屋に居室、キッチン、ユニットバス）

(8)車両：受診同行、外出支援用1台

#### 5【お客様のご利用現況】（令和5年3月31日現在）

(1)ご利用年代：20代0名、40代2名、50代3名、60代1名

(2)入居者居住地：三沢市、おいらせ町

(3)障害者区分：区分なし6名、

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額（1か月分）

居室費：本体¥36,000 居住費助成-¥10,000、サテライト¥31,000 居住費助成-¥10,000

光熱水費：¥10,000～¥25,000／送迎費：¥2,000～¥3,000（受診時、買物等希望者）

食費、その他：実費負担

(5)年度の終結 終結総人数 1人 内訳：自宅帰宅 1人

(6)新規利用者 1人

#### 6【主なサービスメニュー】

(1)個別支援

サービス管理責任者がお客様の担当相談員が作成した内容から共同生活援助で必要な課題を抽出し作成。必要に応じて担当者会議の参加、6ヶ月毎に見直し作成。

(2)医療・看護サービス

協力医の相沢俊二医師（あいざわクリニック）と医療連携。

- ・コロナ感染が疑いの際、PCR検査の実施協力あり。

(3)食事サービス

希望により朝食¥400、昼食¥500、夕食¥380にて弁当の提供。



#### (4)年間行事

希望者により、買い物外出を支援。

#### (5)その他運営管理：会議

名称	頻度	構成
GH職員会議	月1回	管理者、サビ管、世話人
相談、GH会議	月1回	管理者、サビ管、世話人
全体会議	月1回	管理者、サビ管
担当者会議	適宜	事案によって招集範囲が異なる。
お客様会議	適宜	入居者、管理者、サビ管、世話人

### 7【地域貢献活動】

地域貢献 清掃活動（年2回）、子ども宅食での配達支援（随時）等

### 8【職場の環境】

#### (1)職員状況 2023年1月末現在

- ・配置人員：管理者1名、サービス管理責任者1名、世話人2名
- ・保有資格：介護福祉士1名、主事1名

#### (2)有休の取得：60時間取得 →72時間

#### (3)職場環境保持のため：人権の尊重

- ・ハラスメント防止研修 年1回実施
- ・人権研修 年1回実施

### 9【研修・人材育成】

#### (1)法定の研修

- ・障害者虐待防止・権利擁護（年1回以上）

対策を検討する委員会の定期開催、検討内容の周知、研修の実施

（虐待防止、人権の擁護、虐待の防止等のための基礎知識、障害特性に応じた支援、職業倫理、虐待防止のセルフチェックの実施等）

- ・身体拘束等の適正化（年1回以上）

対策を検討する委員会の定期開催、検討内容の周知、研修の実施

（身体拘束等の適正化の基礎的知識、発生時の具体的な手続きや対応等）

- ・感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止（年2回以上）

対策を検討する委員会の定期開催、検討内容の周知、研修の実施

（感染症対策の基礎知識、衛生管理、発生時の対応、役割分担の確認等）

- ・感染症や災害発生時の業務継続に向けた計画等（年1回以上）

業務継続計画の周知、研修及び訓練の実施

(業務継続計画の具体的内容の共有、平常時・緊急時の対応、役割分担、発生時の支援  
についての確認等)

※上記研修の実施予定については、『(3)《研修年間計画》』をご参照ください。

(2)人材育成の取り組み計画

・障害特性への理解、グループホーム連絡協議会など

(3)《研修年間表》

月	内部研修	外部研修
4月	感染予防①・感染症BCP①	特になし
5月	虐待防止・権利擁護・身体拘束防止①	
6月	防災訓練①・自然災害BCP①	
7月	個別支援計画①	
8月	感染予防②・感染症BCP②	
9月	ハラスメント防止・人権	
12月	防災訓練②・自然災害BCP②	
2月	虐待防止・権利擁護・身体拘束防止②	
3月	個別支援計画②	

# 大町児童デイサービスセンターひかり 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設の種類： 児童発達支援・放課後等デイサービス 多機能型

開設日： 平成 24 年 6 月 開設

住所： 三沢市大町 2 丁目 2 - 1

連絡先： 0176-58-7507

児童拠点長：外山 ルミ

所長：佐藤 恵（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

児童と家庭、地域、社会資源と連携を図りながら適切な支援を行います。

職員の専門性向上とスキルアップを図ります。

## 2 【重点目標】

・ 下半期は新規児童 5 名獲得、総サービス高が増加。時間当たり結果 858 円増となった。

目標 56,104,600 円⇒ 結果 63,876,884 円

・ 感染対策を行いながら行事を安全に実施できるよう計画、実施し顧客満足に繋がった。

目標 95%⇒ 結果 97%

・ 職員一人一人のモチベーション維持のため、適宜面談を実施。

目標 高ストレス者 0 名⇒ 結果 0 名

・ 強度行動障害実践研修修了・医療的ケア児支援者養成研修修了

目標 各 1 名受講⇒ 結果 各 1 名受講

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	59,742,840	56,104,600	63,876,884.00
経費合計	11,946,270	11,709,244	11,863,327.00
差引収益	47,796,570	44,395,365	52,013,557.00
総時間	13,326.00	15,186.00	13,723.00
時間当り	3,586.71	2,932.40	3,790.40

#### 4 【本施設（事業所）の概要】

(1)施設(事業所)サービス種別

- ・種別：児童発達支援・放課後等デイサービス 多機能型
- ・児童福祉法：第21条の5の3第1項の規定に基づく。

(2)職員種別及び職員数 職員総数 7名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)定員：児童発達支援5名（未就学）、放課後等デイサービス15名（小学生～高校生）

(4)利用対象者：主たる障害の制限なし

(5)利用対象地域：三沢市、おいらせ町、六戸町、東北町

(6)営業日；月～土（祝祭日を除く）、営業時間：9時～17時

(7)施設環境：食堂ホール 32.70 m<sup>2</sup>、相談室 9.93 m<sup>2</sup>、機能訓練室①12.42 m<sup>2</sup>、機能訓練室② 9.93 m<sup>2</sup>、浴室 6.62 m<sup>2</sup>、職員事務所 16.14 m<sup>2</sup>、静養室 12.42 m<sup>2</sup>、ホール 17.20 m<sup>2</sup>

(8)送迎車輛：乗用4台

#### 5 【お客様のご利用現況】（令和5年3月31日現在）

(1)利用児童年齢：未就学～高校生

(2)利用児童年齢居住地：三沢市、おいらせ町、六戸町、六ヶ所村、七戸町

(3)障害者認定区分など

≪児童発達支援 計10名≫

	人数	(内)自閉症	(内)ダウン症	(内)肢体不自由	(内)個別サポート
発達障害	10			1	10

≪放課後児童 計38名≫

	人数	(内)自閉症	(内)ダウン症	(内)肢体不自由	(内)個別サポート
発達障害	23				3
知的障害	15	10	2		10
肢体不自由					

※個別サポート加算Ⅰは、著しく重度及びケアニーズの高い障害児に支援を行った場合に算定できる加算（100単位/日）児童発達支援及び医療型児童発達支援は5領域11項目の調査項目によるスコアを、放課後等デイサービスは指標該当児の判定スコアを用いて判定した結果、要件に該当する障害児を受け入れたことを評価するものです。

(4)お客様の利用料徴収区分：

0円（幼保無償化含）12名、4,600円 34名、37,200円 2名

(5)年度の終結 終結総人数 6人

内訳：高等学校卒業 4人 中学校卒業 1名 小学校卒業 1名

(6)新規契約者数 8名

(7)利用児童延べ人数 営業日数 296日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人	551	521	557	466	385	560	562	554	574	559	491	641

## 6【主なサービスメニュー】

### (1)個別支援

- ・個別支援計画を6か月ごとに見直し実施。計画作成数71件。
- ・利用児童48名の計画作成月から3か月毎にモニタリング実施。計176件
- ・保護者との面談実施 20件。
- ・保護者茶話会 第一回11月26日「就労について」7名参加  
第二回3月18日 食事会 8名参加
- ・困難ケース（虐待等） 行政との連携 2件  
（ご家族面談の実施。行政へ課題と提言の連絡。行政からの聞き取り対応等）

### (2)機能訓練サービス

- ・理学療法士（委託）～越後PT育休明け10月より月に1回来所され訓練実施。  
10月13日、11月16日、12月9日、1月27日、2月24日、3月30日
- ・言語聴覚士（委託）～月に1～2名の児童を堀口ひかりへ同行。訓練実施。  
9月5日、26日 10月17日 11月10日、28日 12月12日  
1月16日、30日 3月6日、20日
- ・絵画教室（委託）～毎週水曜日 15:15～16:15 実施。  
4月6日、13日、20日、27日 5月11日、18日、25日  
6月1日、8日、15日、22日、29日 7月6日、13日、20日、27日  
8月3日、10日、17日、24日、31日 9月7日、14日、21日、28日  
10月5日、12日、19日、26日 11月2日、9日、16日、30日  
12月7日、14日、21日、28日 1月4日、11日、18日  
2月1日、8日、22日 3月1日、8日、15日、22日、29日
- ※第12回「1枚のはがき」アートコンテスト出展  
受賞 佳作1名 入選3名
- ※第4回トヨハシブリュットアートコンテスト出展  
受賞 特別賞1名 審査員奨励賞1名 入選優秀賞1名

### (3)年間行事

月	主な行事
4	1日、進級式(参加人数30名)
5	7日、じゃがいも植え(参加人数22名)
7	23日、茶話会(コロナ感染拡大のため中止)
8	10日、SDGs活動(参加人数6名)

9	3日4日、13日、遠足(児童発達参加人数4名 放課後参加人数24名) じゃがいも堀り(4日7名)
10	25日、親子行事(児童発達参加人数6名 保護者7名)
11	10日～15日、七五三詣り(参加人数10名) 19日、親子行事(放課後児童参加人数6名 保護者6名) 26日、茶話会(参加人数7名)
12	19日～23日、クリスマスウィーク(未就学児参加人数10名) 24日、クリスマス会(参加人数26名)
1	4日～6日、初詣、グルメツアー(参加人数33名)
3	18日、茶話会(参加人数8名) 25日、卒業生を祝う会(参加人数20名) 31日、リサイクル廃油石鹸作り(参加人数4名)

(4)その他運営管理：会議

名称、構成、頻度(月日)
身体拘束廃止・虐待防止委員会 4月19日、12月28日 拠点長・担当職員 6名参加
リスク対策 4月25日参加7名、5月24日参加5名、6月21日参加7名、7月21日参加6名、8月30日参加6名、9月27日参加6名、10月25日参加7名、11月29日参加5名、12月21日参加5名、1月24日参加6名、2月21日参加6名、3月18日参加6名
感染症対策委員会安全衛生委員会 参加1名 5月24日、7月27日、9月14日、11月22日、1月13日、3月16日
職員会議 4月25日参加7名、5月24日参加5名、6月21日参加7名、7月21日参加6名、8月30日参加6名、9月27日参加6名、10月25日参加7名、11月29日参加5名、12月21日参加5名、1月24日参加6名、2月21日参加6名、3月18日参加6名
MR会議拠点長・各事業所所長 参加3名 3名5月27日、7月27日、9月30日、10月27日、2月14日

## 7 【地域貢献活動】

- ・商店街のゴミ拾い活動週間 毎月第一週日に実施 参加職員7名
- ・こども宅食ボランティア活動参加日 5月27日1名、9月30日1名、11月25日1名

## 8 【職場の環境】

(1) 職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置職員 管理者兼児童発達支援管理責任者1名、保育士2名、児童指導員6名  
保有資格：介護福祉士2名、社会福祉士1名、保育士2名、

(2) 有休の取得（常勤 6 名 非常勤 1 名）：普通有給 825.5 時間取得 特別有給 458 時間

(3) 職場環境保持（人権の尊重）

- ・ハラスメント防止研修・人権研修 9月29日（参加7名）

## 9 【研修・人材育成】

(1) 法定の研修

- ・感染症 年1回 10月25日（参加6名）
- ・事業継続計画 BCP 感染症について 年1回 9月29日（参加7名）
- ・身体拘束廃止・虐待防止 年1回 3月7日、14日（参加7名）

(2) 人材育成の取り組み

- ・法人階層別研修 ポストリーダー研修 11月 2名参加  
強度行動障害支援者養成研修  
（基礎）10月27日～28日（実践）2月7日～8日 1名参加  
医療的ケア児支援者養成研修 8月5日 1名参加
- ・内部研修・外部研修を通し、知識の習得と技術の向上。

(3) 《研修年間表》

内部研修（月1回） ※法定研修	
4月25日（8名）楽晴会経営倫理と人権について	10月25日（6名）※感染症について
5月24日（5名）ガイドラインについて	11月29日（7名）苦情受付について
6月21日（6名）※BCP 感染症について	1月24日（4名）リスクマネジメントについて
9月29日（7名）ハラスメント・人権尊重の方針について	2月28日（5名）強度行動障害について
	3月7日、14日（7名）※身体拘束廃止・虐待防止について
外部研修	
5月16日障害児者福祉施設新任職員研修 1名	
6月8日 社会福祉施設職員経理研修 1名	
6月17日保育所セミナー 1名	
6月30日自閉症支援者セミナー 2名	
7月16日防災士養成講座 1名	
7月16日～17日医療的ケア児支援者養成研修 1名	
8月5日外部人材の活用による障害に対応した専門性向上研修会 1名	
8月15～29日（講義の部）相談支援従事者初任者研修 1名	
9月29日自閉症支援者セミナー 2名	
10月3日子ども・家庭福祉担当職員セミナー 1名	
10月27日～28日（基礎）強度行動障害支援者養成研修 1名	

10月27日自閉症支援者セミナー 2名
10月27日三沢市発達支援事業研修会 1名
10月31日青森県医療的ケア児保育普及啓発フォーラム 1名
11月16日三沢市障害者支援専門性向上研修 1名
11月17日苦情解決関係者等研修会 1名
12月17日サービス管理責任者更新研修 1名
2月7日～8日 (実践)強度行動障害支援者養成研修 1名
2月16日専門コース別研修 1名
3月7日～14日障害者虐待防止研修 7名



# 堀口児童デイサービスセンターひかり 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設の種類： 児童発達支援・放課後等デイサービス多機能型

開設日： 2018年6月 開設

住所： 青森県三沢市大字三沢字堀口239-3

連絡先： 0176-57-3525

児童拠点長：外山 ルミ

所長：外山 ルミ（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

- ・ 児童の家庭や地域・社会資源との連携を図りながら適切な支援を目指す。
- ・ 職員の専門性の向上とスキルアップを図る。

## 2 【重点目標】

- ・ 上半期より新規児童獲得し、総サービス高が増加。時間当たり結果 493.7 円増となった。  
目標 54,917,639 円⇒ 結果 55,167,081 円
- ・ 感染対策を行いながら楽しめる行事を企画し、利用増を図った。  
また、言語聴覚士や理学療法士の専門的な支援が評価されていた。  
顧客満足度評価は、目標 90%⇒ 結果 93.1% と目標達成。
- ・ 職員一人一人のモチベーション維持のため、適宜面談を実施。高ストレス者 0 名。  
目標 高ストレス者 0 名⇒ 結果 0 名
- ・ 強度行動障害実践研修修了・医療的ケア児支援者養成研修修了  
目標 各 1 名受講⇒ 結果 各 1 名受講

## 3 【本事業所の経営の目標値】

総サービス提供高	46,122,410	54,917,639	55,167,081
経費合計	11,381,333	12,184,879	11,831,154
差引収益	34,741,077	42,732,760	43,335,927
総時間	10,125.00	12,949.34	11,422.98
時間当たり	3,431.10	3,300.00	3,793.70

#### 4 【本施設（事業所）の概要】

(1)施設（事業所）サービス種別

- ・種別：児童発達支援・放課後等デイサービス 多機能型
- ・児童福祉法：第 21 条の 5 の 3 第 1 項の規定に基づく。

(2)職員種別及び職員数 職員総数 7 名

職員種別詳細については『 8 【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)定員：児童発達支援 5 名（未就学）、放課後等デイサービス 15 名（小学生～高校生）

(4)利用対象者：主たる障害の制限なし

(5)利用対象地域：おいらせ町、三沢市、東北町、六戸町

(6)営業日；月～土（祝祭日を除く）、営業時間：9 時～17 時

(7)施設環境：指導訓練室 24.84 m<sup>2</sup>、指導訓練室 6.21 m<sup>2</sup>、静養室 11.59 m<sup>2</sup>、相談室 19.68 m<sup>2</sup>、多目的ホール 38.64 m<sup>2</sup>、事務室 17.58 m<sup>2</sup>など

(8)送迎車輛：リフト付き 1 台、乗用 2 台

#### 5 【お客様のご利用現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

(1)利用児童年齢：未就学～高校生

(2)利用児童年齢居住地：三沢市、おいらせ町、六戸町

(3)障害者認定区分など

≪児童発達支援≫ 計 10 名

	人数	(内)自閉症	(内)ダウン症	(内)肢体不自由	(内)個別サポート
発達障害	10 名				10 名

≪放課後児童≫ 計 33 名

	人数	(内)自閉症	(内)ダウン症	(内)肢体不自由	(内)個別サポート
発達障害	2 名			1 名	
知的障害	29 名	4 名	4 名	1 名	
肢体不自由	2 名				

※個別サポート加算 I は、著しく重度及びケアニーズの高い障害児に支援を行った場合に算定できる加算（100 単位/日）。児童発達支援及び医療型児童発達支援は 5 領域 11 項目の調査項目によるスコアを、放課後等デイサービスは指標該当児の判定スコアを用いて判定した結果、要件に該当する障害児を受け入れたことを評価する。

(4)お客様の利用料徴収区分：0 円 7 名、4,600 円 35 名、37,200 円 0 名

(5)年度の終結 終結総人数 5 名

内訳：転出 2 名 療育修了 1 名 事業所変更 2 名

(6)新規契約者 8 名（児童発達 3 名 放課後 5 名）

(7)利用児童延べ人数 営業日数 295日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人	498	447	504	500	448	491	504	471	481	430	449	513

## 6【主なサービスメニュー】

### (1)個別支援

- ・個別支援計画を6か月ごとに見直し実施。計画作成数84件。
- ・利用児童43名の計画作成月から3か月ごとにモニタリング実施。計162件
- ・保護者との面談 26件実施。
- ・保護者茶話会 第一回11月26日「就労について」3名参加  
第二回3月18日 食事会 2名参加
- ・困難ケース担当者会議 12月14日 ソーシャルワークセンター・ボイス・ひかり
- ・登校しぶりケース担当者会議 3月15日 小学校教員・特別支援学校教員・適応指導教室教員・相談支援専門員・ひかり

### (2)機能訓練サービス

- ・理学療法士(委託)～10/26、11/8、12/17、1/28、2/21、3/29
- ・言語聴覚士(委託)～4/4、11、21、25、5/2、16、23、30、6/6、13、23、27、7/7、11、21、25、8/4、8、25、29、9/5、15、22、26、10/3、13、17、27、11/10、14、24、28、12/8、12、22、26、1/12、16、26、30、2/9、16、3/6、16、20、30
- ・絵画教室(委託)～毎週木曜日 15:15～16:15 4/7、14、21、28、5/12、19、26、6/2、9、16、23、30、7/7、14、28、8/4、18、25、9/8、15、22、29、10/6、13、20、27、11/10、17、24、12/1、15、22、1/5、12、19、2/2、9、16、3/2、9、16、23、30 毎回児童15～16名参加。

※第12回「1枚のはがき」アートコンテスト6名出展(入賞者なし)

### (3)年間行事

月	主な行事
4	1日 進級式 21名参加
5	7日 ジャがいも植え 14名参加
7	9日 遠足 22名参加 23日 茶話会(コロナで中止)
8	2～5日 グルメツアー 18名参加
9	3日 ジャがいも堀り 16名参加
10	1日 親子行事(児童19名・保護者14名参加)・22日 ハロウィン制作と仮装パーティー 16名参加
11	7日～11日 七五三詣り9名参加・26日 茶話会(就労について)3名参加
12	24日 クリスマス会 21名参加
1	4.5日 初詣・書初め 18名参加・6～12日 グルメツアー 18名参加

	12日 リサイクル勉強会 6名参加
3	27日 卒業を祝う会 26名参加 ・ 18日 茶話会(食事会) 2名参加 ・ 31日 リサイクル廃油石鹸づくり 4名参加

(4)その他運営管理：会議

名称、構成、頻度(月日)	
身体拘束廃止・虐待防止委委員会	4月19日、12月28日 拠点長・担当職員 6名参加
リスク対策	4月26日参加 5名、5月24日参加 6名、6月21日参加 4名、7月19日参加 6名、8月30日参加 6名、9月20日参加 6名、10月18日参加 4名、11月15日参加 4名、12月20日参加 5名、1月24日参加 5名、2月28日参加 6名、3月14日参加 5名
感染症対策委員会安全衛生委員会 1名参加。	5月24日、7月27日、9月14日、11月22日、1月13日、3月16日
職員会議	4月26日参加 5名、5月24日参加 6名、6月21日参加 4名、7月19日参加 6名、8月30日参加 6名、9月20日参加 6名、10月18日参加 4名、11月15日参加 4名、12月20日参加 5名、1月24日参加 5名、2月28日参加 6名、3月14日参加 5名
MR 会議拠点長・各事業所所長	3名 5月27日、7月27日、9月30日、10月27日、2月14日

## 7 【地域貢献活動】

- ・地域のごみ拾い～近隣の歩道や公園のごみ拾いを毎月実施。
- ・こども宅食ボランティア～5月28日1名・7月30日2名・11月25日1名26日1名・1月26日1名・3月25日1名参加

## 8 【職場の環境】

(1) 職員状況 2023年3月31日現在

・配置職員

管理者1名、児童発達支援管理責任者2名、児童指導員5名、事務職員1名

・保有資格：介護福祉士1名、社会福祉士1名、保育士3名

(2)有休の取得(常勤6名 非常勤1名)：有給992時間取得

(3)職場環境保持(人権の尊重)

・ハラスメント防止研修 9月27日実施

・人権研修 4月26日実施

## 9 【研修・人材育成】

### (1)法定の研修

- ・感染症・食中毒について 10月18日実施（5名）
- ・事業継続計画 BCP 感染症について 6月14日実施（5名）
- ・身体拘束廃止・障害者虐待防止 3月7日実施（5名）

### (2)人材育成の取り組み

- ・内部研修月1回実施、外部研修を通し、知識の習得と技術の向上を図ることができた。
- ・法人階層別研修 10月 ポストリーダー研修1名参加、12月9日 拠点長研修1名参加

### (3)《研修年間表》

内部研修（月1回）※法定研修	
4月26日 楽晴会経営倫理と人権（5名）	11月29日 子どもの発達支援（4名）
5月31日 ガイドラインについて（5名）	1月24日 強度行動障害について（伝達研修）（4名）
6月14日 ※感染症発生時BCP（5名）	1月31日 リスク管理規定（5名）
7月12日 自閉スペクトラム症（5名）	2月14日 医療的ケア児について（5名）
9月27日 ハラスメント・人権尊重（5名）	3月7日 ※身体拘束廃止・虐待防止（5名）
10月18日 ※児童に多い感染症（5名）	
外部研修	
5月16日 障害児者福祉施設新任職員研修 1名	
6月8日 社会福祉施設職員経理研修 1名	
6月17日 保育所セミナー 1名	
6月30日 自閉症支援者セミナー 1名	
8月5日 外部人材の活用による障害に対応した専門性向上研修会 1名	
7月16日～17日 医療的ケア児支援者養成研修 1名	
8月15～29日（講義の部）相談支援従事者初任者研修 1名	
10月3日 子ども・家庭福祉担当職員セミナー 1名	
10月27日～28日（基礎）強度行動障害支援者養成研修 1名	
11月16日 三沢市障害者支援専門性向上研修 1名	
11月17日 苦情解決関係者等研修会 1名	
2月7日～8日（実践）強度行動障害支援者養成研修 1名	
2月16日 専門コース別研修 1名	
3月7日～14日 障害者虐待防止研修 1名	

# 緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

施設の種類： 児童発達支援・放課後等デイサービス 多機能型

開設日：平成 27 年 12 月 開設

住所： 青森県上北郡おいらせ町緑ヶ丘一丁目 50-2162

連絡先：0176-58-5153

児童拠点長：外山 ルミ

所長：山本 由佳（事業報告主担当）

### 1 【基本方針】

- ・ 児童の家庭や地域・社会資源との連携を図りながら適切な支援を目指します。
- ・ 職員の専門性の向上とスキルアップを図ります。

### 2 【重点目標】

- ・ 今年度は、専門的加算や個別サポート加算（19名予定から21名へ）の取得となり、総サービス高が増加。時間当たり結果 665.2 円増となった。  
目標 50,606,756 円⇒ 結果 53,335,161 円
- ・ 感染対策を行いながら行事を安全に実施できるよう計画、実施し顧客満足に繋がった。  
目標 90%⇒ 結果 93.5%
- ・ 職員一人一人のモチベーション維持のため、適宜面談を実施。高ストレス者 0 名。  
目標 高ストレス者 0 名⇒ 結果 0 名
- ・ 強度行動障害実践研修修了・医療的ケア児支援者養成研修修了  
目標 各 1 名受講⇒ 結果 各 1 名受講

### 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	44,560,300	50,606,756	53,335,161.00
経費合計	11,394,779	11,195,733	10,636,040.00
差引収益	33,165,521	39,411,023	42,699,121.00
総時間	11,973.00	12,407.27	11,114.97
時間当り	2,770.00	3,176.40	3,841.60

#### 4 【本施設（事業所）の概要】

(1)施設（事業所）サービス種別

- ・種別：児童発達支援・放課後等デイサービス 多機能型
- ・児童福祉法：第21条の5の3第1項の規定に基づく。

(2)職員種別及び職員数 職員総数7名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)定員：児童発達支援5名（未就学）、放課後等デイサービス15名（小学生～高校生）

(4)利用対象者：主たる障害の制限なし

(5)利用対象地域：おいらせ町、三沢市、東北町、六戸

(6)営業日；月～土（祝祭日を除く）、営業時間：9時～17時

(7)施設環境：食堂 39.33 m<sup>2</sup>、静養室①9.94 m<sup>2</sup>、静養室②6.62 m<sup>2</sup>、相談室 10.77 m<sup>2</sup>、浴室 4.13 m<sup>2</sup>、機能訓練室 12.42 m<sup>2</sup>、職員事務室 13.04 m<sup>2</sup>

(8)送迎車輛：乗用3台

#### 5 【お客様のご利用現況】（令和5年3月31日現在）

(1)利用児童年齢：未就学～高校生

(2)利用児童年齢居住地：おいらせ町、三沢市、六戸町

(3)障害者認定区分など

≪児童発達支援≫

	人数	(内)自閉症	(内)ダウン症	(内)肢体不自由	(内)個別サポート
発達障害	10名	2名	0名	1名	9名

≪放課後児童≫

	人数	(内)自閉症	(内)ダウン症	(内)肢体不自由	(内)個別サポート
発達障害	3名	0名	0名	0名	1名
知的障害	19名	7名	4名	1名	12名

※個別サポート加算Ⅰは、著しく重度及びケアニーズの高い障害児に支援を行った場合に算定できる加算（100単位/日）児童発達支援及び医療型児童発達支援は5領域11項目の調査項目によるスコアを、放課後等デイサービスは指標該当児の判定スコアを用いて判定した結果、要件に該当する障害児を受け入れたことを評価するものです。

(4)お客様の利用料徴収区分：0円5名、4,600円26名、37,200円1名

(5)年度の終結 終結総人数 10人

内訳：未就学修了8人、児童館へ移行2人

(6)新規利用者 3名

(7)利用児童延べ人数 営業日数 296日

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人	424	365	486	433	454	436	367	432	466	440	421	495

6【主なサービスメニュー】

(1)個別支援

- ・個別支援計画を6か月ごとに見直し実施。計画作成数59件。モニタリング3ヶ月ごとに実施。計106件実施。
- ・児童発達支援管理責任者研修終了者による個別支援計画の作成。
- ・保護者との面談、35名実施。
- ・保護者茶話会 第一回11月26日「就労について」8名参加  
第二回3月18日 食事会 6名参加

(2)機能訓練サービス

- ・理学療法士（委託）  
10月より、月1回来所。未就学児・放課後児童1～2名をリハビリ・評価実施。  
実施日：10月19日、11月2日、12月7日、1月4日、2月15日、3月28日
- ・言語聴覚士（委託）  
月1～2回木曜日に、未就学児童1名を堀口ひかりへ同行し訓練実施。  
実施日：6月24日、7月7日 8月4日、24日 9月15日、10月13日、27日 11月10日、24日 12月8日、22日、1月12日、26日 2月9日、16日 3月30日
- ・絵画教室（委託）  
毎週金曜日放課後等児童を対象に15：30～16：30実施。  
実施日：4月1日、8日、15日、22日 5月6日、13日、20日、27日、6月3日、10日、17日、24日 7月1日、8日、15日、22日、29日 8月5日、12日、19日、26日 9月9日、16日、30日、10月7日、14日、21日、28日 11月4日、11日、18日、12月2日、9日、16日、23日 1月6日、13日、20日 2月3日、17日、24日 3月3日、10日、17日、24日、31日  
※第四回トヨハシブリュットアートコンテスト出展 受賞 入選奨励賞 1名

(3)年間行事

月	主な行事（実施日・参加人数）
4	進級式・歓迎会（1日18名）・買い物外出（4日8名）・交通安全学習（6日21名）
5	じゃがいも植え（7日13名）
6	遠足（25日17名）
7	買い物外出・SDGs学習・ミニ夏祭り（28日20名）・23日茶話会（コロナで中止）
8	小川原湖ロッジ散策（6日16名）・グルメツアー（16～18日19名）



9	じゃがいも掘り、収穫祭（3日14名）・お月見会（10日17名）
10	親子行事（15日児童16名、保護者14名）・ハロウィンパーティー（22日14名）
11	七五三（7～11日10名）・茶話会（26日8名）
12	クリスマス会（24日26名）・望年会（26日14名）・避難訓練（28日17名）（児童拠点合同）
13	初詣/書初め（4日19名）ミニ新年会（7日15名）・グルメツアー（6～12日19名）
14	節分会（4日16名）
15	茶話会（18日6名）・年度振り返りの会（修了式・卒業生を送る会）（25日26名）・グルメツアー（27～31日16名）・リサイクル廃油石鹸作り（31日4名）

(4)その他運営管理：会議

名称、構成、頻度(月日)
身体拘束廃止・虐待防止委員会 4月19日、12月28日 拠点長・担当職員 6名参加
リスク対策 4月26日参加6名、5月17日参加5名、6月25日参加6名、7月19日参加4名、8月30日参加4名、9月20日参加5名、10月20日参加4名、11月22日参加6名、12月20日参加4名、1月24日参加5名、2月28日参加6名、3月25日参加5名
感染症対策委員会安全衛生委員会1名参加。 5月24日、7月27日、9月14日、11月22日、1月13日、3月16日
職員会議 4月26日参加6名、5月17日参加5名、6月25日参加6名、7月19日参加4名、8月30日参加4名、9月20日参加5名、10月20日参加4名、11月22日参加6名、12月20日参加4名、1月24日参加5名、2月28日参加6名、3月25日参加5名
MR会議拠点長・各事業所所長3名 3名5月27日、7月27日、9月30日、10月27日、2月14日

7 【地域貢献活動】

- ・子ども宅食へのボランティア 年3回1名参加（5月27日、9月30日、11月25日）
- ・地域のごみ拾い月1回実施 参加職員7名

8 【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置職員：管理者兼児童発達支援管理責任者1名、児童指導員5名、指導員1名
- ・保有資格：介護福祉士1名、社会福祉士1名、保育士2名

(2)有休の取得（常勤6名 非常勤1名）：694時間取得 特別有給 560時間  
連続有給3日以上取得者 3名

(3)職場環境保持（人権の尊重）

・ハラスメント防止研修・人権研修 年1回 9月24日実施。5名参加。

## 9【研修・人材育成】

(1)法定の研修

- ・感染症・食中毒について 年1回 10月25日実施。5名参加。
- ・事業継続計画BCP感染症について 年1回 6月21日実施。4名参加。
- ・身体拘束廃止・障害者虐待防止 年1回 3月25日実施。5名参加。

(2)人材育成の取り組み

- ・強度行動障害支援者養成研修  
（基礎）10月5、6日 1名参加、（実践）2月7、8日 1名参加。
- ・医療的ケア児支援者養成研修 7月16日、17日 1名参加
- ・法人階層別研修 ポストリーダー研修 11月 1名参加。
- ・内部研修実施・外部研修随時参加

(3)《研修年間表》

内部研修（月1回） ※法定研修	
4月23日 楽晴会経営倫理と人権（4名）	9月24日 ハラスメント・人権尊重の方針（5名）
5月17日 ガイドライン（5名）	10月25日 ※感染症（5名）
6月21日 ※BCPについて（4名）	11月26日 苦情受付（5名）
7月30日 自閉スペクトラム症（4名）	12月3日 強度行動障害（5名）
8月26日 医療的ケア児（4名）	1月14日 リスクマネジメント（4名）
	3月25日 ※身体拘束廃止・虐待防止（5名）
外部研修	
5月16日障害児・者福祉施設新任職員研修 1名	
5月18日ペアレント・トレーニング入門 1名	
6月8日社会福祉経理研修 1名	
6月8日発達支援研修会（自閉症スペクトラム） 1名	
7月16日、17日医療的ケア児支援者養成研修 1名	
7月23日発達障害者支援者セミナー 1名	
8月15～29日相談支援従事者初任者研修（講義）1名	
8月22日青森県子どもの発達支援ガイドブック活用研修会 1名	
9月29日自閉症支援者セミナー 1名	
10月3日子ども・家庭福祉担当者セミナー1名	
10月5、6日強度行動障害支援者養成研修（基礎）1名	

10月27日三沢市発達支援事業研修会 1名  
10月27日自閉症支援者セミナー 1名  
10月31日青森県医療的ケア児保育普及啓発フォーラム 1名  
11月11日八戸圏域中枢都市圏連携事業 障がい者福祉合同研修会 1名  
11月12日青森県作業療法士会主催公開講座 1名  
11月16日発達障害者支援者セミナー（アンガーマネジメント）1名  
11月18日福祉サービス苦情解決関係者等研修 1名  
12月18日児童発達管理責任者研修（更新研修）1名  
12月21日発達障害者支援者セミナー（子どもの感情） 1名  
2月7、8日強度行動障害支援者養成研修（実践）1名  
2月16日青森県専門別コース研修 1名  
3月3～14日青森県障害者虐待防止・権利擁護研修会 2名

# 世田谷希望丘ホーム 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：特別養護老人ホーム  
開設日：平成30年4月 世田谷希望丘ホーム 開設  
住所：東京都世田谷区船橋六丁目25-25  
連絡先：03-5316-5388  
世田谷拠点長：渡辺 博明  
施設長：丸山 義晴（事業報告主担当）

### 1 【基本方針】

- ・安定した黒字化の継続
- ・フロアーリーダーの経営意識の教育
- ・地域福祉の再始動
- ・ショートステイの開設

### 2 【重点目標】

110床満床の実施 未達（100名）／人件費の削減 派遣の員数削減が進む／感染対策の徹底 10月末にクラスター発生／フロアーリーダー・ユニットリーダーのリーダースキルの向上 外部講師による研修実施／接遇面の向上 外部講師による研修実施／食事満足度の向上 これまで実施をしていなかった生の刺身などの提供を行った

### 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	526,350,204	547,067,658	536,045,381
経費合計	191,196,055	192,491,392	203,581,942
差引収益	335,154,149	354,576,266	332,463,439
総時間	162,807.61	170,290.64	166,627.13
時間当り	2,058.60	2,082.20	1,995.30

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)施設（事業所）サービス種別

- ・介護保険法：介護老人福祉施設
- ・老人福祉法：特別養護老人ホーム（第五条の三、第二十条の五に基づく）

(2)職員種別及び職員数 職員総数 85 名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)定員：長期 110 名 短期 20 名

(4)利用対象者：要介護度 3 以上で 65 歳以上の方、特定疾患が認められた要介護度 3 以上の 40~64 歳以上の方、要介護 1~2 の特例措置該当の方

(5)利用対象地域：世田谷区

(6)営業日：年中無休 24 時間

(7)施設設備：居室全個室（10.78~12.43 m<sup>2</sup>）110 室、食堂各ユニット（39.6~45.3 m<sup>2</sup>）

(8) 車輛：病院受診用 2 台（リフト付き）

#### 5【お客様の現況】（令和 5 年 3 月 31 日現在）

(1)入居者年齢：70 代 11 名 80 代 42 名 90 代 42 名 100 代 5 名 平均 88.5 才

(2)入居者居住地：世田谷区

(3)要介護区分・障害者認定区分など（介護予防・総合事業含む）

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均介護度
本年度 特例措置入居者なし		13	48	39	4.2

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

0~8,000	~10,000	~30,000	~50,000	~100,000	~200,000	200,000~
0	1	1	3	21	73	5

食費：1,700×30 日=51,000 （一か月） 居室費：2,006×30 日=60,180 （一か月）

(5)年度の終結 終結総人数 100 人

内訳：施設入居 37 人、退所 31 人、死亡 18 人、入院 49 人

(6)入所状況／人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
94	93	94	94	94	94	99	99	98	97	98	102	96.3

(7)新規利用者 37 人

#### 6【主なサービスメニュー】

(1)介護サービス

ケアプランを 6 ヶ月毎に見直し。 定期的を実施

サービス担当者会議をケアプラン見直しのタイミングにて実施。 定期的を実施

ユニット会議を毎月開催。 コロナにより一部未開催

## (2)医療・看護サービス

### ・医療サービス

- ① 嘱託医（内科）毎週水曜日 14：00-16：00 成城گرانクリニック 信太暁子医師
- ② 嘱託医（精神科）月2回（日曜日の午前中） あんずクリニック 古田信夫医師

### ・看護サービス

往診時、付き添い情報の伝達・指示事項などの記録を行う

主な疾病：認知症（IIa以上）97名、脳血管障害28名、パーキンソン病8名、糖尿病14名

受診付添い：4月1名、5月1名、6月0名、7月0名、8月1名、9月0名、10月1名、11月1名、12月3名、1月4名、2月2名、3月5名

### ・劇薬など薬の管理

過去に疼痛緩和の為の麻薬の使用実績有り。（医務室内にて施錠して管理）

(2021/8/2～8/9) オキシコドン 10mg

### ・夜間救急搬送 10月1名

### ・看取り

前年度複数名の看取りを実施。本年度も精神面のケアを中心にした看取りを実施する。

看取り総数 14名

## (3)機能訓練サービス

非常勤看護師により週2日提供。1日あたり、10名～15名（体調等により増減）

満床後、機能訓練指導員の採用を進め実施

## (4)相談支援サービス：入居者又はそのご家族様からの必要な相談に応じる。

入居相談：121件 契約件数：37件 プラン作成：136件

## (5)食事サービス

### ・ユニット内での直前の盛り付けの実施

### ・嗜好品調査の実施：調査結果より生のフルーツの提供希望有り。提供済み

食べたいメニューの復活希望有り。提供済み

イベント食	
4/5 お花見イベント献立実施	11/18 東京ご当地イベント献立実施
5/5 端午の節句イベント献立実施	12/25 クリスマスイベント献立実施
6/10 奄美・名古屋ご当地イベント献立実施	1/1-2 お正月イベント献立実施
7/23 土用の丑イベント献立実施	2/14 バレンタインデーイベント献立実施
10/21 秋の味覚フェアイベント献立実施	3/3 ひなまつりイベント献立実施

お看取りの方への特別提供：差し入れのお好きなフルーツをペースト状にして提供、昼食に

差し入れのそばを提供、差し入れのお好きな煮豆と芋、果物をペースト状にして提供

個別の嗜好品への対応：差し入れの納豆をペースト状にして提供

## (6)年間行事

月	主な行事	施設計画（行事以外の事業所の計画）
4	ユニット内企画（誕生日会など）	
5	ユニット内企画（誕生日会など）	
6	ユニット内企画（誕生日会など）	防災訓練 6/23 に実施
7	夏祭り ユニット毎開催	
8	ユニット内企画（誕生日会など）	
9	敬老会 9/17 に実施	認知症カフェ 未実施
10	ユニット内企画（誕生日会など）	炊き出し訓練 10/20 に実施
11	ユニット内企画（誕生日会など）	
12	クリスマス会 ユニット毎開催	防災訓練 12/22 に実施
1	新年会 ユニット毎開催	
2	ユニット内企画（誕生日会など）	
3	ユニット内企画（誕生日会など）	認知症カフェ 未実施

## (7)その他運営管理：会議

名称	頻度(月日)	構成
職員会議	月1回	全職員
ユニットリーダー会議	月1回	ユニットリーダー、介護長、施設長
ユニット会議	月1回	ユニットスタッフ、看護師、栄養士、介護長
管理者会議	週1回	部門責以上

## 7【地域貢献活動】

オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施 感染対策で未実施／ 地域の防災訓練への参加（葎根会・船橋会・船橋中学校）3/12に参加／ 地域町会への参加 5/28 総会へ参加

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・職員配置：管理者1名、相談員3名、看護職員7名、介護職員81名、管理栄養士2名、調理職員10名
- ・保有資格：介護福祉士25名／実務者研修修了者3名／初任者研修修了者4名／介護支援専門員2名／正看護師5名／准看護師2名／管理栄養士2名／調理師6名

(2)有休の取得（常勤49名 パート27名）：5,835時間取得うち連続有給3日取得者17名

(3)職場環境保持

安全衛生委員会の活動/ハラスメント対策ポスターの掲示/労災の防止/外国人向けに多言語の資料を準備する。/腰痛体操/福利厚生への漏れの無い提供（楽晴会/ソウェルクラブ）

## 9【研修計画・人材育成】

### (1)法定の研修

身体拘束排除に関する研修／認知症に関する研修／感染症・食中毒に関する研修／倫理及び法令遵守に関する研修／お看取りに関する研修／非常災害時における研修／プライバシーの保護に関する研修／事故または再発防止に関する研修／緊急時の対応に関する研修

### (2)人材育成の取り組み

入職時研修の実施／OJT 評価項目に準じた研修／定期的な介護技術研修／リーダー向け研修／外部研修受講の促進（SDS/推薦）

新規入職スタッフへは off-JT を確りと実施し、定着を促している。リーダーへは部下への関わり方を中心に研修を実施

### (3)《研修年間》

内部研修	外部研修
楽晴会ケアの信条について 7/1-9/30	接遇研修 12/14、2/17、2/24
身体拘束排除に関する研修 4/30、1/31	リーダー向け研修 1/11、2/8
認知症に関する研修 5/31	排泄介助研修 2/9
感染症・食中毒に関する研修 6/30	ハラスメント研修
倫理及び法令遵守に関する研修 7/31	世田谷区主催の研修への参加
お看取りに関する研修 2/3	社会福祉協議会主催の研修への参加
非常災害時における研修 9/30	
プライバシーの保護に関する研修 11/30	
事故または再発防止に関する研修 12/31	
緊急時の対応に関する研修 3/31	
R1・R2 研修 コロナ発生の為、不参加	

実施研修		
2022/6/24-7/13	感染対策 手洗い研修	全員
2022/7/1-9/30	楽晴会ケアの信条	介護職員全員
2022/8/5	お看取り研修	12名
2022/10/1-10-31	ノロウイルス感染対策	全員
2022/12/14	接遇研修（リーダー向け）	11名
2023/1/11	セルフエスティーム研修	10名
2023/1/24	新型コロナ感染防止対策研修	12名
2023/2/3	看取り介護実践の基本	6名
2023/2/8	介護職のためのセルフリーダーシップ研修	8名
2023/2/9	排泄介助（オムツ）研修	13名



2023/2/17	接遇研修（現場向け）	27名
2023/2/24	接遇研修（事務向け）	3名
2023/2/17-28	ポジショニング研修	全員
2023/3/1	入職時研修	1名

# 世田谷トラスト希望丘事業所 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：都市型経費老人ホーム

開設日：平成30年4月 都市型経費老人ホーム トラスト希望丘 開設

住所：東京都世田谷区船橋六丁目25-25

連絡先：03-5316-5377

世田谷拠点長：渡辺 博明

事業所長：浅水 素光（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

- ・ご入居様の特性に配慮した安心安全な住まいを提供すること
- ・自主自立性を尊重し、相談、助言の援助を行うこと
- ・居宅サービスの利用を協力し、自立した日常生活を過ごせるよう援助を行うこと
- ・疾病時、緊急時の対応を行うこと
- ・退去者を抑制し、満床を常とし、支出に気を配り、利益を確保すること

## 2 【重点目標】

- ・ご入居様の心身に不安なことがないか、日々傾聴を心がける（傾聴研修を隔月実施）
- ・居宅サービス事業所とも積極的に連携を図り、ご入居様心身の情報共有を行う  
（トラスト玄関への誘導の際、積極的に話しかけるよう指導）
- ・職員のコミュニケーション能力向上（接遇マナー向上）に努める（接遇研修を実施）
- ・自立が難しくなったと判断される場合、保証人様、ケアマネジャーと迅速に連携を図り、法人内別施設への誘導を行う（2名希望丘ホームへ転居、2名コラボデイ使用）

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	38,117,392	37,881,400	36,620,612.00
経費合計	18,604,420	17,812,563	19,870,363.00
差引収益	19,512,972	20,068,837	16,750,249.00
総時間	10,626.00	10,281.00	10,413.00
時間当たり	1,844.0	1,952.0	1,608.60
稼働率	97.50	100.00	96.60

#### 4【本施設の概要】

(1)事業所サービス種別

- ・都市型軽費老人ホーム
- ・老人福祉法：(都市型) 軽費老人ホーム (老人福祉法第 20 条の 6)

(2)職員種別及び職員数 職員総数 6 人

上記については『 8【働きやすい職場環境の計画】 』をご参照ください。

(3)入居定員：20 名

(4)入居対象者：孤立していて、生活するのに不安があり、身の回りのことができる人で、かつ、世田谷区に住民票のある 60 歳以上の方

(5)入居可能地域：世田谷区

(6)営業日：年中無休 24 時間

(7)施設環境：宿泊居室 8.24 m<sup>2</sup> (平均)、20 室、食堂 84.25 m<sup>2</sup>、談話スペース 5.94 m<sup>2</sup>、相談室 (面談室) 6.11 m<sup>2</sup>、浴室 12.45 m<sup>2</sup>、脱衣室 11.54 m<sup>2</sup>

#### 5【お客様の現況】(令和 5 年 3 月 31 日現在)

(1)入居者年齢：60 代～90 代 平均 83.36 才

(2)入居者居住地：世田谷区

(3)要介護区分・障害者認定区分など (介護予防・総合事業含む)

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	平均介護度
4 人	3 人	4 人	5 人	3 人	1 人	1.34

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

0～8,000	～10,000	～30,000	～50,000	～100,000	～200,000	300,000～
人	人	人	人	7 人	13 人	人

食費：1,490 円×30 日=44,700 円 (一か月)、 居室費：53,700 円 (一か月)

共用部光熱費：110 円、居室にかかわる光熱費 (居室内個メータにより精算)

(5)年度の終結 終結総人数 232 人

内訳：施設入居 1 人、退所 4 人、死亡 0 人、住み替え 2 人、入院 2 人、自宅帰宅 0 人

(6)入所状況/人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
19	18	19	18	19	19	20	20	20	20	20	20	19.33

(7)新規利用者 5 人

#### 6【主なサービスメニュー】

(1)介護サービス (個々人のケアノートを相談員と作成中)

外部ケアマネによる介護サービス計画等を利用、他に個別支援計画を作成。

(2)医療・看護サービス (訪問医療・看護時に連携実施)

訪問医、訪問看護と連携し、ご入居様の心身状況を把握。緊急時は拠点看護師と協力

(3)相談支援サービス：日常生活に必要な相談・助言を相談員が実施。

(4)食事サービス 3食

- ・ご入居様様の心身状況などにより自炊が困難な方に健康的に生活ができるよう、施設内の食堂で食事を提供。
- ・拠点の管理栄養士の協力・管理の下、料理毎にレシピ（品質基準）を作成。

(5)年間行事

月	主な行事	施設計画（行事以外の事業所の計画）
4	お花見	トラスト会（未実施）
5	母の日	
6	父の日	防災訓練 6/23 に実施
7	七夕	トラスト会（コロナ感染の為、未実施）
8	夏祭り トラストにて開催	
9	敬老の日、お月見 9/17 に実施	
10	ハロウィン	トラスト会 炊き出し訓練 10/20 に実施
11	書道	インフルエンザ予防接種 11/15 に実施
12	クリスマス会 トラストにて実施	防災訓練（夜間想定）12/22 に実施
1	元旦式典 トラストにて実施	トラスト会
2	節分 トラストにて実施	事業計画策定
3	ひな祭り 未実施	

(6)その他運営管理：会議

名称	頻度(月日)	構成
管理者会議	毎火曜日	理事、各管理者
職員会議	月1回	理事、各管理者、各ユニットリーダー
トラスト職員会議	月1回	施設長、職員

## 7【地域貢献活動】

地域貢献（希望丘ホーム、コラボと連携し参加）

- ・オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施 未実施
- ・地域防災訓練への参加（葎根会・船橋会・船橋中学校）3/12 に実施
- ・地域防犯座談会への参加 不参加
- ・地域町会への参加 不参加

## 8 【働きやすい職場環境】

### (1)職員状況（2023年3月31日状況）

- ・配置人員：管理者1名、生活相談員1名、介護職員3名、ケアアシスタント1名
- ・保有資格：介護福祉士 2名、初任者研修 2名

### (2)有休の取得：232時間取得

### (3)職場環境保持（人権の尊重）

- ・安全衛生委員会の活動報告／ハラスメント対策ポスターの掲示／労災防止（予防）に関する研修／始業前の体操（腰痛予防）の励行／福利厚生の提供（ソウエルクラブ）

## 9 【研修計画・人材育成】

### (1)法定の研修の動向

- ・虐待予防、身体拘束、災害予防、事故予防、感染症・食中毒、緊急時の対応、褥瘡等  
毎月の研修計画に基づき、特養、コラボ合同で毎月1回研修をいます。

### (2)人材育成の取り組み

- ・楽晴会ケアの信条について／倫理及び法令遵守に関する研修／プライバシー保護に関する研修／身体拘束虐待排除に関する研修／接遇に関する研修
- ・認知症に関する研修（年1回開催）／感染症、食中毒に関する研修（感染委員会と連携し開催）／非常災害時における研修（防災訓練時期に合わせて開催）／事故または再発防止に関する研修（重大事故発生時にも適時開催）／緊急時対応に関する研修

### (3)《研修年間》

内部研修	外部研修
4月 法令遵守、ハラスメントについて	・接遇研修
5月 緊急時対応について	・リーダー向け研修
6月 感染症、食中毒予防及び蔓延予防	・ハラスメント研修
7月 熱中症予防について	・東京都、世田谷区主催の研修への参加（職員へ周知し参加を促す）
8月 身体拘束虐待防止について	・高齢者虐待研修
9月 コンプライアンスについて	・嚔下に関する研修
10月 非常時災害対応について	・認知症に関する研修
11月 感染症、食中毒予防及び蔓延予防	
12月 介護予防、進行予防について	
1月 接遇について	
2月 リスクマネジメントについて	
3月 介護技術向上について	

※自立の方が多いため、接遇（話し方）に関する研修は特に重点をおく。

実施研修		
2022/6/24-7/13	感染対策 手洗い研修	全員
2022/7/1-9/30	楽晴会ケアの信条	全員
2022/10/1-10-31	ノロウイルス感染対策	全員
2022/12/14	接遇研修	全員
2023/1/24	新型コロナ感染防止対策研修	全員
2023/2/8	セルフリーダーシップ研修	全員
2023/2/24	接遇研修	全員

以上

# 世田谷希望丘コラボケアセンター 2022年度 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所  
開設日：平成 30 年 4 月 世田谷希望丘コラボケアセンター 開設  
住所：東京都世田谷区船橋六丁目 25-25  
連絡先：03-5316-5377  
世田谷拠点長：渡辺 博明  
事業所長：森田 成弘（事業報告主担当）

### 1 【基本方針】

- ・感染症に留意しながら、地域に出向いて認知度を向上させる。
- ・地域交流を深め、顧客満足度を高める。

### 2 【重点目標】

- ・登録 25 名達成。（年度末実績 13 名）
- ・接遇向上。（11/11 福祉従事者が学ぶクレーム対応（集合研修）職員 1 名参加）
- ・施設見学会実施（年 3 回）（11/22～1 事業所 2 名参加、2/27～1 事業所 2 名参加 年 2 回実施出来た）
- ・運営推進会議の充実（感染症対策の為ご家族参加がなかった。地域関係者が参加できた）  
実施日：5/30 8 名参加、7/25・9/26・11/28 は感染対策の為、書面開催、  
1/31 4 名参加、3/27 4 名参加
- ・記録整備（フューチャーによる記録を 8 月より開始、紙ベースの記録を削減できた）
- ・認知症カフェの実施（感染症対策の為、実施出来なかった）

### 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	33,564,571	52,316,763	30,403,211
経費合計	14,342,655	14,133,851	15,165,277
差引収益	19,221,916	38,182,912	15,237,934
総時間	18,060.00	23,627.80	17,776.00
時間当り	1,064.30	1,616.00	857.20

#### 4【本施設（事業所）の概要】

(1)事業所サービス種別

- ・介護保険法：指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所
- ・老人福祉法： 第五条の五に基づく

(2)職員種別及び職員数 職員総数 11名

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

(3)登録定員：25人（通いサービス定員15人、宿泊サービス定員5人）

(4)利用対象者：要介護の認定を受けた方で、事業者と同一の市町村に住んでいる方

(5) サービス提供地域：世田谷区

(6) サービス提供時間：営業日／年中無休 日中時間帯／6時00分～22時00分

通い8時30分～18時／訪問8時30分～18時／宿泊18時～8時30分

※緊急時ならびに必要時においては柔軟に、通い、訪問および宿泊サービスを提供します。

(7)施設環境

宿泊室 8.73㎡、10.55㎡9室、食堂 77.33㎡、浴室 6.6㎡、脱衣室 8.3㎡

(8)訪問・送迎車両：リフト付き1台（セレナ）

#### 5【お客様の現況】（令和5年3月31日現在）

(1)ご利用年齢：70代2名、80代5名、90代6名 平均 86.65才

(2)入居者居住地：世田谷区八幡山、船橋、粕谷、千歳台、宮坂、上北沢

(3)要介護区分・障害者認定区分など（介護予防・総合事業含む）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
0	1	3	2	2	2	3	2.97

(4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

0～8,000	～10,000	～30,000	～50,000	～100,000	～200,000	～300,000
0	0	3	1	5	2	1

他 生活保護受給者 1名

食費：54,000円（一か月） 宿泊費：105,000円（一か月）

(5)年度の終結 終結総人数 7人

内訳：施設入居 3人、退所 3人、入院 1人、

(6)利用状況／人 上段：通所 中段：短期入所（30日以内） 下段：訪問

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通所	190	175	142	141	102	161	143	159	117	178	172	222	158.5
短期	72	58	27	14	12	18	12	40	31	48	77	107	43.0
訪問	17	7	0	18	23	45	42	39	71	96	91	35	40.3

(7)新規利用者 12名



## 6【主なサービスメニュー】

### (1)介護サービス

- ・ケアプランの6か月ごとの見直し、また、必要時の適宜更新。  
→ご利用者様延べ21人に対し、40回（ほかに新プラン12名）実施。
- ・ケアカンファレンスは各職員がフューチャー上で共有し、モニタリングを実施。  
→部署内会議や不定期会議などを通して毎月全利用者の計画をモニタリング・アセスメントしている。
- ・月1回の会議でADL等の確認をしてケアを統一していく。  
→上記会議で変更が必須の場合、ケアプラン・計画書に反映させている。（4回対応）

### (2)看護サービス

- ・健康観察バイタル測定～起床時、通い来所時、就寝時に実施。特異な時は適宜行い、看護やご家族、主治医と連携した。
- ・服薬管理～ご利用者全員の薬情を管理、把握に努めることが出来た。
- ・薬作り～通い、宿泊ご利用者に対して、薬剤情報提供書（薬情）に沿って提供できるように準備できた。
- ・緊急時の対応～ご家族・主治医と連携して必要時搬送できた。（救急対応：4回）
- ・排便管理～長期宿泊者やご家族からの要望、薬情によるフォローアップを実施し、腸閉塞などの予防に努めることが出来た。

### (3)機能訓練サービス

- ・生活リハビリとして全ご利用者にケアプラン上で設定。  
→体調などを考慮しながら日々実施出来た。また、モニタリングを通してケアプラン・計画書に反映できた。

### (4)相談支援サービス計画

- ・日常生活に必要な相談・助言を相談員が実施。  
→月1回のケアマネ訪問時のモニタリングを通してニーズを引き出すことが出来た。

### (5)食事サービス

- ・イベント食年間提供表

食事サービス毎月厨房からイベント食の提供	
4/5 お花見イベント献立	10/21 秋の味覚フェアイベント献立
5/5 端午の節句イベント献立	11/18 東京ご当地イベント献立
6/10 奄美・名古屋ご当地イベント献立	12/25 クリスマスイベント献立
7/7 七夕イベント献立	1/1～2 お正月イベント献立
7/23 土用の丑イベント献立	2/14 バレンタインデーイベント献立
8/11 山の日イベント献立	3/3 ひなまつりイベント献立
9/17 敬老祝いイベント献立	

- ・毎月のイベントでお茶菓子イベントを適宜開催。
- 4/30～スイーツバイキング（ご利用者様 6名参加）
- 5/20～ランチ外食（ご利用者様 2名参加）
- 8/27～花火鑑賞会～お茶菓子を食べながら（ご利用者 6名参加）
- 12/19～クリスマス会（ご利用者様 9名参加）
- 1/6～新年会（ご利用者 8名参加）
- 2/4～節分会（ご利用者 6名参加）

(6)年間行事

月	主な行事	施設計画（行事以外の事業所の計画）
4	お花見会 4/1～8 実施（参加 8名）	
5	端午の節句祭り 5/5 昼食イベントとして実施（参加 4名）	運営推進会議（5/30）～実施
6	あじさいイベント～未実施	施設見学会（6/16）～未実施
7	夏祭り～ 7/21 実施（参加 5名）	運営推進会議（7/25）～書面開催 ちとふな夏祭り 中止
8	盆踊り大会～ 8/27 実施（参加 5名）	家族会（8/25）～感染対策で未実施
9	敬老会～ 9/17 実施（参加 6名）	運営推進会議（9/26）～書面開催 認知症カフェ～感染対策の為未実施
10	運動会～未実施	施設見学会（10/20）～11/22 に実施 炊き出し訓練（10/20）～参加
11	紅葉イベント～ 送迎時に実施（参加 8名）	運営推進会議（11/28）～書面実施 船橋ふれあい祭り 中止
12	クリスマス会～ 12/19 実施（参加 9名）	防災訓練～実施
1	新年会～ 1/6 実施（参加 8名）	運営推進会議（1/31）～実施
2	節分会～ 2/4 実施（参加 6名）	施設見学会（2/16）～実施
3	ひな祭り会～ 3/3 実施（参加 6名）	運営推進会議（3/27）～実施 家族会・認知症カフェ～感染対策で未実施

(7)その他運営管理：会議

名称	頻度(月日)	構成
コラボ会議	月1回	コラボ全職員
東京コラボ会議	2か月に1回	府中コラボ職員と希望丘コラボ職員 4/15 2名、6/20 2名、9/26 2名、1/30 4名参加
勉強会	月1回	コラボ全職員 8/26 嘔吐対応 (8名参加)、9/9 移動介助 (7名参加) 10/25 入浴対応 (8名参加)、1/30 緊急対応 (7名参加)
運営推進会議	2か月に1回	あんすこ職員、地域の方々、ご利用者家族
管理者会議	週1回	部門責以上
職員会議	月1回	各ユニット、委員会など

## 7【地域貢献活動】

オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施～感染対策で未実施  
 地域の防災訓練への参加～7月に参加できた（職員1名参加）  
 防犯座談会への参加～12月に参加できた（職員1名参加）  
 地域町会への参加（総会やお祭り）～  
 5/28 船橋葎根会総会参加（職員1名）、  
 5/30 地域清掃活動参加（職員1名）、  
 6/5 地域のお祭り（あおばまつり）参加（職員1名）  
 7/2 防災避難所設営訓練参加（職員1名）  
 運営推進会議の実施（2か月に1回）～【重点目標参照】

## 8【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員：管理者1名、介護支援専門員1名、介護職員9名、看護職員（機能訓練兼務）1名
- ・保有資格：介護福祉士：4名 看護師：1名 介護支援専門員：1名 初任者研修：1名  
実務者研修：2名 無資格2名（うち、外国人1名）

(2)有休の取得：1066時間（目標440時間／取得達成率242.2%）

(3)職場環境保持

- ・安全衛生委員会の活動報告／ハラスメント対策ポスターの掲示／労災防止（予防）に関する研修／始業前の体操（腰痛予防）の励行／福利厚生（ソウェルクラブ）の提供

## 9【研修・人材育成】

## (1)法定の研修

認知症及び認知症ケアに関する研修  
プライバシーの保護の取り組みに関する研修  
倫理及び法令順守に関する研修  
事故発生又は再発防止に関する研修（福祉用具を含む）  
緊急時の対応に関する研修  
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修  
身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修  
非常災害時の対応に関する研修

## (2)人材育成の取り組み

入職時研修の実施～4月・11月：初任者研修参加（職員各1名）  
OJT 評価項目に準じた研修～  
定期的な介護技術研修～車椅子の基礎（5/30）～職員1名参加  
便秘をテーマとした専門職向け講座（7/22）～職員1名参加  
医学的視点からの理解と支援（8/22）～職員1名参加  
介護支援専門員専門研修課程Ⅱ（9/26）～職員1名参加  
福祉従事者が学ぶクレーム対応（11/11）～職員1名参加  
職員による高齢者・障害者虐待と職員が受ける「ハラスメント」の防止（11/25）  
～職員1名参加  
高齢障がい者への支援を学ぶ（11/25）～職員1名参加  
外国人介護従事者指導担当職員向け研修（12/14）～職員1名参加  
高齢者虐待対応研修（3/3）～職員1名参加  
リーダー向け研修～  
認知症介護実践者研修（5/28～）～職員2名参加  
認知症対応型サービス事業管理者研修（8/31）～職員1名参加  
福祉職が学ぶリーダーシップ研修第1回（9/15）～職員1名参加  
福祉職が学ぶリーダーシップ研修第2回（10/12）～職員1名参加  
福祉職が学ぶリーダーシップ研修第3回（11/17）～職員1名参加  
外部研修受講の促進（SDS/推薦）  
東京都老人福祉施設等感染対策指導者養成研修（10/24）～職員1名参加  
【小規模多機能の基本的理解】いまさら聞けない★「人員基準」「管理運営」編（11/30）  
～職員1名参加  
【小規模多機能の基本的理解】いまさら聞けない★「加算取得」編（12/12）  
～職員1名参加  
【小規模多機能の基本的理解】いまさら聞けない★「LIFE算定」編（12/15）  
～職員1名参加

職員主催の勉強会の実施～どの研修も参加できない職員は資料閲覧研修を実施。  
 感染症対策（嘔吐対応 8/26 8名）、移乗研修（9/9 7名）、入浴研修（10/25 8名）、  
 緊急対応（1/30 7名）  
 外国人職員等～ミャンマー出身者 1名を実務者研修へ参加促し～未実施  
 介護福祉士受験を促していく～2022年度は受験なし

(3) 《研修年間》

内部研修	外部研修（上記参照）
楽晴会ケアの信条について～未実施 身体拘束排除に関する研修～4月実施 認知症に関する研修～5月実施 感染症・食中毒に関する研修～6月実施 倫理及び法令遵守に関する研修～7月実施 非常災害時における研修～9月実施 プライバシーの保護に関する研修～11月実施 事故または再発防止に関する研修～12月実施 緊急時の対応に関する研修～3月実施 R1・R2研修～10月参加（職員1名）	接遇研修 リーダー向け研修 ハラスメント研修 世田谷区主催の研修への参加 社会福祉協議会主催の研修への参加

以上

## 車返団地デイサービスセンター・スカイ事業所 2022年事業報告

### ○事業所基本情報

サービス種別：地域密着型通所介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業

開設日：平成 24 年 7 月車返団地デイサービスセンター・スカイ開設

住所：東京都府中市白糸台五丁目 26-7

連絡先：0 4 2 - 3 6 7 - 3 2 1 4

東京拠点長：渡辺 博明

所長：一柳 慶子（事業報告主担当）

### 1 【基本方針】

楽しみながらの健康づくりを発信し、地域に根差した開かれた事業所となる

### 2 【重点目標】

**目標 1** 空き枠ゼロにするべく、活動内容を見直し施設の活性化を図る。

**結果** 利用者増に繋げるべく、活動内容を見直し魅力ある施設作りに取り組んだ。

**目標 2** 魅力ある施設を自分たちで作っていくという意識を職員間で共有する。

**結果** 良い施設していくという意識を高めていくため意見交換の機会の確保に取り組んだ。

### 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	26,800,591	37,628,089	2,409,715.00
経費合計	18,938,982	19,034,008	1,583,919.00
差引収益	7,861,609	18,594,081	825,796.00
総時間	12,339.98	13,699.00	12,599.00
時間当り	637.10	1,357.30	655.40

#### 4【本施設（事業所）の概要】

##### (1)事業所サービス種別

- ・介護保険法：指定地域密着型通所介護事業所、指定介護予防・日常生活支援総合事業
- ・老人福祉法：第5条2項に基づく老人デイサービス事業

##### (2)職員種別及び職員数 職員総数9人

職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

##### (3)利用定員：18名

##### (4)利用対象者：要介護1～5の認定を受けた方（予防：要支援者）

##### (5)利用可能地域：府中市

##### (6)営業日：月～金 9時～18時（サービス提供時間9：50～16：00）

##### (7)施設環境：食堂兼訓練室 125.97 m<sup>2</sup>、静養室 5.85 m<sup>2</sup>、相談室 4.39 m<sup>2</sup>、浴室 31.88 m<sup>2</sup>

##### (8)送迎用車両：リフト付き1台、福祉車両2台

#### 5【お客様のご利用現況】（令和5年3月31日現在）

##### (1)利用者年齢：70代4名 80代25名 90代18名 平均85.56才

##### (2)利用者居住地：府中市

##### (3)要介護区分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
4人	2人	13人	4人	4人	3人	2人	2.2

##### (4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額（昼食弁当代600円）

0～8,000	～10,000	～30,000	～50,000	～100,000	～200,000	300,000～
11人	5人	13人	3人	0人	0人	0人

##### (5)年度の終結 終結総人数 16人

内訳：施設入居5人、退所2人、死亡6人、入院1人

##### (6)利用状況／人

営業日数月平均 21.75日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
254	238	244	250	244	250	235	254	250	220	220	245	242

##### (7)新規利用者 16人

#### 6【主なサービスメニュー】

##### (1)介護サービス

- ・通所介護計画書をもとにサービスを展開
- ・6ヵ月毎のモニタリング

##### (2)看護サービス

体調管理（バイタル測定）、服薬管理、医師の指示のもと患部処置（褥瘡等）

##### (3)機能訓練サービス

看護師による機能訓練の指導のもと計画、実施、評価

(4)相談支援サービス

- ・お客様やご家族の介護・生活上の悩み等の相談に生活相談員や職員が対応する。
- ・看護職員が病気や健康上の悩み等、相談に対応する。

(5)食事サービス

通常の昼食の他不定期開催にてクリスマスケーキ等のおやつイベント実施。

(6)年間行事

月日	主な行事
5月第1週	端午の節句イベント 31名
6月23日	防災訓練利用者12名職員8名
9月第2週	敬老会 30名
12月第3週	敬老会 30名
12月第3週	クリスマス会 28名

(7)その他運営管理：会議

名称	頻度	構成
全体ミーティング	2月10日	8名
安全衛生委員会	月1回	当日該当職員1名
虐待防止委員会	月1回	当日該当職員1名
運営推進会議	年2回	書面による開催の為参加者なし

## 7【地域貢献活動】

- ・押立・車返ささえあい協議会連絡会出席の他、イベント等に参加
- ・車返団地3街区自治会のイベント参加

## 8【職場の環境】

(1)職員状況（令和5年3月31日状況）

- ・配置職員：管理者1名、生活相談員2名、介護職員5名、看護職・機能回復訓練員2名
- ・資格保有者：介護福祉士4名、主事2名、看護師2名、初任者研修1名

(2)有休の取得（常勤4人 非常勤5人）：604時間取得 連続有給3日以上取得者1名

(3)職場環境保持

- ・休憩室を整備し、くつろげる空間作りに取り組んだ。
- ・施設内の不要物を整理し、職員の事務作業スペース確保に取り組む。
- ・事務の効率化を図り、職員の負担軽減に取り組んだ。
- ・個人面談の随時実施。
- ・意見交換の場作りの為、終礼実施開始。



## 9 【研修・人材育成】

### (1)法定の研修（外部研修：介護報酬改定関係研修）

月日	職員研修
6月1日	セルフケアメンタルヘルス研修（石川出席）
2月10日	顧客満足度と従業員満足度について。アメーバ経営について。（施設内研修8名）

### (2)人材育成の取り組み

- ・ 接遇・マナー教育に取り組む
- ・ 顧客満足度・従業員満足度についての教育

### (3) 《研修年間表》

内部研修		外部研修
社是を深める	随時	セルフケアメンタルヘルス研修 6月1日
アメーバ経営について	2月10日	
接遇について	随時	

# 車返団地コラボケアセンター 2022年 事業報告

## ○事業所基本情報

サービス種別：指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所

開設日：平成 25 年 12 月 車返団地コラボケアセンター開設

住所：東京都府中市白糸台五丁目 26-7

連絡先：0 4 2 - 3 6 7 - 3 2 1 4

東京拠点長：渡辺 博明

所長：千葉 忍（事業報告主担当）

## 1 【基本方針】

- ・地域に根差した活動及び事業所の周知
- ・在宅生活維持の為の支援に努める
- ・風通しの良い職場環境の構築

## 2 【重点目標】

- ・節約（スタッフの意識向上、強化）  
→節約についてのスタッフ間での意識向上が出来たが、光熱費の高騰や利用者の変動等にて、あまり数字的に変化は無かった
- ・ES、CS の向上（管理者の意識向上、強化）  
→常に職員とケアや働き方についての意識向上に向けた話し合い（偶数月）を持ち、ケアに活かした
- ・ご利用者の満足度向上に向けた施策の構築  
→アンケート実施（6 月）。集計の上職員に周知し、満足度向上に向けた対策を実施した（満足度 90%）
- ・年間を通じての黒字計上  
→未達

## 3 【本事業所の経営の目標値】

	前年度	目標	結果（実績値）
総サービス提供高	69,387,087	73,729,941	55,650,417
経費合計	21,166,199	21,046,587	12,863,842
差引収益	48,220,888	52,683,354	35,703,069
総時間	22,676.99	21,584.00	1,691.47
時間当たり	2,126.40	2,440.90	1,758.60

#### 4【本施設（事業所）の概要】

##### (1)事業所サービス種別

- ・介護保険法：指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護事業所
- ・老人福祉法：第5条2に基づく

##### (2)職員種別及び職員数 職員総数 14人

###### ・配置人員：

管理者 1名、計画作成担当者 1名、介護職員 12名、看護職員 1名、  
事務職員 1名

- ・職員種別詳細については『 8【職場の環境】 』をご参照ください。

##### (3)登録定員：25人（通いサービス定員15人、宿泊サービス定員5人）

##### (4)利用対象者：要介護の認定を受けた方で、事業者と同一の市町村に住んでいる方

##### (5)稼働時間：営業日／年中無休 日中時間帯／7時00分～20時00分

通い 8時30分～18時／訪問 8時30分～18時／宿泊 18時～8時30分

※緊急時ならびに必要時においては柔軟に、通い、訪問および宿泊サービスを提供します。

##### (6)サービス提供地域：府中市

##### (7)施設環境

宿泊室:トータル 65.95㎡全6室（1人当たり 10.67㎡～12.60㎡）、

居間・食堂:45.86㎡、台所:5.86㎡、浴室 7.06㎡

##### (8)送迎用車両：リフト車 2台

#### 5【お客様の現況】（令和5年3月31日現在）

延べ人数 営業日数 365日 25名定員

※8月はクラスターにて10日間の閉鎖あり（その間の人数は計算せず）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
人	558	572	577	620	400	542	522	453	451
月	1	2	3						
人	387	367	550						

##### (1)利用者年齢：

60代 1名 70代 2名 80代 11名 90代 7名 平均 83.57才

##### (2)利用者居住地：府中市のみ

##### (3)要介護区分（令和5年3月31日現在）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
0人	1人	6人	4人	3人	4人	1人	2.3人

##### (4)お客様の利用料徴収区分：月額総請求額

0～8,000	～10,000	～30,000	～50,000	～100,000	～200,000	300,000～
0人	0人	6人	6人	7人	0人	0人

##### (5)年度の終結 終結総人数 9人

内訳：施設入居 3 人、退所 0 人、死亡 2 人、住み替え 0 人、入院 4 人、自宅帰宅 0 人  
 (6)新規利用者 9 人

## 6 【主なサービスメニュー】

### (1)小規模多機能型居宅介護サービス

- ・居宅サービス計画書…6 カ月ごとに見直し、モニタリング 6 カ月ごとに評価  
 サービス担当者会議 6 カ月ごとに開催（いずれも毎月 1 回実施※第 3 月曜日）
  - 小規模多機能型居宅介護計画書…6 カ月ごとに見直し、モニタリング毎月評価  
 サービス担当者会議 6 カ月ごとに開催（いずれも毎月 1 回実施※第 4 月曜日）
- <年度内トータル 28 名分>

### (2)看護のサービス

個々の主治医への情報提供としてバイタル測定記録・食事や排せつ記録や服薬後の身体状況の報告。感染対策に努め、感染予防のための定期会議の開催や感染症の時期には研修会を実施し、蔓延防止に努める。

### (3)相談支援サービス

お客様の生活のご相談とお客様とご家族の介護のご相談に応じる。

### (4)食事サービス

月 1 回程度でイベント食実施また、不定期開催にておやつイベント実施

### (5)年間行事

月日	主な行事	月日	施設行事
5/5	端午の節句イベント	10	防災訓練（未実施）
7/7	七夕行事	11/23	お楽しみ食事会
8/24	納涼祭	12/24.25	クリスマス会
9/19.20	敬老会	1/3.4.5	新年会・初詣
6/17	防災訓練	2/3	節分
		3/3.3/20~	ひな祭り・花見週間

### (6)その他運営管理：会議

名称	頻度	構成
職員会議	第 3 木曜日	全職員対象
安全衛生委員会（世田谷）	第 3 金曜日	当日該当職員（web 参加）
虐待防止委員会（世田谷）	第 4 金曜日	当日該当職員（web 参加）
東京コラボ会議	奇数月	管理者・当日該当職員
運営推進会議	奇数月	管理者・サブリーダー

## 7 【地域貢献活動】

- ・府中押立ささえあい協議会参加（毎月第 2 土曜日開催）
- ・地域イベント参加（夏祭り 8/3.4・バザー・クリスマスパーティー12/19 など）
- ・職場体験（中学生）→コロナ感染対策のため中止

## 8 【職場の環境】

(1)職員状況 2023年3月31日現在

- ・配置人員：管理者1名、計画作成担当者1名、介護職員12名、看護職員1名、事務職員1名
- ・保有資格：介護支援専門員1名、介護福祉士7名、実務者研修2名、初任者研修1名ヘルパー2級1名、看護師1名

(2)有休の取得（常勤8名 非常勤6名）：5.5時間 連続有給3日以上取得者：1名

(3)職場環境保持のため

- ・休憩室の整備 ・事業所内の不要物の整理整頓 ・業務の効率化（マニュアル化）
- ・個別面談の質向上

## 9 【研修・人材育成】

(1)法定の研修（実施済）

研修名	月日
認知症及び認知症ケアに関する研修	4月第3週
虐待・身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修	5・1月第3週
プライバシーの保護の取り組みに関する研修	6月第3週
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修（年3回）	7・11・3月第3週
倫理及び法令遵守に関する研修	8月第3週
事故発生又は再発防止に関する研修（福祉用具含む）	9月第3週
緊急時の対応に関する研修（福祉用具含む）	10月第3週
介護予防及び要介護度進行予防に関する研修	12月第3週
非常災害時の対応に関する研修	2月第3週

(2)人材育成の取り組み

- ・職員面談による課題や取り組み、自己肯定感の推進
- ・身体介護などの技術向上の為の勉強会開催

(3)《研修年間》

内部研修	勉強会として第3木曜日
法定研修（1.2ヶ月）※予定表あり クリップライン（適宜）	月1で開催（第3週）